

海浜公園内陸上競技場改修工事






特 記 事 項		 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図   校図  	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面番号 縮 尺 A2: 1/NS A3: 1/NS 表紙	設計日 A000 (原図: A2)
				一級建築士	一級建築士	一級建築士					
				第320204号	第307846号	第378328号	第360917号				
				前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早紀	前田 祐作				

図 面 目 録											
図面番号	工事範囲	図 面 内 容	図面番号	工事範囲	図 面 内 容	図面番号	工事範囲	図 面 内 容	図面番号	工事範囲	図 面 内 容
A001	建築工事図	工事特記仕様書（新営）№.1	A046	建築工事図	【①管理棟】建具表№.1	A091	建築工事図	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 矩計図	S001	建築工事図	【共通】構造特記仕様書№.1
A002	〃	工事特記仕様書（新営）№.2	A047	〃	【①管理棟】建具表№.2	A092	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> <div>改修後</div> 外部階段詳細図	S002	〃	【共通】構造特記仕様書№.2
A003	〃	工事特記仕様書（新営）№.3	A048	〃	【①管理棟】建具表№.3	A093	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 1階平面詳細図№.1	S003	建築工事図	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.1
A004	〃	工事特記仕様書（新営）№.4	A049	〃	【①管理棟】E V 詳細図№.1	A094	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階平面詳細図№.1	S004	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.2
A005	〃	工事特記仕様書（新営）№.5	A050	〃	【①管理棟】E V 詳細図№.2	A095	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 1階平面詳細図№.2	S005	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.3
A006	〃	工事特記仕様書（新営）№.6	A051	〃	【①管理棟】E V 詳細図№.3	A096	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階平面詳細図№.2	S006	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.4
A007	〃	工事特記仕様書（新営）№.7	A052	〃	【①管理棟】E V 詳細図№.4	A097	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 2階平面詳細図№.1	S007	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.5
A008	〃	工事特記仕様書（新営）№.8	A053	〃	【①管理棟】各部詳細図№.1	A098	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 2階平面詳細図№.1	S008	〃	【共通】鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.6
A009	〃	工事特記仕様書（改修）№.1	A054	〃	【①管理棟】各部詳細図№.2	A099	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 1階展開図№.1（器具庫1）	S009	〃	【共通】溶接規準図
A010	〃	工事特記仕様書（改修）№.2	A055	〃	【①管理棟】各部詳細図№.3	A100	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階展開図№.2（多目的室）	S010	〃	【共通】鉄骨規準図
A011	〃	工事特記仕様書（改修）№.3	A056	〃	【①管理棟】家具詳細図	A101	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階展開図№.3（多目的室）	S011	〃	【共通】露出柱脚認定工法標準図（参考図）
A012	〃	工事特記仕様書（改修）№.4	A057	〃	【①管理棟】防水平面図・防水詳細図	A102	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 1階展開図№.4（湯沸室）	S012	〃	【共通】デッキプレート標準図（参考図）
A013	〃	工事特記仕様書（改修）№.5	A058	〃	—	A103	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階展開図№.5（多目的室1）	S013	〃	【共通】地質調査位置図、地質調査報告書
A014	〃	工事特記仕様書（改修）№.6	A059	〃	—	A104	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 1階展開図№.6（器具庫2）	S014	〃	【①管理棟】基礎・杭伏図、1階伏図
A015	〃	工事特記仕様書（改修）№.7	A060	〃	—	A105	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階展開図№.7（多目的室2）	S015	〃	【①管理棟】2階伏図、R階伏図
A016	〃	—	A061	〃	—	A106	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 1階展開図№.8（更衣室1・シャワー室）	S016	〃	【①管理棟】基礎詳細図
A017	〃	【共通】全体配置図、付近見取図	A062	〃	【③サッカーゴール等収納庫】平面図、屋根伏図、建具表	A107	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階展開図№.9（更衣室1・シャワー室）	S017	〃	【①管理棟】基礎梁リスト、基礎小梁リスト
A018	〃	【共通】拡大配置図	A063	〃	【③サッカーゴール等収納庫】立面図、断面図	A108	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 1階展開図№.10（更衣室2・シャワー室）	S018	〃	【①管理棟】柱リスト、大梁リスト
A019	〃	【共通】敷地求積図	A064	〃	【③サッカーゴール等収納庫】矩計図	A109	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階展開図№.11（更衣室2・シャワー室）	S019	〃	【①管理棟】小梁リスト、壁リスト、床リスト
A020	〃	【共通】外部仕上表、内部仕上表№.1	A065	〃	【③サッカーゴール等収納庫】展開図、天井伏図	A110	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 1階展開図№.12（1階廊下№.1）	S020	〃	【①管理棟】軸組図№.1
A021	〃	【共通】内部仕上表№.2	A066	〃	【③サッカーゴール等収納庫】平面詳細図	A111	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 1階展開図№.13（1階廊下№.2）	S021	〃	【①管理棟】軸組図№.2
A022	〃	【共通】建物面積求積図、各室求積図・各室求積表	A067	〃	【④陸上器具庫】平面図、屋根伏図	A112	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階展開図№.14（1階廊下№.1）	S022	〃	【①管理棟】架構図
A023	〃	【①管理棟】法規チェック図、法規チェックリスト	A068	〃	【④陸上器具庫】立面図、断面図	A113	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修後</div> 1階展開図№.15（1階廊下№.2）	S023	〃	【①管理棟】内部階段詳細図
A024	〃	【⑤写真判定棟】法規チェック図・法規チェックリスト	A069	〃	【④陸上器具庫】矩計図	A114	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> <div>改修後</div> 1階天井伏図	S024	〃	【①管理棟】外部階段階段詳細図
A025	〃	【①管理棟】1階平面図、2階平面図	A070	〃	【④陸上器具庫】天井伏図、展開図	A115	〃	【⑦スタンド棟】建具符号図、建具表	S025	〃	【①管理棟】各部詳細図
A026	〃	【①管理棟】屋根伏図	A071	〃	【④陸上器具庫】平面詳細図	A116	〃	【⑦スタンド棟】撤去建具表№.1	S026	〃	—
A027	〃	【①管理棟】立面図	A072	〃	【⑤写真判定棟】1階・2階平面図、屋根伏図	A117	〃	【⑦スタンド棟】撤去建具表№.2	S027	〃	—
A028	〃	【①管理棟】断面図	A073	〃	【⑤写真判定棟】立面図、断面図	A118	〃	【⑦スタンド棟】新設建具表№.1	S028	〃	—
A029	〃	【①管理棟】矩計図	A074	〃	【⑤写真判定棟】矩計図、断面詳細図	A119	〃	【⑦スタンド棟】新設建具表№.2	S029	〃	【③サッカーゴール等収納庫】 <div>基礎伏図、基礎梁リスト 床リスト</div>
A030	〃	【①管理棟】内部階段詳細図	A075	〃	【⑤写真判定棟】階段詳細図	A120	〃	【⑦スタンド棟】新設建具表№.3	S030	〃	【③サッカーゴール等収納庫】伏図、部材リスト
A031	〃	【①管理棟】外部階段平面詳細図	A076	〃	【⑤写真判定棟】平面詳細図	A121	〃	【⑦スタンド棟】各部詳細図№.1	S031	〃	【③サッカーゴール等収納庫】軸組図№.1
A032	〃	【①管理棟】外部階段断面詳細図	A077	〃	【⑤写真判定棟】展開図№.1（1階倉庫）	A122	〃	【⑦スタンド棟】各部詳細図№.2	S032	〃	【③サッカーゴール等収納庫】軸組図№.2
A033	〃	【①管理棟】1階平面詳細図№.1	A078	〃	【⑤写真判定棟】展開図№.2（写真判定室・記録室） 家具詳細図	A123	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 立面図	S033	〃	【③サッカーゴール等収納庫】鉄骨詳細図
A034	〃	【①管理棟】1階平面詳細図№.2	A079	〃	【⑤写真判定棟】1階・2階天井伏図、各部詳細図	A124	〃	【共通】サイン詳細図№.1	S034	〃	【④陸上器具庫】基礎伏図、基礎梁リスト、床リスト
A035	〃	【①管理棟】2階平面詳細図№.1	A080	〃	【⑤写真判定棟】建具符号図、建具表	A125	〃	【共通】サイン詳細図№.2	S035	〃	【④陸上器具庫】伏図、部材リスト
A036	〃	【①管理棟】2階平面詳細図№.2	A081	〃	【⑥屋外トイレ棟】平面図、屋根伏図、立面図、断面図	A126	〃	【共通】サイン詳細図№.3	S036	〃	【④陸上器具庫】軸組図
A037	〃	【①管理棟】1階展開図№.1（男子トイレ、女子トイレ）	A082	〃	【⑥屋外トイレ棟】構造図				S037	〃	【④陸上器具庫】鉄骨詳細図
A038	〃	【①管理棟】1階展開図№.2（多目的トイレ、休憩スペース・エントランスホール）	A083	〃	【⑥屋外トイレ棟】設備図				S038	〃	【⑤写真判定棟】 <div>基礎詳細図、基礎梁リスト 杭・基礎伏図、基礎梁伏図</div>
A039	〃	【①管理棟】1階展開図№.3（廊除室、事務室）	A084	〃	【⑦スタンド棟】建物面積求積図、各室求積図・各室求積表				S039	〃	【⑤写真判定棟】2階伏図、R階伏図、部材リスト
A040	〃	【①管理棟】1階展開図№.4（倉庫、休憩室）	A085	〃	【⑦スタンド棟】外部仕上表、内部仕上表				S040	〃	【⑤写真判定棟】軸組図
A041	〃	【①管理棟】2階展開図№.1（小会議室、収納庫）	A086	〃	【⑦スタンド棟】法規チェック図、法規チェックリスト				S041	〃	【⑤写真判定棟】鉄骨詳細図
A042	〃	【①管理棟】2階展開図№.2（大会議室）	A087	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> <div>改修後</div> 1階平面図						
A043	〃	【①管理棟】2階展開図№.3（ホール）	A088	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> <div>改修後</div> 2階平面図						
A044	〃	【①管理棟】1階天井伏図、2階天井伏図	A089	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> <div>改修後</div> 立面図						
A045	〃	【①管理棟】建具符号図	A090	〃	【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> 矩計図						

特 記 事 項						代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	一級建築士 第307846号	一級建築士 第307846号	一級建築士 第360917号	設計担当		<div>加藤 早紀</div> <div>三橋 五百子</div>		
						株式会社 前野建築設計	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第360917号 前田 祐作			<div>三橋 五百子</div> <div>加藤 早紀</div>		
						管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝						<div>三橋 五百子</div> <div>加藤 早紀</div>		縮 尺 A2:1/NS A3:1/NS 図面番号 A000 (原図:A2)

仮設工事

②

1. 監督員事務所
(2. 3. 1)

・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2. 監督員事務所の設備・備品
(2. 3. 1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③仮設便所

④工事用水

⑤工事用電力

⑥足場

⑦交通誘導警備員

③土工事

①埋戻し及び盛土
(3. 2. 3)
(表3. 2. 1)

②建設発生土の処理
(3. 2. 5)

3.山留めの撤去
(3. 3. 3)

④地業工事

⑤試験杭及び試験掘

⑥支持層

⑦水平方向の位置ずれ

8.杭の載荷試験

9.地盤の載荷試験

⑩既製コンクリート杭

⑪鋼杭地業

12.場所打ちコンクリート杭地業

13.地盤改良

⑭砂及び砂利地業

⑮捨コンクリート地業

⑯床下防湿層

⑤鉄筋工事

①鉄筋の種類
(5. 2. 1)
(表5. 2. 1)

②溶接金網
(5. 2. 2)

③内法直径
(5. 3. 2)

④継手
(5. 3. 4)
(表5. 3. 2)
(表5. 3. 3)

⑤鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(5. 3. 5)(表5. 3. 6)

⑥各部配筋
(5. 3. 7)

⑦圧接完了後の試験
(5. 4. 10)

8.機械式継手及び溶接継手
(5. 5. 3)
(5. 5. 5)
(5. 6. 3)
(5. 6. 5)

種類の記号

径

備 考

○SD295	○D16以下	
○SD345	○D19以上	

・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

網目の形状、寸法

鉄線の径 (mm)

寸法 (mm)

90°未満の折曲げの内法直径

	径	部 位
○重ね継手	D16以下	
○ガス圧接	D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

・標準仕様書 [5. 3. 4] (3) (7)

○図示 (図面番号： S003)

継手位置

・各部配筋参考図による

○図示 (図面番号： S003)

鉄筋定着

・標準仕様書 [表5. 3. 4]

○図示 (図面番号： S003)

・標準仕様書 [図5. 3. 3]

○図示 (図面番号： S003)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

・標準仕様書 [表5. 3. 6]

○図示 (図面番号： S003)

○図示 (図面番号： S003～007, S014)

抜取試験方法

○超音波探傷試験

・引張試験

引張試験方法

○標準仕様書 [5. 4. 10] (4) (b)

・

機械式継手

適用箇所 ()

種類 ()

性能 ()

施工完了後の継手部の試験 ()

不合格となった継手部への措置 ()

鉄筋相互のあき ()mm

溶接継手

適用箇所 ()

種類 ()

性能 ()

施工完了後の継手部の試験 ()

不合格となった継手部への措置 ()

鉄筋相互のあき ()mm

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

監図

工事名称

図面名称

縮 尺

図面番号

設計日

前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士 第307846号 三橋 五百子

一級建築士 第378328号 加藤 早紀

一級建築士 第360917号 前田 祐作

法適合確認

作図

監図

海浜公園内陸上競技場改修工事

工事特記仕様書（新営）No. 2

A2:1/NS
A3:1/NS

A002
(原図・A2)

⑥

コンクリート工事

①

コンクリートの使用骨材による種類及び強度

(6.2.1)
(6.2.2)
(6.2.4)
(6.10.1)
(6.10.2)
(6.10.3)
(6.11.1)
(6.11.3)
(表6.2.2)
(表6.10.1)

②

コンクリートの種類

(6.2.1)
(表6.2.1)

③

コンクリートの仕上り

(6.2.5)
(表6.2.4)
(表6.2.5)

④

セメント

(6.3.1)
(表6.3.1)

⑤

骨材

(6.3.1)

⑥

コンクリートの材料

(6.3.1)
(6.3.1)
(表6.3.2)

⑦

打継ぎ

(6.6.4)

8

養生

(6.7.2)

⑨

型枠

(6.6.4)
(6.8.1)
(6.8.2)
(表6.8.1)

(6.8.4)

⑩

寒中コンクリート

(6.11.1)

⑪

暑中コンクリート

(6.12.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランプ
Ⓐ24 (N/mm²)	基礎・外構躯体		Ⓐ15 (cm)
Ⓑ24 (N/mm²)	躯体・デッキ上		Ⓑ18 (cm)
Ⓒ18 (N/mm²)	土間		Ⓒ15 (cm)

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランプ
・ (N/mm²)			・ t/m³	・ (cm)
・				
・				

・ 常時土又は水に直接接する部分 図示 (図面番号:)

類別 ⒶⅠ類 ・Ⅱ類
・ 大臣認定品 図示 (図面番号:)

合板せき板を用いる場合の打渡し仕上りの種類
・ A種 ⒷB種 ・C種
仕上りの平たんさ
Ⓐa種 ・b種 ・c種

種類 Ⓐ普通ボルトランドセメント、混合セメントA種
・ ()

高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種
・ 適用箇所 図示 (図面番号:)

アルカリシリカ反応性による区分
ⒶA
・B

・ 特殊な骨材の使用
・ フェロニッケルスラグ細骨材
・ 鋼スラグ細骨材
・ 電気炉酸化スラグ骨材
・ 再生骨材H

混和材料 ・図示 (図面番号: S001)
混和剤の種類、使用方法、使用量
Ⓐ標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f)
・ ()
混和材の種類、使用方法、使用量
Ⓐ標準仕様書 [6.3.1] (4) (b)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f)
・ ()
構造体強度補正值 (S) Ⓑ標準仕様書[表6.3.2] ・ ()

位置 Ⓑ標準仕様書 [6.6.4] (1) ・図示 (図面番号:)

・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 () 日以上

材料 Ⓐ複合合板 (厚さ (mm) Ⓑ12 ・ ())
打増し厚さ Ⓐ図示 (図面番号: S002)
誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法
・ 図示 (図面番号:)
・ 断熱材の兼用
・ M C R工法用シート
スリーブの材種、規格等
・ 鋼管 Ⓑ硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板
・ つば付き鋼管 ・ 図示 (図面番号:)

型枠存置期間及び取外し
・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日
適用期間 (S02による)
Ⓐ構造体強度補正值 (S)は積算温度を基に定める

構造体強度補正值 (S)
Ⓐ6 N/mm² ・ ()

12

マスコンクリート

(6.13.1)
(6.13.2)
(表6.13.1)

⑬

無筋コンクリート

(6.14.1)

14

流動化コンクリート

(6.15.1)

①

施工管理技術者

(7.1.4)

②

製作工場

(7.1.3)

③

鋼材

(7.2.1)
(表7.2.1)

④

高力ボルト

(7.2.2)
(7.3.2)
(7.4.2)
(7.4.7)

⑤

普通ボルト

(7.2.3)
(表7.2.3)
(7.3.2)

⑥

溶融亜鉛めっき高力ボルト

(7.3.2)
(7.4.2)
(7.12.5)

⑦

アンカーボルト

(7.2.4)
(7.3.2)
(7.10.3)
(表7.10.1)
(表7.2.3)

適用箇所 ・図示 (図面番号:)

セメントの種類
・ 普通ボルトランドセメント
・ 中床熱ボルトランドセメント
・ 低熱ボルトランドセメント
・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ シリカセメント
スランプ ・ 15cm ・ ()
混和剤の種類 ・ 標準仕様書[6.13.2] (2) (7) ・ ()
混和材の種類 ・ 標準仕様書[6.13.2] (2) (4) ・ ()
構造体強度補正值 (S) ・ 標準仕様書[表16.3.1] ・ ()
適用箇所 標準仕様書 [6.14.1]
Ⓐ(7) ・(4) Ⓑ(9) ・(Ⅹ) ・(オ) ・(カ)
・ 上記以外の適用箇所 ()
設計基準強度 Ⓐ18 (N/mm²) Ⓑ(24) (N/mm²)
スランプ Ⓐ15cm ・18cm
適用箇所
・ 図示 (図面番号:)
適配置する
(株) 日本鉄骨評価センター又は(株) 全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・J ⒷR ・M ・H ・S
種類、形状及び寸法 Ⓐ図示 (図面番号:)
種類
・ トルシア形高力ボルト (S10T)
・ JIS形高力ボルト2種 (F10T)
Ⓑ溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当)
・ ()
高力ボルトのねじの呼び
Ⓐ図示 (図面番号: S002)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
Ⓐ図示 (図面番号: S002)
すべり試験の試験方法 ・ ()
JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合
・ 回転量 () °
ボルト及びナットの材料等、ボルトのねじの呼び
Ⓐ図示 (図面番号: S002)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
Ⓐ図示 (図面番号: S002)
摩擦面の処理
Ⓐプラスト処理 (表面粗度50 μ mRz以上)
・ リン酸塩処理
すべり試験の試験方法 ・ ()
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
Ⓐ図示 (図面番号:)
種類
構造用 ・ ABR400B Ⓑ(S030, S035, S039による)
建方用 ・ SS400 ・ ()
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み
・ A種 ・ B種
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げる程度
Ⓐ標準仕様書[表7.2.3]
・ 図示 (図面番号:)
構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法
Ⓐ図示 (図面番号: S030, S035, S039)
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
Ⓐ図示 (図面番号: S030, S035, S039)

⑧

溶接材料

(7.2.5)

⑨

ターンバックル

(7.2.6)

⑩

デッキプレート

(7.2.7)
(7.7.8)

11

スタッド

(7.2.8)

⑫

柱底均しモルタル

(7.2.9)
(7.10.3)
(表7.10.2)

13

材料試験等

(7.2.10)

14

ボルトの孔径

(7.3.8)

⑮

仮組

(7.3.10)

⑯

溶接作業における技能資格者

(7.6.3)

⑰

溶接部の開先

(7.6.4)

⑱

溶接施工

(7.6.7)

⑰

溶接部の試験

(7.6.12)

⑳

錆止め塗装

(7.8.2)
(7.8.4)

材料

Ⓐ標準仕様書[7.2.5] (1) (2)以外の溶接材料 ()

種類及びねじの呼び等
Ⓐ図示 (図面番号: S02)
建築用ターンバックル胴 ・割枠式 ・ ()
建築用ターンバックルボルト ・羽子板ボルト ・ ()
材質、形状及び寸法 Ⓐ図示 (図面番号: S012)
溶接方法 Ⓑ図示 (図面番号: S012)
種類等 ・ 図示 (図面番号:)
柱底均しモルタルの工法、厚み
ⒶA種 (30) mm ・ B種 () mm
無収縮モルタルの材料及び調合
Ⓐ標準仕様書[7.2.9] (2) ・ ()
板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験
・ JIS G 0901により行う
普通ボルトの孔径 (母屋又は胴縁の取付け)
・ ねじの呼び径±1.0mm ・ ()
Ⓐ行わない ・ 行う
仮組を行う範囲 ・ 図示 (図面番号:)
溶接作業の技量付加試験
Ⓐ行わない ・ 行う
開先の形状
Ⓐ図示 (図面番号: S009)
鋼製エンドタブの切除
Ⓐ適用及び切断範囲 図示 (図面番号: S002)
切断面の仕上げ
・ 標準仕様書[7.6.7(1) (a) (b)] ・ 図示 (図面番号:)
鋼製エンドタブに代わるその他の工法
鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はブラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方を満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。
1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場の製作であること。
2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNP0法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習終了者 (溶接技能者・A級以上)、又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。こと。
板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部
・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:)
スカラップの形状 Ⓐ図示 (図面番号: S002)
試験の種類
溶接部の外観試験方法 Ⓐ(目視試験)
Ⓑ超音波探傷試験 ・ ()<

特 記 事 項		<div><div><div><div></div><div>MAENO</div></div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div></div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	<div>作図</div> <div><div><div>加藤</div><div>澤田</div></div><div>検図</div><div><div>前野</div><div>将輝</div></div><div>三橋</div><div>穂波</div></div>	工事名称	縮 尺		図面番号 A003 (原図:A2)
			一級建築士 第320204号	一級建築士 第307846号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第360917号		海浜公園内陸上競技場改修工事	A2:1/NS					
			前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早妃	前田 祐作		図面名称	A3:1/NS					
								工事特記仕様書（新営）No. 3						

⑨

防水工事

①

アスファルト防水

(表9.2.3)～(表9.2.8)

(9.2.2)

(9.2.3)

改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]・図示()

厚さ・標準仕様書[表9.2.3]～[表9.2.8]・図示()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]・図示()

厚さ・標準仕様書[表9.2.5]～[表9.2.8]・図示()

絶縁用シート

・ポリエチレンフィルム(厚さ 0.15mm以上)

・フラットヤーンクロス(70g/㎡)

押え金物

・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)・図示(図面番号:)

断熱材

・屋根保護防水断熱工法

厚さ()mm

・屋根露出防水断熱工法

種類()厚さ()mm

(表9.2.3)屋根保護防水

～(表9.2.6)立上り部の保護工法 ㊦ 図示(図面番号: A029)

乾式保護材 ㊦ 使用する

立上り部保護れんが・JIS R 1250・()

断熱工法における立上り部への断熱材及び絶縁シート・設置する

(表9.2.8)脱気装置

(表9.2.7)・設置数量 図示(図面番号:) 種類()

(表9.2.8)屋根露出防水における仕上塗料

(表9.2.8)・図示(図面番号:) 種類() 使用量()

(表9.2.9)屋内防水密着工法における保護層

・図示(図面番号:)

E-1の工程3・行う・行わない

(9.2.4)防水層の下地モルタル塗り

・図示(図面番号:)

立上りのコンクリート打放し仕上りの種別

種別・B種・()

屋根露出防水絶縁断熱工法

ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置

・図示(図面番号:)

(9.2.5)保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ㊦ 水下 80mm以上・()

床タイル張り・水下 60mm以上・()

立上り部の保護方法

㊦ 乾式保護材・れんが押え・コンクリート押え

・モルタル押え(屋内等)・()

屋上排水溝

㊦ 図示(図面番号: A029)

2.改質アスファルトシート防水

(9.3.2)

(9.3.3)

改質アスファルトシート

(表9.3.1)種類・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]・図示()

～(表9.3.3)厚さ・標準仕様書[表9.3.1]～[表9.3.3]・図示()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3]・図示()

厚さ・標準仕様書[表9.3.2]、[表9.3.3]・図示()

押え金物の材質、形状、寸法

・アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)・()

仕上塗料

・図示(図面番号:) 種類() 使用量()

脱気装置・設置数量 図示(図面番号:) 種類()

(表9.3.3)断熱材

・屋根露出防水絶縁断熱工法

種類()厚さ()mm

防湿用シートの設置・有り・無し

3.合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2)

(9.4.3)

(9.4.4)

(表9.4.1)種類・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]・図示()

(表9.4.2)厚さ・標準仕様書[表9.4.1]～[表9.4.3]・図示()

(表9.4.3)可塑性移行防止用シート

・発砲ポリエチレンシート・()

固定金具

材質、寸法形状()

・図示(図面番号:)

断熱材

種類、厚さ

・機械的固定工法 図示(図面番号:)

・接着工法 図示(図面番号:)

仕上塗料

・図示(図面番号:) 種類() 使用量()

防湿用フィルムの設置・有り・無し

屋内保護密着工法

モルタル塗り厚さ・()mm

立上り部の保護モルタル塗厚さ・7mm以下・()mm

目地処理(接着工法)

PC下地・図示(図面番号:)

増張り(S-F1、SI-F1)

PC入隅部・図示(図面番号:)

機械的固定工法

風圧力に対応した工法・図示(図面番号:)

脱気装置

・設置数量 図示(図面番号:) 種類()

4.塗膜防水

(9.5.3)

(表9.5.1)

(表9.5.2)

種別

X-1

X-2

Y-1

Y-2

脱気装置(X-1)

・設置数量 図示(図面番号: A037) 種類(ステンレス脱気筒)

保護層(Y-2)・保護コンクリート・保護モルタル

仕上塗料(X-1、X-2)

・図示(図面番号:) 種類(フッ素) 使用量()

防水層の下地

壁及び天井部の仕上げ・コンクリート打放し仕上げ(B種)

・図示(図面番号:)

防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の下地処理

・標準仕様書[9.6.4](2)(7)後段・()

標準仕様書[9.6.4](2)(4)及び(4)以外の処理・()

5.ケイ酸質系塗布防水

(9.6.4)

6.シーリング

(9.7.2)

(9.7.3)

(表9.7.1)

(9.7.5)

7.保証書

1.共通

(10.1.3)

2.天然石

(10.2.1)

(表10.2.1)

(表10.2.2)

使用部位

種類(名称)

寸法(mm)

表面仕上げ

工法

形状

床

・粗磨き・()

壁

・水磨き・()

ジェットバーナー仕上面

バフ仕上

・あり・なし

3.テラゾ

(10.2.1)

(表10.2.2)

テラゾタイル

使用部位

種石の種類

種石の大きさ

寸法による区分

表面仕上

・大理石

・1.5～12mm

・300型

・400型

・()

テラゾブロック

使用部位

種石の種類

種石の大きさ

形状

仕上り面

寸法(mm)

表面仕上

・大理石

・1.5～12mm

・平もの

・役もの

・片面

・両面

・()

・()

4.その他の材料

(10.2.3)

取付用モルタル・図示(図面番号:)

目地用モルタル・図示(図面番号:)

浸透性吸水防止剤・図示(図面番号:)

石表面処理材・図示(図面番号:)

裏打ち処理材・図示(図面番号:)

充填材料・図示(図面番号:)

5.外壁湿式工法

(10.2.2)

(10.2.3)

受金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号:)

アンカーの材質及び寸法

材質・SS400・() 寸法()

(10.3.2)あと施工アンカーの材質及び寸法・()

(10.3.3)ドレンパイプの材質

・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ

・()

石材の厚さ・25mm以上・()

石表面処理・適用する

裏打ち処理・適用する

下地ごしらえ

・流し筋工法・あと施工アンカー工法

・あと施工アンカー横筋流し工法

目地一般目地

目地幅・6mm以上・()

シーリング材の有無・有り・無し

伸縮調整目地

位置・標準仕様書[表11.1.1]・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号:)

6.内壁空積工法

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.4.2)

(10.4.3)

受金物の材質、形状、寸法

・図示(図面番号:)

アンカーの材質及び寸法 材質・SS400・() 寸法()

あと施工アンカーの材質及び寸法・()

石材の厚さ・20mm以上・()

下地ごしらえ

・あと施工アンカー・横筋流し工法・あと施工アンカー工法

目地一般目地

目地幅・6mm以上・()

伸縮調整目地

位置・6mごと・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号:)

7.外壁乾式工法

(10.2.2)

(10.5.2)

(表10.2.4)

金物の種類、形状、寸法・図示(図面番号:)

取り付け工法

・スライド方式・ロッキング方式

アンカーの材質及び寸法 材質・SUS304・() 寸法()

あと施工アンカーの材質及び寸法・()

石材の厚さ・30mm以上(外壁)・25mm以上(内壁)・()

たば用穴の位置・図示(図面番号:)

裏打ち処理・適用する

風圧力に対応した工法・図示(図面番号:)

目地

目地幅・8mm以上・()

シーリング材・適用する

8.床及び階段の石張り

(10.3.3)

(10.6.2)

(10.6.3)

石材の厚さ・()mm

石表面処理・適用する(浸透性吸水防止剤)

裏打ち処理・適用する(浸透性吸水防止剤)

目地一般目地

目地幅

・屋内4mm以上、屋外3～6mm

・図示(図面番号:)

伸縮調整目地

位置・標準仕様書[10.6.2](5)(4)(a)後段

・図示(図面番号:)

シーリング材の目地寸法

・幅、深さとも10mm以上・図示(図面番号:)

9.笠木、平板等

(10.2.2)

(10.3.3)

(10.5.3)

(10.7.2)

取付け金物

・標準仕様書[10.2.2](3)(7)の各後段・()

アンカーの材質及び寸法

材質・SUS304・() 寸法()

あと施工アンカーの材質及び寸法

取付工法・湿式工法・乾式工法

石材の厚さ・()mm

石表面処理・適用する

取付け代(乾式工法の場合)

・標準仕様書[10.5.3](2)・()mm

石裏の補強用モルタル(乾式工法の場合)

・適用する 図示(図面番号:)

目地

18

塗装工事

3. 耐候性塗料塗り (DP)
(18. 7. 2)
(表18. 7. 1)
(18. 7. 3)
(表18. 7. 2)
(18. 7. 4)
(表18. 7. 3)

下地の種類	施工箇所	上塗り等級	コンクリート、EGP面における種別
		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ A種 ・ B種 ・ C種

4. ステンレス塗り
(18. 11. 2)

オイルステン塗り 工程、材料 ・ ()

19

内装工事

1. ビニル床シート張り
(19. 2. 2)
(表19. 2. 1)
(19. 2. 3)

種類	色柄	厚さ (mm)	継目
・ FS ・ ()	・ 無地 ・ マーブル	・ 2. 0 ・ ()	・ 熱溶接 ・ 突付け

接着剤の種類、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)

2. ビニル床タイル張り
(19. 2. 2)
(表19. 2. 1)

寸法・色合	種類	厚さ (mm)
・ 300×300 ()	・ コンポジションビニル床タイル (KT)	・ 2. 0
・ 450×450 ()	・ コンポジションビニル床タイル (KT)	・ ()
	・ ホモジニアスビニルタイル	・ ()

接着剤の種類、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)

3. 特殊機能床材
(19. 2. 2)
(表19. 2. 2)

・ 帯電防止床シート・床タイル 寸法 ()mm
厚さ ()mm 種類 () 性能 ()

・ 視覚障害者用床タイル
種類 (・ ビニル床タイル ・ ())
形状 (・ 300×300 ・ ())

・ 耐動荷重性床シート
種類 () 厚さ ()mm

・ ゴム床タイル
色柄 () 種類 () 寸法 () 厚さ ()mm

接着剤の種類、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)

・ 防滑性床シート・床タイル 種類 () 寸法 () 厚さ ()mm

4. ビニル幅木
(19. 2. 2)

種類 ・ 図示 (図面番号:)
高さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 60mm
厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 1. 5mm以上

5. 施工
(19. 2. 3)

下地 ・ モルタル ・ 木造 ・ ()
接合部の処理 ・ 熱溶接工法 ・ ()

6. カーペット敷き
(19. 3. 2)
(表19. 3. 1)
(表19. 3. 2)

織りじゅうたん

種別	色柄	パイル形状	織り方
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 無地 ・ 柄物 (標準品)	・ ループ ・ カット ・ カット、ループ併用	・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アクシミンスターカーペット

種別	色柄	パイル形状	パイル長・寸法・総厚	工法
・ タフテッドカーペット	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	・ パイル長 ・ 5～7mm ・ 4～6mm	・ グリッパー ・ 全面接着
・ タイルカーペット ・ 1種 ・ 2種	・ 無地 ・ 柄物	・ ループ ・ カット	・ 総厚さ、サイズ ・ 6. 5mm ・ 500角	・ 全面接着

・ 帯電性 (人体帯電圧の値3kV以下)
タイルカーペットの敷き方 (全面接着工法)
平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号:)
階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号:)
下敷き材 ・ 第2種1号、呼び厚さ8mm
・ 図示 (図面番号:)
見切り、押え金物
・ 材質 () ・ 種類 ()
・ 形状 (図面番号:)
織じゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()

7. 合成樹脂塗床
(19. 4. 3)
(表19. 4. 4)
(表19. 4. 5)
～(表19. 4. 8)

・ 弾性ウレタン塗床材 (JISK 5970)
仕上げ
・ 平滑仕上げ
・ 防滑仕上げ
・ つや消し仕上げ

・ エポキシ樹脂塗床材 (JISK 5970)
工法、仕上げ
・ 薄膜流しのペ工法 (・ 平滑
・ 防滑)
・ 厚膜流しのペ工法 (・ 平滑
・ 防滑)
・ 樹脂モルタル工法 (・ 平滑
・ 防滑)

8. フローリング張り
(19. 5. 2)
(19. 5. 3)
(19. 5. 4)
(19. 5. 5)
(表19. 5. 2)
～(表19. 5. 6)

材料 ・ 単層フローリング
(・ フローリングボード (1等) ・ フローリングブロック (1等))
・ 複合フローリング
・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード (根張用)		・ なら ・ ()
・ 複合フローリング (根張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・ ()
・ フローリングボード (直張用)		・ なら ・ ()
・ 複合フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ なら ・ ()

・ 接着工法

材料	樹種	厚さ (mm)	幅・長さ	表面不陸緩衝材
・ フローリングボード (直張用)	・ なら ・ ()	・ 12		・ 合成樹脂発泡シート
・ フローリングブロック (直張用)				
・ 複合フローリング (直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種			

9. 畳敷き
(19. 6. 2)
(表19. 6. 1)

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
・ D種の畳床 KT- (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)
衝撃緩和型畳 ・ C1 ・ C2

10. せっこうボード、
その他のボード、
及び合板張り
(19. 7. 2)
(表19. 7. 1)
(19. 7. 3)
(表19. 7. 3)
(表19. 7. 5)

種類	種別	厚さ (mm)
・ せっこうボード	壁 天井	・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃)
・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9. 5 (不燃) ・ 9. 5 (準不燃) ・ 9. 5 (不燃) ・ 9. 5 (準不燃)
・ ロックウール化粧 吸音板	・ 普通 ・ 立体模様	・ 9 ・ () ・ 9 ・ ()
・ けい酸カルシウム板	・ タイプⅡ 0. 8FK	・ (6)
・ (耐火中空二重壁)	・ ()	・ (21)

合板張り
・ 普通合板 表面の樹種名 ・ 生地のまま
・ (透明塗料塗り)ラワン ・ (不透明塗料塗り)しな
・ ()
板面の品質 () 厚さ ()mm
防虫処理 ・ ()
・ 天然化粧合板 化粧板の樹種名 ・ ()
厚さ ()mm
防虫処理 ・ ()
・ 特殊加工合板 化粧加工の方法
・ オーバーレイ ・ プリント
・ 塗装 ・ ()
表面性能 () 厚さ ()mm
防虫処理 ・ ()
天井ボードの重ね張り ・ 図示 (図面番号:)
合板類の張付け ・ A種 ・ B種

11. 壁紙張り
(19. 8. 2)
(19. 8. 3)

施工箇所	種類	防火性能	品質

12. 断熱材
(19. 9. 3)
(19. 9. 4)

素地ごしらえ
せっこうボード面 ・ A種 ・ B種
コンクリート面 ・ A種 ・ B種
モルタル・せっこうプラスター面 ・ A種 ・ B種

断熱材打込み工法
断熱材の種類、厚さ ・ 図示 (図面番号:)
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ 図示 (図面番号:)
断熱材の厚さ ・ 図示 (図面番号:)

20

ユニット及びその他工事

1. リークアクセスフロア
(20. 2. 2)

・ フリーアクセスフロア7及び表面仕上げ材の寸法、フリーアクセスフロア7高さ、耐震性能、
所定荷重、帯電防止性能、漏えい抵抗
・ 図示 (図面番号:)
試験方法 20. 2. 2 (2) (イ) (a) ～ (d)
寸法精度 20. 2. 2 (2) (イ) (a) ～ (c)

2. 可動間仕切り
(20. 2. 3)

組立て方式
・ スタッド式 ・ パネル式 ・ スタッドパネル式
パネル内建具寸法及び形状 ・ 図示 (図面番号:)
構成基材の種類 ・ 図示 (図面番号:)
遮音性 ・ 図示 (図面番号:)
表面仕上げ ・ 図示 (図面番号:)

3. 移動間仕切り
(20. 2. 4)

操作方法
表面材の材質及び仕上げ ・ 図示 (図面番号:)
遮音性 ・ 図示 (図面番号:)
ハンガーレールの取付け下地の補強
・ 標準仕様書 [20. 2. 4] (3) (イ) ・ 図示 (図面番号:)
パネルをランナーに取り付ける部品
・ 標準仕様書 [20. 2. 4] (3) (イ) ・ 図示 (図面番号:)
ハンガーレール
・ 標準仕様書 [20. 2. 4] (3) (イ) ・ 図示 (図面番号:)
ランナー
・ 標準仕様書 [20. 2. 4] (3) (イ) ・ 図示 (図面番号:)
ハンガーレールの固定方法
・ 溶接 ・ あと施工アンカー (材質: 、寸法:)

4. トイレブース
(20. 2. 5)

表面材 ・ メラミン樹脂系化粧板
・ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部 ・ 幅木 ・ 図示 (図面番号:)
扉小口の材質 ・ ステンレス製 ・ アルミ製
ドアエッジの材質 ・ 製造所の仕様による ・ ()

5. 手すり
(20. 2. 6)

材料の種類 ・ アルミ ・ ステンレス (仕上げ:)

6. 階段滑り止め
(20. 2. 7)

材質
・ ステンレス SUS304製 ビニルタイヤ入り (両端フラットエンド付き)
・ ()
寸法 ・ 約35mm ・ 図示 (図面番号:)
工法 ・ 接着工法 ・ 埋込み工法

7. 黒板及び
ホワイトボード
(20. 2. 9)

黒板の区分 ・ 焼付け ・ ()
黒板の種類 ・ 鋼製黒板 ・ ほうろう黒板 ・ ()
ホワイトボード ・ () ・ 図示 (図面番号:)

8. 鏡
(20. 2. 10)

厚さ ・ 5mm ・ ()mm

9. 表示
(20. 2. 11)

室名札、ビクトリア、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、
印刷等の種別、取付形式等
・ 図示 (図面番号: A)
・ 衝突防止表示 図示 (図面番号:)
・ 非常用進入口表示 図示 (図面番号:)

10. タラップ
(20. 2. 12)

材料の種類 ・ ステンレス
仕上げ ・ 研磨等なし ・ ()

11. 煙突
ライニング
(20. 2. 13)

適用安全使用温度 ・ ()℃
工法 ・ 図示 (図面番号:)

12. ブラインド
(20. 2. 14)

形式	スラット	開閉方式	スラットの 成形幅 (mm)	ヘッドボックス・ ボトムレールの材質
・ 横形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 25 ・ ()	・ 鋼製 ・ ()
・ 縦形 ブラインド	・ アルミニウム 合金 ・ ()	・ ギヤ式 ・ コード式 ・ ()	・ 80 ・ 100 ・ ()	

※幅、高さの寸法 ・ 図示 (図面番号:)

13. ロール
スクリーン
(20. 2. 15)

操作方式 ・ スプリング式 ・ コード式 ・ 電動式
寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号:)

14. カーテン及び
カーテンレール
(20. 2. 16)

カーテンの形式等

生地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ ドレープ ・ レース ・ 図示 ()	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動
・ 暗幕 (遮光 () 級)	・ ()	・ ()	・ ()

暗幕用カーテン両端、上部及び召合せの重なり
・ 300mm以上 ・ () ・ 図示 (図面番号:)
カーテンレール ・ アルミ製 ・ ステンレス製
強さによる区分 ・ 10-90 ・ ()
形状 ・ シングル ・ ダブル
断面形状 ・ 角形 ・ C形 ・ D形
仕上げ ・ アルマイト ・ ()
付属金物 (フック) ・ 鋼製 ・ 樹脂製

15. プレキャスト
コンクリート工事
(20. 3. 2)
(20. 3. 3)
(20. 3. 4)

補強鉄線の径 ・ 3. 2mm ・ ()
補強鉄線の網目寸法 ・ ()
設計基準強度F_c ・ 図示 (図面番号:)
配筋 ・ 図示 (図面番号:)
取付方法 ・ 図示 (図面番号:)

16. 間知石及び
間知ブロック積
(20. 4. 2)
(20. 4. 3)

材質 ・ ()
種類及び質量区分 ・ 図示 (図面番号:)
積み方 ・ 谷積み ・ 布積み
目塗り ・ ()
伸縮調整目地 ・ 材質 () ・ 厚さ ()mm

21

排水工事

1. 排水管
(21. 2. 1)
(表21. 2. 1)

排水管用材料

材種	管の種類	呼び径	備考
・ 硬質ポリ塩化ビニル管	VP		

2. 排水樹等
(21. 2. 1)

・ 排水樹、ふた
種類等 ・ 図示 (図面番号: A057)
・ 側境の形状、寸法 ・ 図示 (図面番号:)
グレーチングの種類

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定
スチール製	側溝	T-25	継目	

場所打ちコンクリート
種類 ・ 普通コンクリート ・ ()
設計基準強度 ・ 18N/mm² ・ ()
スランブ ・ 15cm ・ 18cm ・ () cm
鉄筋の種類等 ・ SD295 ・ ()
凍結抑制層の材料 ・ ()

特
記
事
項

代表設計者
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当
一級建築士
第307846号
三橋 五百子

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早紀

設計担当
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当

法適合確認

作図
加藤 早紀
校図
三橋 五百子

工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事

図面名称
工事特記仕様書 (新営) No. 7

縮尺
A2:1/NS
A3:1/NS

図面番号
A007
(原図:A2)

工事特記仕様書（改修）

- | | |
|-------------|--|
| Ⅰ. 工事名称 | 工事特記仕様書№ 1 による |
| Ⅱ. 工事概要 | |
| 1 工事場所 | 同上 |
| 2 敷地面積 | 同上 |
| 3 工事内容 | |
| 株名称 | スタンダード株 |
| 構造 | R C 造 |
| 建築面積 | 337.58 m ² |
| 延べ面積 | 568.67 m ² |
| 工事項目 | 外部改修、内部改修、建具改修 |
| Ⅲ. 建築改修工事仕様 | |
| 1 共通仕様 | 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。 |
| 2 特記仕様 | <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕様の該当項目等を示す。</p> |

①

②

③

適用基準等

施工条件

発生材の処理等
(1.3.12)

1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

2) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

3) 建築物解体工事共通仕様書
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

4) 建築工事標準詳細図
国土交通大臣官庁官庁営繕部監修（令和4年版）

施工方法及び検査に関する事項

※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。

※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。

※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響のないよう努めること。

※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手すること。

※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。

※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。

※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。

※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、進行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。

※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。

※ 工事着手前には、現状把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立会いのもと写真に記録しておくこと。

※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復帰するとともに市監督員に報告書を提出すること。

※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修修復は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

※ 高所等の施工箇所等で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。

本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

・分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

☒ 引き渡しを要するもの ☒ 無 ()

・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有 (・ PCBを含む機器類 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン類
・ 水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・ 廃水銀等)

・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有 (・ 蛍光灯ランプ ・ HIDランプ ・ ())

「水銀廃棄物ガイドライン」（第2版）（平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。

☒ 石綿含有成形板等解体時の留意点

1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。

2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。

3. 飛散されない様にすること。

4. 保護具及び作業着を着用すること。

5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。

6. 事前には使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

・ 現場において再利用を図るもの ()

☒ 再資源化を図るもの ☒ コンクリート塊
☒ アスファルトコンクリート塊
・ 建設発生木材
・ ()

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

- 建設副産物情報交換システムの利用

受注者は工事事前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

また、工事完了後は「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。

なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

⑤ 三重県産業廃棄物税

本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

⑥ 電気保安技術者 (1.3.3)

○ 配置する

⑦ 技能士 (1.7.2)

職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。

⑧ 施工数量調査 (1.6.2)

調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による

9 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)

補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

⑩ 建築材料等

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。

2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

⑪ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)

測定対象化学物質（●で示したものとす。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
○	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定箇所数 ○ 図示（図面番号： ） ・ （ ）

測定方法（○ バッシフ法 ・ アクティブ法）

測定時期 ・ （ ）

報告書提出部数 2部

⑫ 特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑬ 騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑭ 工事写真 (1.2.4)

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部（最新版））に従い撮影する。

提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月1日国営建技14号）」による。

⑮ 完成図等 (1.8.2) (1.8.3)

作成する（○ 完成図 ○ 保全に関する資料 ・ （ ））

完成図作図範囲（設計図を訂正）

完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

⑯ 完成写真

○ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。

（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部

箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑰ 設備工事との取合い

施工範囲

 - 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
 - 図示した壁・天井の仕上り・下地材の切込み及び補強
 - 自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強
 - 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ

施工図

 - 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑱ 既存部分等への処置 (1.3.13)

工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。

⑲ 事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員の指示する期日までに、監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑳ 消防提出書類

1) 消火に係る消防用設備等設置届出書の作成

○ 本工事（○ 建築工事 ○ 電気設備工事 ○ 機械設備工事） ・ 別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書

書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

㉑ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉒ 不正軽油の使用の禁止

1) 一般事項

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。

2) 調査の協力

受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。

3) 是正措置

受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

㉓ 屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------------------------------------|---|------------|---------------------------------------|---|-------|-------------|-----------|----|-----------|-----------|------|------|-------|-------|-------|-----|-----------------|-------|------------------------------|----|------------------------------|---|---|---|---|----|-----|-----|------------|-------|---------|----|---|---|---|---|---|
| ④ | 石綿含有建材の調査
(1. 5. 1) | 石綿含有建材の事前調査
調査範囲 <input type="radio"/> 放修部分すべて <input type="radio"/> ()
貸与資料 <input type="radio"/> 既存の設計図書 <input type="radio"/> 石綿含有建材の調査報告書 <input type="radio"/> ()
<input type="radio"/> 分析調査
分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
<table><tr><td>材料名</td><td>定性分析法
JIS A 1481-1
JIS A 1481-2</td><td>定量分析法
JIS A 1481-3
JIS A 1481-4
JIS A 1481-5</td></tr><tr><td>EP塗</td><td>・ 箇所数 (1)</td><td>・ 箇所数 ()</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数 ()</td><td>・ 箇所数 ()</td></tr></table>
サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図面(図面番号:) ・ () | 材料名 | 定性分析法
JIS A 1481-1
JIS A 1481-2 | 定量分析法
JIS A 1481-3
JIS A 1481-4
JIS A 1481-5 | EP塗 | ・ 箇所数 (1) | ・ 箇所数 () | | ・ 箇所数 () | ・ 箇所数 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材料名 | 定性分析法
JIS A 1481-1
JIS A 1481-2 | 定量分析法
JIS A 1481-3
JIS A 1481-4
JIS A 1481-5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| EP塗 | ・ 箇所数 (1) | ・ 箇所数 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 箇所数 () | ・ 箇所数 () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | 騒音・粉じん等の対策
(2. 1. 3) | ・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示(図面番号:)
<input type="radio"/> 防音シート 設置範囲 ・ 図示(図面番号:) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② | 足場
(2. 2. 1)
(表2. 2. 1) | 設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立てに関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

内部足場の種別(参考) <input type="radio"/> 脚立 ・ 棚足場 ・ その他 ()
外部足場の種別(参考) <input type="radio"/> 手摺先行据置枠組本足場 ・ 移動足場 ・ 高所作業車
・ その他 ()
外部足場設置範囲(参考) <input type="radio"/> 外部改修部 ・ 設備改修部 ・ 昇降用 ・ 転落防止用
防護シート等による養生 <input type="radio"/> 適用する ・ 適用しない

足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。
つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の者で足場の設置等の届出に係る「計画作成参考書」に必要な資格を有する者となお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。
1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント(区分が土木又は建築である者)や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参考書」に必要な資格を有する者
3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | 既存部分の養生
(2. 3. 1) | 既存部分の養生 ・ 図示(図面番号:)
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法 ()
保管場所 ・ 構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動
<input type="radio"/> 行う ・ 行わない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 仮設間仕切り
(2. 3. 2)
(表2. 3. 1) | 屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種
合板 厚さ 9mm ・ ()
せつこうボード 厚さ 9.5mm ・ ()
合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない
仮設扉 設置箇所 ・ 図示(図面番号:)
仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ () | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ | 監督員事務所
(2. 4. 1) | ・ 構内建物内の一画を使用する。
・ 設置する <input type="radio"/> 設置しない
監督員事務所の規模(単位:m)
<table><tr><td>適用</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>規模</td><td>10程度</td><td>20程度</td><td>35程度</td><td>65程度</td><td>100程度</td></tr></table>
監督員事務所の仕上げ
<table><tr><td>部 位 等</td><td>仕 上 げ</td></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td>合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>装付融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></table> | 適用 | | | | | | 規模 | 10程度 | 20程度 | 35程度 | 65程度 | 100程度 | 部 位 等 | 仕 上 げ | 床 | 合板張り又はビニル床シート張り | 内壁・天井 | 合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り | 屋根 | 装付融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 適用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 規模 | 10程度 | 20程度 | 35程度 | 65程度 | 100程度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部 位 等 | 仕 上 げ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 床 | 合板張り又はビニル床シート張り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内壁・天井 | 合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋根 | 装付融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 監督員事務所の設備・備品等
(2. 4. 1)(2)(7) | <table><tr><td>種類</td><td>机・いす</td><td>書棚</td><td>黒板・白板</td><td>掛時計</td><td>温度計</td></tr><tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td>種類</td><td>長靴</td><td>雨合羽</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td><td>衣類ロッカー</td></tr><tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr><tr><td>種類</td><td>消火器</td><td>掃除具</td><td>受注者加入電話FAX</td><td>冷暖房機器</td><td>インターネット</td></tr><tr><td>数量</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr></table> | 種類 | 机・いす | 書棚 | 黒板・白板 | 掛時計 | 温度計 | 数量 | 組 | 台 | 個 | 個 | 個 | 種類 | 長靴 | 雨合羽 | 保護帽 | 懐中電灯 | 衣類ロッカー | 数量 | 足 | 着 | 個 | 個 | 台 | 種類 | 消火器 | 掃除具 | 受注者加入電話FAX | 冷暖房機器 | インターネット | 数量 | 個 | 個 | 台 | 台 | 台 |
| 種類 | 机・いす | 書棚 | 黒板・白板 | 掛時計 | 温度計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数量 | 組 | 台 | 個 | 個 | 個 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 長靴 | 雨合羽 | 保護帽 | 懐中電灯 | 衣類ロッカー | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数量 | 足 | 着 | 個 | 個 | 台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 消火器 | 掃除具 | 受注者加入電話FAX | 冷暖房機器 | インターネット | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数量 | 個 | 個 | 台 | 台 | 台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 仮設便所 | 構内既存の施設
・ 利用できる <input type="radio"/> 利用できない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧ | 工事用水 | 構内既存の施設
<input type="radio"/> 利用できる (<input type="radio"/> 有償 ・ 無償) ・ 利用できない | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨ | 工事用電力 | 構内既存の施設
<input type="radio"/> 利用できる (<input type="radio"/> 有償 ・ 無償) ・ 利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電氣回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 交通誘導警備員 | 配置 ・ 図示(図面番号: A131) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

[illegible]

③

防水改修工事

1

アスファルト防水

(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

工 法	種 別	施 工 箇 所
・ P1B	・ B-1 ・ B-2	
・ P1E	・ E-1 ・ E-2	
・ P2E		

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ()
(3.3.2) 断熱工法の断熱材 (P1B1, P2A1, POD1, M3D1, M4D1)
材質 ・ ()
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3 種 b A (スキンあり)
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 1 号
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号
厚さ ・ ()
ルーフトレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号:)
(3.3.3) (2) (4) 脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)
(3.3.3) (3) ・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない
・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()
(3.3.5) 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ・ 水下80mm以上 ・ ()
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ()
(表8.1.5) こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a 種 ・ b 種 ・ c 種
保護層 ・ 設ける ・ 設けない
屋上排水溝の適用 ・ 適用する
立上り保護 ・ 乾式保護材 ()
・ れんが (材種 ・ JIS R1250)
改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ()
断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1)
材質、厚さ ()
図示 ・ ()
(3.4.3) (表3.4.1)～
(表3.4.3)

工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2		

脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない
ルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による ・ ()
絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ()
断熱工法の断熱材 (POS1, SAS1, S3S1, M4S1)
材質、厚さ ()
・ 図示 ()
(3.5.3) (表3.5.1)～
(表3.5.3)

工 法	種 別	種 別	仕 上 塗 料
・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)		
・ S3S1	・ S-F2 (S1-F2)		

(3.5.3) 脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない
(3.5.4) 既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合
目地処理 ・ 図示 (図面番号:)
増張り ・ 図示 (図面番号:)
機械式固定方法
風圧力に対応した工法 ・ 図示 (図面番号:)
保護層の施工 ・ 図示 (図面番号:)
(3.6.3) (表3.6.1)
(3.6.3) (1)

工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料
・ POX ・ L4X	・ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H	・ 玄関庇	

(3.6.3) (2) 脱気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない

工 法	種 別	施 工 箇 所
・ PIY ・ P2Y	・ Y-2	

保護層 ・ 図示 (図面番号:)
(3.2.6) (3) (4)
(3.2.6) (3) (4) ⑤ 既存防水層表面の仕上塗装の除去
(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない
(L4X) ・ 行う ・ 行わない

6

シーリング

(3.7.2)
(表3.7.1)

種類	材 種	施 工 箇 所
・ SR-1	シリコーン系	
・ MS-2	変成シリコーン系	
・ PS-2	ポリサルファイド系	
・ PU-2	ポリウレタン系	

工 法
・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 抵幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
(3.7.4)～7
(3.7.8) シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない
(3.8.2) 7 とい (3.8.2)
(表3.8.1)
(表3.8.2) 材 種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管)
・ ()
とい受金物及び足金物

といの材種	形 状	取付け間隔

工 法 ・ 図示 (図面番号:)
部材の種類
・ 押出し200形
・ 押出し250形
・ 押出し300形
・ 押出し350形
・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())
(3.9.2) (3)
(表3.9.1) (3.9.3) (2) 固定金具の間隔 (mm)
固定方法 ・ ()
(3.9.2) (4)
(3.9.3) 表面処理 ・ ()
工 法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号:)
下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号:)
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号:)
笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

工事区分	材 料 名	保 証 年 数
防水工事	・ 防水	・ 10年 ・ 年

※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。
(3.7.4)～7
(3.7.8) ⑧ アルミニウム製笠木
(3.9.2) (3)
(表3.9.1) (3.9.3) (2)
(3.9.2) (4)
(3.9.3) ⑨ 保証書

4

外壁改修工事

1

施工数量調査

・ 行う ・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・ ()
調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm未満 ・ 0.2mm以上～1.0mm以下 ・ 1.0mm以上超)
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)
報告書 2 部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2

改修工法の種類

(4.1.4)
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンクリート打らし 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ モルタル塗り仕上 げ外壁	浮き部	・ アンカービンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカービンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
・ タイル張り仕上 げ外壁	浮き部	・ アンカービンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカービンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
・ 塗り仕上 げ外壁	新規仕上 げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り

3

改修工法等

(4.2.4) (1)
(4.2.4) (2)
(4.2.6)
(4.3.6)
(4.4.6)

・ 樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入口間隔 ()
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入口間隔 ()
材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
・ 抜取り個数 ()
・ 抜取り部分補修方法 ()
(4.2.4) (2)
(4.2.6)
(4.3.7) ・ Uカットシール材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填
(・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない
(4.2.4) (3)
(4.2.7)
(4.3.8) ・ シール工法
材料 ・ バテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂
(4.2.4) (4)
(4.2.8)
(4.3.9) ・ 充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
(4.3.5) (5)
(4.3.10) ・ モルタル塗替え工法
材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料
・ 既製目地材の適用及び形状 ()
・ 仕上げ厚 ()
(4.3.5) (6)
(4.3.11) (4.4.9)
(図4.3.1) ・ アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカービンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ()
(4.3.5) (6)
(4.3.12) (4.4.10)
(図4.3.2) ・ アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカービンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ()
(4.3.5) (6)
(4.3.13) (4.4.11)
(図4.3.2) ・ アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカービンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ()
(4.3.5) (7)
(4.3.14) (4.4.12)
(図4.3.3) ・ 注入口付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカービンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()
(4.3.5) (7)
(4.3.15) (4.4.13)
(図4.3.4) ・ 注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカービンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()
(4.3.5) (7)
(4.3.16) (4.4.14)
(図4.3.4) ・ 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカービンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
・ 注入口付アンカービン (・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ())
呼び径 ・ 6mm ・ ()
(4.4.5) (4)
(4.4.7) ・ タイル部分張替え工法
張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル
・ 接着剤 (一液反応硬化形変成シリコーン樹脂) ・ ()

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
・ 既調合モルタル ・ 使用する ・ 使用しない
(4.4.5) (4)
(4.4.8)
(表4.4.5) ・ タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工 法	塗り厚 (mm)
・ 外装 タイル	小口平 二丁掛 100角	・ 密着張り	5～8
		・ 改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 1～3
・ ユニットタイル	50二丁以下	・ マスク張り	3～4
		・ モザイクタイル貼り	3～5

(4.4.15) ・ 注入口付アンカービンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカービンの本数 (本)
(4.4.5) (5)
(4.4.16) ・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
(位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

特記事項

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図
加藤 輝樹

監図
三浦 健児

工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事

図面名称
工事特記仕様書 (改修) No. 2

縮 尺
A2:1/NS
A3:1/NS

図面番号
A010
(原図・A2)

設計日

④

塗り仕上げ
(4.5.2)
(表4.5.1(その1)
(その2))

種 類

呼び名

仕上げ形状

工法

薄付け仕上塗材

・ 外装薄塗材E

・ 砂壁状
・ ゆず肌状
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ ゆず肌状
・ さざ波状

吹付け
こて
ローラー

厚付け仕上塗材

・ 外装厚塗材C

・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ ひき起し
・ 掻き落とし

吹付け
こて

複層仕上塗材

・ 複層塗材E
・ 複層塗材RE
・ 防水形複層塗材E
・ 防水形複層塗材RE

・ ゆず肌状
・ 凸部処理
・ 凹凸状

ローラー
吹付け

可とう形改修用
仕上塗材

・ 可とう形改修塗材E
・ 可とう形改修塗材RE
・ 可とう形改修塗材OE

・ 平たん状
・ さざ波状
・ ゆず肌状

ローラー
吹付け

・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m2)

・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種

(4.6.2)
(表4.6.1)
(表4.5.2)

複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外 観		
・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶有 ・ 艶有	・ 艶無 ・ 艶無 ・ 艶無	・ メタリック
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無		
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶有 ・ 艶有	・ 艶無 ・ 艶無 ・ 艶無	・ メタリック
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶有 ・ 艶有	・ 艶無 ・ 艶無 ・ 艶無	・ メタリック
・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶有 ・ 艶有	・ 艶無 ・ 艶無 ・ 艶無	

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(表4.7.1)

外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法

種類	仕上げの形状	工法
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け
	・ 凸部処理	
	・ ゆず肌状	・ ローラー
	・ さざ波状	

(4.5.4)

既存塗膜等の除去及び下地処理

工 法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく離剤工法	
・ 水洗い工法 (高圧ポンプ (10～15MPa) ・ デッキブラシ)	全面

(4.5.5)

下地調整

・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()

⑤

建 具
改 修
工 事

①

改修工法
(5.1.3)

・ かぶせ工法
・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法

・ 撤去工法
・ はつり工法 ・ 引抜き工法

2

防火戸
(5.1.4)

・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:)
・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)

3

見本の製作
(5.1.5)

・ 製作する ・ 製作しない

4

防犯建物部品
(5.1.7)

・ 図示 (図面番号:)

5

ブラインドボッ
クス等
(5.1.6)(3)

・ 再使用する ・ 再使用しない

⑥

アルミニウム製
建具
(5.2.2)
(5.2.4)
(表5.2.1)

(表5.2.2)

外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種
・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ ()
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類
・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外)
・ BA-1 ・ BA-2 ・ ()
・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外)
・ BB-1 ・ BB-2 ・ ()
・ 内部に面する建具
・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()

⑦

網戸
(5.2.3)(5)

・ 可動式 ・ 固定式
防虫網の材質
・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製
網目
・ 16メッシュ ・ 18メッシュ

外部に面する樹脂製建具の性能等級等
・ A種 ・ B種 ・ C種

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 日射熱取得性 (等級)
ガラス ・ 複層ガラス ・ ()
建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:)
水切り ・ 図示 (図面番号:)
ぜん板 ・ 図示 (図面番号:)
丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号:)

鋼製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)

・ H2400又はW950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.4.2による

鋼製軽量建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)
・ H2400又はW950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による

表面仕上げ
・ 塗装
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)
・ ()

ステンレス製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級) ・ MDF 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)～(c) ・ ()

材料 ・ SUS304 ・ ()

表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()

曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

含水率 ・ A種 ・ B種
・ フラッシュ戸 表面材 ・ ()
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・ ()
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)～(c) ・ ()
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ()
曲げ強さによる区分 ・ ()
接着剤による区分 ・ ()
難燃性による区分 ・ ()

・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする
・ かまち戸 見込み寸法 ・ 36mm ・ ()
かまち及び鏡板の樹脂 ・ ()
・ ふすま 見込み寸法 ・ 19.5mm ・ ()
種別 ・ I種 ・ II種
ふすま紙の上張り種類 ・ ()
縁の仕上げ ・ ()
・ 戸ぶすま 見込み寸法 ・ 30mm ・ ()
表面材 ・ ()
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・ ()
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)～(c) ・ ()
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ()
曲げ強さによる区分 ・ ()
接着剤による区分 ・ ()
難燃性による区分 ・ ()

・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする
上張りの種類 ・ ()

・ 紙張り障子 見込み寸法 ・ 30mm ・ ()
枠及びくつずりの材料 ・ ()

金物の見え掛かり部等の材質等
・ 改修標準仕様書 (表5.8.1)による
・ 図示 (図面番号: A075, A078, A079)

マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない
引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要

駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 車椅子使用者用便房出入口用)
・ 図示 (図面番号:)

引き戸用検出装置の種類
・ 図示 (図面番号:)

凍結防止措置 ・ あり ・ なし

⑧

鋼製建具
(5.4.2)

(5.4.4)

⑨

鋼製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2)(2)
(5.5.3)
(5.4)
(5.6.3)(1)
(5.2.3)(1)

1 1

ステンレス製
建具
(5.6.2)
(5.4.2)

(5.6.3)

(5.6.4)

(5.6.5)

1 2

木製建具
(5.7.2)
(5.7.3)

⑬

建具用金物
(5.8.2)

(5.8.4)

1 4

自動ドア開閉
装置
(5.9.2)

(5.9.3)
(表5.9.4)
(5.9.3)(9)

1 5

自閉式上吊り
引戸装置
(5.10.3)

自閉式上吊り引戸装置の性能値
・ 改修標準仕様書 (表5.10.1)による ・ ()

1 6

重量シャッター
ー
(5.11.2)

種類
・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター

耐風圧強度 (Pa以上)

開閉機能
・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式

管理用重量シャッターのシャッターケース
・ 設ける ・ 設けない
・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()

開閉形式
・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式

耐風圧強度 (Pa以上)

スラットの材質及び形状
・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ()
JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()

型式及び機構
セクション材料
・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ

耐風圧強度 (Pa以上)

開閉方式
・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式

収納形式
・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形

ガイドレール
・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板

・ 図示 (図面番号:)

⑬

板ガラス
(5.14.2)(1)
(5.14.3)

⑭

ガラス留め材
(5.14.2)(2)

⑮

ガラス溝の寸
法、形状等
(5.14.3)

2 2

ガラスブロッ
ク積み
(5.14.5)

ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:)
金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)

化粧カバー ・ 図示 (図面番号:)
工法 ・ 図示 (図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

⑥

内 装
改 修
工 事

①

一般事項
(6.1.3)(2)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改 修 範 囲
・ 天井	・ 図示 (図面番号: A087他)
・ 壁	・ 図示 (図面番号:)
・ 床	・ 図示 (図面番号:)

(6.1.3)(3)

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
・ 図示 (図面番号:) ・ ()

(6.1.3)(5)

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
・ 図示 (図面番号:) ・ ()

②

既存床撤去、下
地補修
(6.2.2)(1)(7)

既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
・ 行う ・ 行わない

合成樹脂塗料床材の除去等
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

改修後の床の清掃範囲
・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・ ()

3 既存壁撤去、下
地補修
(6.3.2)

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
・ ()

4 木下地等
(6.5.2)(1)(4)
(表6.5.1)

(6.5.2)(2)(7)

木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)

部材名称	種 別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
下地用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
造作用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

特

記

事

項

代表設計者
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当
一級建築士
第307846号
三橋 五百子

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早紀

設計担当
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当

法適合確認

作図
加藤 早紀
監図
三橋 五百子

工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事

図面名称
工事特記仕様書 (改修) No. 3

縮 尺
A2:1/NS
A3:1/NS

図面番号
A011
(原図・A2)

環境配慮改修工事

2

断熱アスファルト防水改修工事
(9.2.1)～
(9.2.3)

改修特記仕様書3章による

3

外断熱改修工事
(9.3.2)

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・ロックウール断熱材	
・グラスウール断熱材	
・()	

施工箇所
・図示(図面番号:)・()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3) 既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去
・あり
・なし
下地面の清掃
・行う
・行わない
欠損部の改修工法
・充填工法
・モルタル塗替え工法
・()

(9.3.4) 工法
通気層の有無
・あり(mm)
・なし
断熱材の施工
・断熱材製造所の仕様による
・()
外装材の施工
・外装材製造所の仕様による
・()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない
不陸等の下地調整
・行う

4

断熱・防露改修工事
(9.5.2)

断熱材打込み工法

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・()	

施工箇所
・図示(図面番号:)・()

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1
・A種1H
・()
厚さ(mm)
・25
・30
・()
施工箇所
・図示(図面番号:)

(9.5.4) 現場発泡断熱材
(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による
(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

5

屋上緑化改修工事
(9.6.1)
(9.6.2)

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽量システム

・適用する
・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等
・図示(図面番号:)・()
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
・図示(図面番号:)・()

(9.6.3) 工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない

かん水装置
・設置する(種類
・)
既存保護層の撤去
・行う
・行わない

6

透水性アスファルト舗装改修工事
(9.5.2)～
(9.5.7)
(9.5.9)

既存舗装の撤去及び再利用
・図示(図面番号:)・()

路床

路床の材料

種別	材料	厚さ[mm]
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示(図面番号:) ・()
・凍上抑制層	・再生クワツシャラン ・クワツシャラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・()	・図示(図面番号:) ・()
・フィルター層	・砂 ・()	・図示(図面番号:) ・()

路床安定処理
・添加材料による安定処理
種類
・普通ポルトランドセメント
・フライアッシュセメントB種
・生石灰(・特号
・1号)
・消石灰(・特号
・1号)
添加量(kg/m2) (目標CBR
・5以上
・)
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/m2以上
・()
厚さ[mm]
・0.5～1.0
・()
引張強さ
・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
・()
透水係数
・1.5×10⁻¹cm/sec 以上
・()

試験
路床土の支持力比(CBR)試験
・行う
・行わない
路床締固め度の試験
・行う
・行わない
現場CBR試験
・行う
・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ
・図示(図面番号:)・()
路盤材料
・再生材のクワツシャラン
・クワツシャラン鉄鋼スラグ
・図示(図面番号:)
・()

試験
路盤締固め度の試験
・行う
・行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
・ストレートアスファルト	・図示(図面番号:) ・()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
・行わない
舗装の平たん性
・著しい不陸がないもの
・()

9

石綿含有建材の除去工事
(9.1.1)

石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計1点
・	測定2		処理作業室外(建物周囲)	計4点
・	測定3		処理作業室内(廊下仮囲内) 処理作業室内(廊下仮囲外)	計4点 計4点
・	測定4	処理作業中	負圧・除じん装置の排気出し口 以下	計4点 以下の位置
・	測定5		処理作業室外(建物周囲)	計4点
・	測定6	処理作業後 (シート養生中)	建物周囲	計4点
・	測定7		処理作業室内	計1点
・	測定8	処理作業後シート撤去後1週間	調査対象室外部の付近	計点

測定方法

	測定3	測定1,4,7	測定2,5,6
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・1 ・()	・5 ・()	・10 ・()
試料の吸引時間(min)	・5 ・()	・120 ・()	・240 ・()

(9.1.3) 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲
・図示(図面番号:)
除去工法
・改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
・()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・湿潤化
・固化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.4) 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲
・図示(図面番号:)
除去方法
・改修標準仕様書9.1.4(1)による
・()
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.5) 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲
・図示(図面番号: A085)
石綿含有せっこうボードの処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.6) 石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲
・図示(図面番号:)
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(熔融又は無害化による)
※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。
・除去等作業の結果報告
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

代表設計者

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

設計担当

法適合確認

作図
加藤 健司

監図
三浦 輝彦

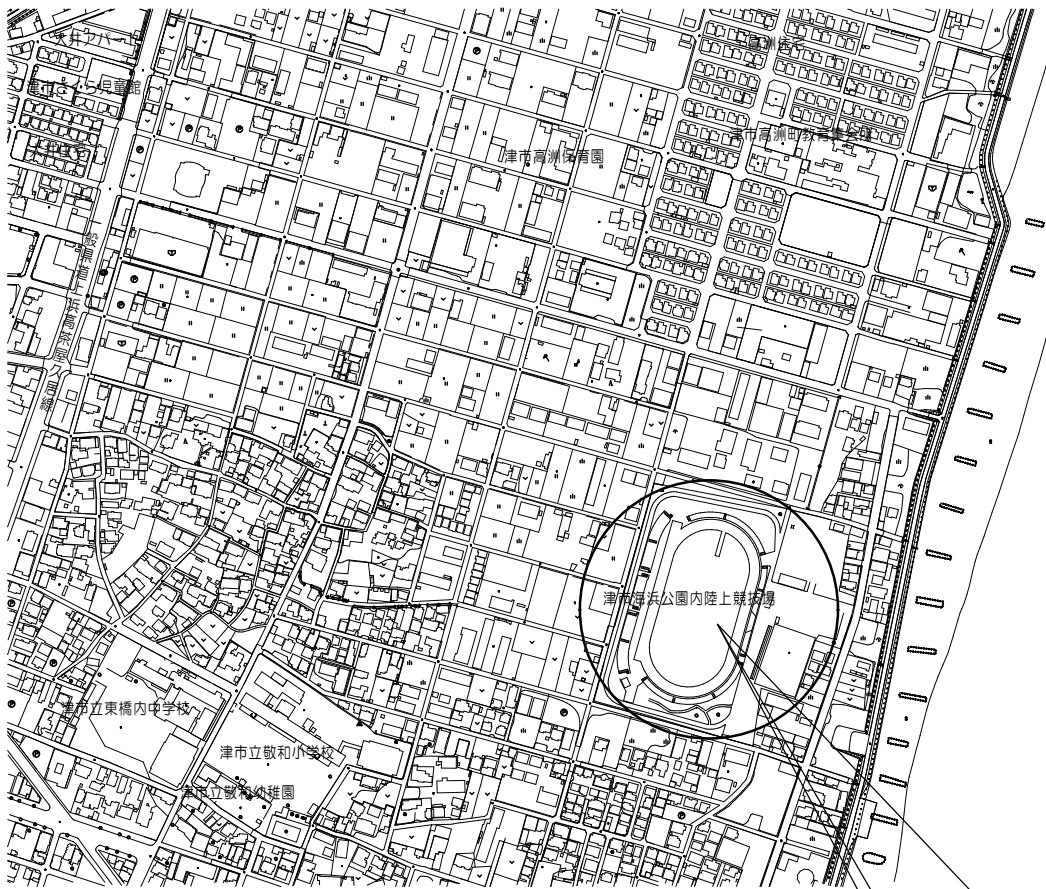
工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事

図面名称
工事特記仕様書(新営)No.7

縮尺
縮尺
A2:1/NS
A3:1/NS

図面番号
A015
(原図:A2)

設計日

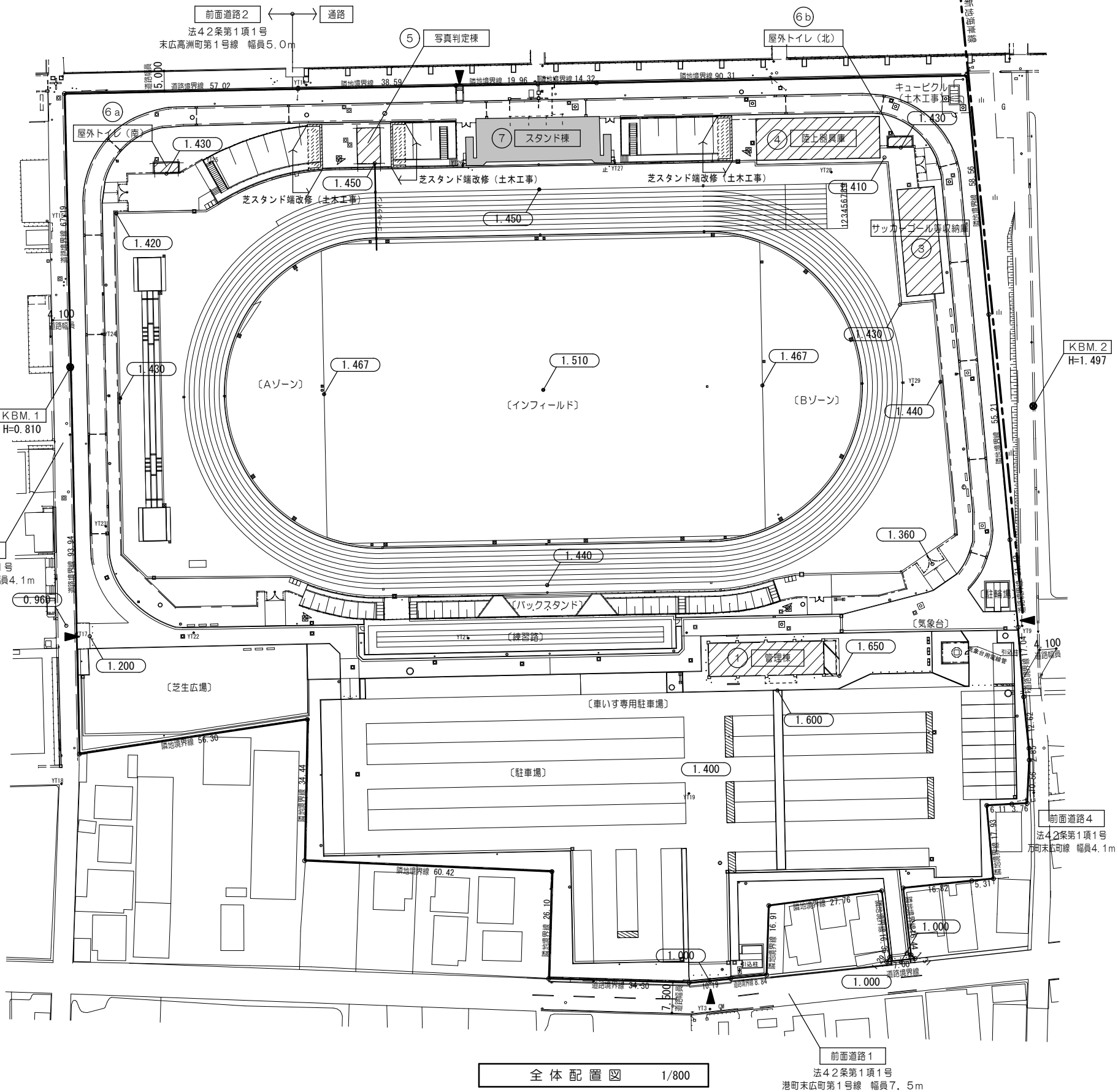


付 近 見 取 図 1/5000

計画建物において、延焼のおそれがある部分がかかっていないことあきらかなため、延焼ラインは記載しません。

凡 例	
	申請建物を示す
	改修建物を示す
	敷地出入口を示す

各 棟 面 積 表								
	番号	棟 名	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構造	床面積 (㎡)		備 考
						1 階	2 階	
申請建物 (新築)	①	管理棟	286.82	448.00	RC造	224.00	224.00	
	③	サッカーゴール等収納庫	234.00	234.00	S造	234.00	——	
	④	陸上器具庫	300.00	300.00	S造	300.00	——	
	⑤	写真判定棟	47.95	95.90	S造	47.95	47.95	
	⑥a	屋外トイレ (南)	12.67	12.67	RC造	12.67	——	
	⑥b	屋外トイレ (北)	12.67	12.67	RC造	12.67	——	
小 計			894.11	1,103.24		831.29	271.95	
改修	⑦	スタンド棟	340.67	568.26	RC造	253.85	314.41	【建築計画概要書】 第60市284号 (昭和60年7月2日) 【建築基準法第48条第1項但書許可】 第58-12号 (昭和58年10月4日)
小 計			340.67	568.26		253.85	314.41	
合 計			1,234.78	1,671.50		1,085.14	586.36	



全 体 配 置 図 1/800

特 記 事 項	特記事項	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	法適合確認	作図 施図 校図 三橋 将輝	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
	特記事項	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				
	特記事項								
	特記事項								



地番				
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
①	88.03	43.52	3,831.0656	1,915.53280
②	116.74	22.21	2,592.7954	1,296.39770
③	133.54	10.07	1,344.7478	672.37390
④	164.92	83.48	13,767.5216	6,883.76080
⑤	103.21	50.83	5,246.1643	2,623.08215
⑥	160.11	10.15	1,625.1165	812.55825
⑦	176.97	136.26	24,113.9322	12,056.96610
⑧	111.17	47.45	5,275.0165	2,637.50825
⑨	150.35	33.06	4,970.5710	2,485.28550
⑩	70.27	29.60	2,079.9920	1,039.99600
⑪	174.89	44.47	7,777.3583	3,888.67915
⑫	176.97	21.15	3,742.9155	1,871.45775
⑬	43.07	20.78	894.9946	447.49730
⑭	128.43	15.68	2,013.7824	1,006.89120
⑮	53.59	21.58	1,156.4722	578.23610
⑯	122.76	26.16	3,211.4016	1,605.70080
⑰	27.05	6.32	170.9560	85.47800
⑱	20.08	7.38	148.1904	74.09520
⑲	80.37	14.80	1,189.4760	594.73800
⑳	58.53	8.22	481.1166	240.55830
㉑	27.97	5.26	147.1222	73.56110
㉒	17.25	5.03	86.7675	43.38375
㉓	33.05	2.77	91.5485	45.77425
㉔	17.31	1.76	30.4656	15.23280
㉕	15.18	4.22	64.0596	32.02980
㉖	28.66	10.50	300.9300	150.46500
㉗	11.55	3.42	39.5010	19.75050
㉘	17.25	4.98	85.9050	42.95250
㉙	18.74	5.08	95.1992	47.59960
㉚	7.00	0.93	6.5100	3.25500
㉛	6.18	0.82	5.0676	2.53380
	合 計			43,293.33135
	敷 地 面 積			43,293.33 m ²



設計概要					外部仕上表														
工事名称		海浜公園内陸上競技場改修工事			管理棟					サッカーゴール等収納庫 陸上器具庫					写真判定棟				
工事場所		津市末広町24番32号（海浜公園）			部 位					部 位					部 位				
防火指定		指定なし			仕 上					仕 上					仕 上				
道路幅員		敷地北側：万町末広町線 幅員4.1m 敷地東側：港町末広町第1号線 幅員7.5m 敷地南側：中河原末広町第5号線 幅員4.1m 敷地西側：末広高洲町第1号線 幅員5.0m			屋 根					屋 根					屋 根				
用途地域		市街化区域（第一種住居地域） （建ぺい率：60％ 容積率：200％）			陸屋根					樋					庇				
その他		法22条区域、黄崎浦風致地区			ドレン					外 壁					外 壁				
敷地面積		43,293.33㎡			樋					根廻り					根廻り				
工事種別		新築、改修（スタンド棟）			軒 天					開口部					開口部				
主要用途	新築		建築基準法	消防法施行令別表第1	外 壁					犬走り					犬走り				
		【管理棟】	集会場	1項（ロ）	梁天端					根廻り					根廻り				
		【サッカーゴール等収納庫】	倉庫	14項	断熱材					開口部					開口部				
		【陸上器具庫】	倉庫	14項	外部階段					通路					通路				
建築面積	新築	【写真判定棟】	写真判定棟	15項	通路					その他					その他				
		【屋外トイレ（南）】	公衆便所	——	主要構造部関係・・・耐火構造種別：耐火建築物					主要構造部関係・・・耐火構造種別：その他					主要構造部関係・・・耐火構造種別：その他				
		【屋外トイレ（北）】	公衆便所	——	部 位					部 位					部 位				
		【スタンド棟】	観覧場	1項（イ）	屋 根					屋 根					屋 根				
延床面積	新築				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
延床面積	新築	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	448.00㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【サッカーゴール等収納庫】	234.00㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【陸上器具庫】	300.00㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修	【写真判定棟】	95.90㎡		部 位					部 位					部 位				
		【屋外トイレ（南）】	12.67㎡		屋 根					屋 根					屋 根				
		【屋外トイレ（北）】	12.67㎡		外 壁					外 壁					外 壁				
		【スタンド棟】	568.26㎡		部 位					部 位					部 位				
	改修				部 位					部 位					部 位				
		【管理棟】	4																

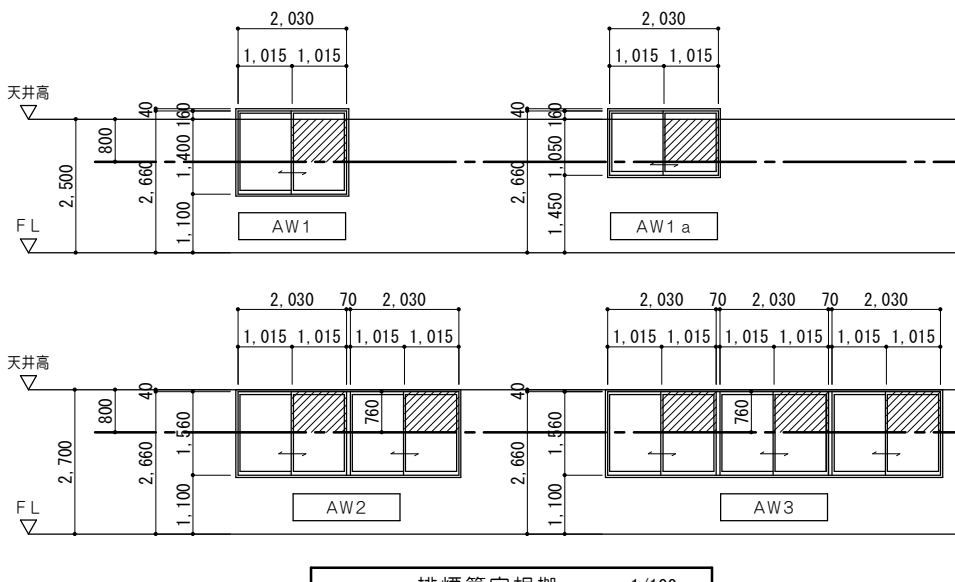
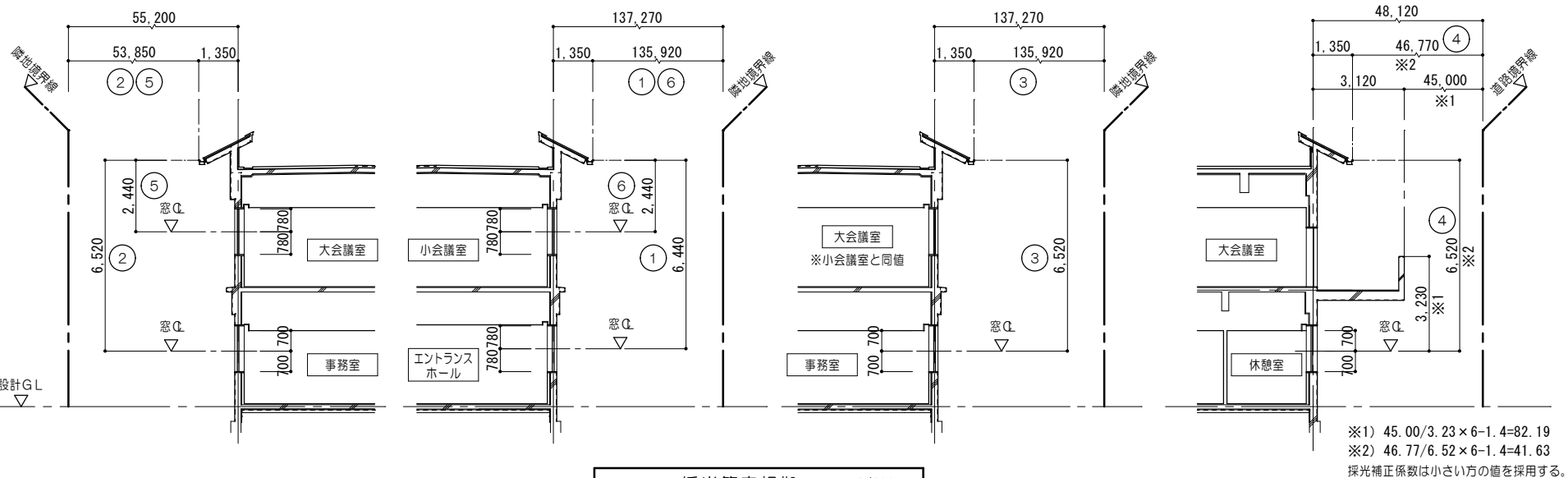
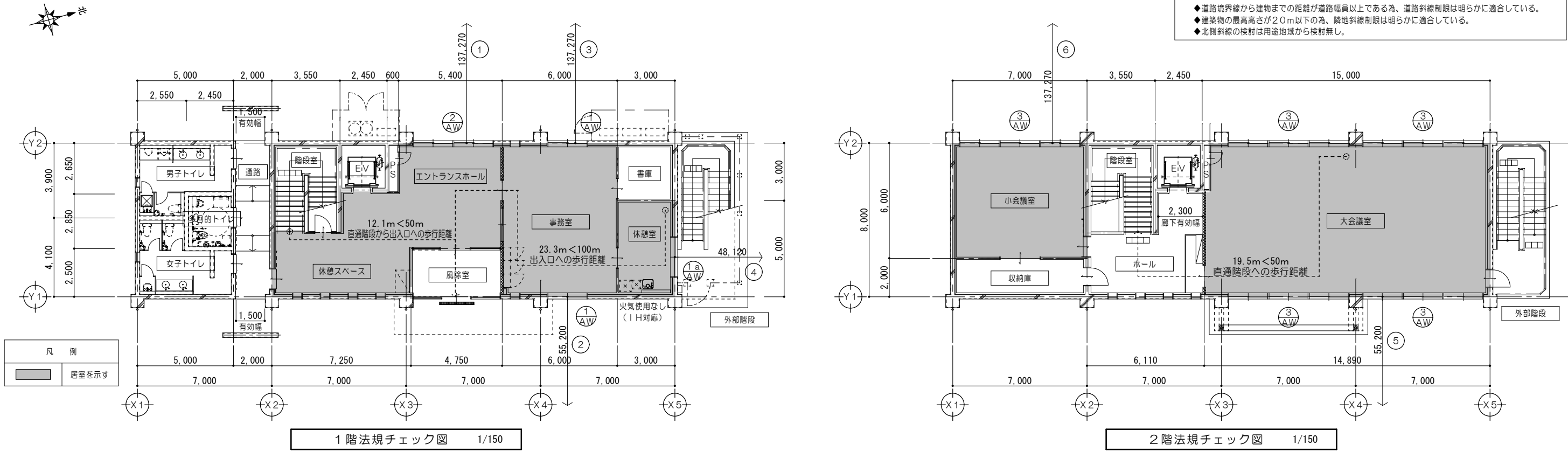
内 部 仕 上 表 【 管 理 棟 】																					
階	内 装 制 限	室 名	床			巾 木			腰 壁			壁			天 井				C H	室名札	備 考
			記号	下 地	仕 上	記号	仕 上	H	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	廻縁			
1	—	風除室	F 1	モルタル木コテ押工	磁器質300角タイル張	BB 1	磁器質150角タイル張	150	—	——	——	W1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C 1	LGS下地	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,700		
												W2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張							
	—	エントランスホール 休憩スペース	F 2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートァ2.0張	BB 3	木製巾木 C L 塗	60	SW1	LGS下地	杉小巾板ァ12張 C L 塗 PBア12.5	W1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C 1	△	△	塩ビ	2,700		掲示板、館内案内サイン、 BB、ブラインド
												SW2	遮音壁（スラブまで）	杉小巾板ァ12張 C L 塗	W2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張				
	—	事務室	F 3	OAフロア（支柱式） H100 セルフレバリング	タイルカーベッタ6.5敷 （帯電防止・土足対応）	BB 3	△	60	—	——	——	W1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C 2	△	化粧吸音PBア9.5張	塩ビ	2,500	○	BB、ブラインド
													W2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張						
	—	書庫	F 2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートァ2.0張	BB 2	ビニル巾木	60	—	——	——	W1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C 1	△	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,500	○	
	—	休憩室	F 2	△	△	BB 2	△	60	—	——	——	W1	△	△	C 1	△	△	塩ビ	2,500	○	キッチン、BB、ブラインド
												W3	△	抗菌メラミン不燃化粧板ァ3張 PBア12.5							
—	階段下倉庫	F 2	△	△	BB 2	△	60				W1	△	ビニルクロス張 PBア12.5	C 4	コンクリート 打放シ補修	NAD塗	—	—	○		
												W5	コンクリート下地	ビニルクロス張 PBア12.5（GL工法）							
—	女子トイレ 男子トイレ	F 4	モルタル木コテ	磁器質100角タイル張	—	——		SW3	モルタル木コテ CB下地	陶器質100角タイル張	W4	——	コンクリート打放シ補修 NAD塗	C 3	LGS下地	ケイカル板ァ6 EP塗	塩ビ	2,500	○ ピクト サイン	汚垂タイル（男子トイレ） 洗面カウンター（建築工事） 上配ボウル（機械設備工事）	
												SW4	モルタル木コテ コンクリート下地	△							
—	多目的トイレ	F 4	△	△	—	——		SW3	モルタル木コテ CB下地	陶器質100角タイル張	W4	——	コンクリート打放シ補修 NAD塗	C 3	△	△	塩ビ	2,500	○ ピクト サイン	ペビーチェア（機械設備工事） ペビーシート（機械設備工事） フィッティングボード（機械設備工事）	
												SW4	モルタル木コテ コンクリート下地	△							
—	EV		コンクリート金コテ押工	ケイ酸質系塗布防水塗 （C-U I）		ケイ酸質系塗布防水塗 （C-U I）		—	——	——		——	——		——	——	—	—	○ ピクト サイン		
2	—	ホール	F 2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートァ2.0張	BB 2	ビニル巾木	60	—	——	——	W1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C 1	LGS下地	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,700		床見切、下足入、BB、ブラインド
												W2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張							
	—	大会議室	F 5	セルフレバリング	複合フローリングァ12張	BB 3	木製巾木 C L 塗	60	—	——	——	W1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C 2	△	化粧吸音PBア9.5張	塩ビ	2,700	○	壁面鏡、BB、ブラインド
													W2	遮音壁（スラブまで）	ビニルクロス張						
—	小会議室	F 2	モルタル金コテ押工	ビニル床シートァ2.0張	BB 2	ビニル巾木	60	—	——	——	W1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C 2	△	△	塩ビ	2,700	○	BB、ブラインド	
—	収納庫	F 2	△	△	BB 2	△	60	—	——	——	W1	△	△	C 1	△	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,500	○		
共通	—	階段室	F 2	△	△	BB 2	△		—	——	——	W1	△	△	C 1	△	△	塩ビ	2,700		
												W5	コンクリート下地	ビニルクロス張 PBア12.5（GL工法）							

内 部 仕 上 表 【 サ ッ カ ー ゴ ー ル 等 収 納 庫 】 【 陸 上 器 具 庫 】																				
階	内装制限	室 名	床			巾 木		腰 壁			壁			天 井				CH	室名札	備 考
			記号	下 地	仕 上	記号	仕 上	H	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上			
1	—	サッカーゴール等収納庫 陸上器具庫	F10	土間コンクリート 金コテ押工 カッター切@3000内外	防壁用エポキシ樹脂塗床材 (防滑仕上)	BB10	塗床材同仕上 (平滑)	330 ~ 350	—	——	——	W10	——	外壁材表シ 鉄骨柱・鉄骨壁下地面 溶融亜鉛メッキ	C10	——	屋根材表シ 鉄骨梁面 溶融亜鉛メッキ	—	—	—

階	内装制限	室 名	床			巾 木			腰 壁			壁			天 井				CH	室名札	備 考
			記号	下 地	仕 上	記号	仕 上	H	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	記号	下 地	仕 上	廻縁			
1	—	倉庫	F 2 0	土間コンクリート 金コテ押工 カッター切@3000内外	防塵用エポキシ樹脂塗床材 (防滑仕上)	BB 2 0	塗床材同仕上 (平滑)	330 ~ 350	—	—	—	W 2 0	—	外壁材表シ 鉄骨柱・鉄骨壁下地面、溶融亜鉛メッキ PBア12.5 EP塗	C 2 0	—	デッキ表シ 鉄骨表シ 溶融亜鉛メッキ	—	—		
	—	物入1	F 2 1	土間コンクリート 金コテ押工	防塵用エポキシ樹脂塗床材 (防滑仕上)	BB 2 0	塗床材同仕上 (平滑)	330 ~ 350	—	—	—	W 2 0	△	△	C 2 1	LGS下地	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,400	○	
2	—	写真判定室・ 記録室	F 2 2	コンクリート金コテ押工	ビニル床シートア2.0張	BB 2 1	ビニル巾木	60	—	—	—	W 2 1	LGS下地	ビニルクロス張 PBア12.5	C 2 1	LGS下地	化粧PBア9.5張	塩ビ	2,400	○	床見切、下足入、BB、ブラインド
	—	物入2	F 2 2	△	△	BB 2 1	△	60	—	—	—	W 2 1	△	△	C 2 1	△	△	塩ビ	2,400	○	
共通	—	階段室	F 2 3	モルタル金コテ押工	△	BB 2 2	ササラ垢		—	—	—	W 2 2	△	PBア12.5 EP塗	C 2 1	△	△	塩ビ	2,400		

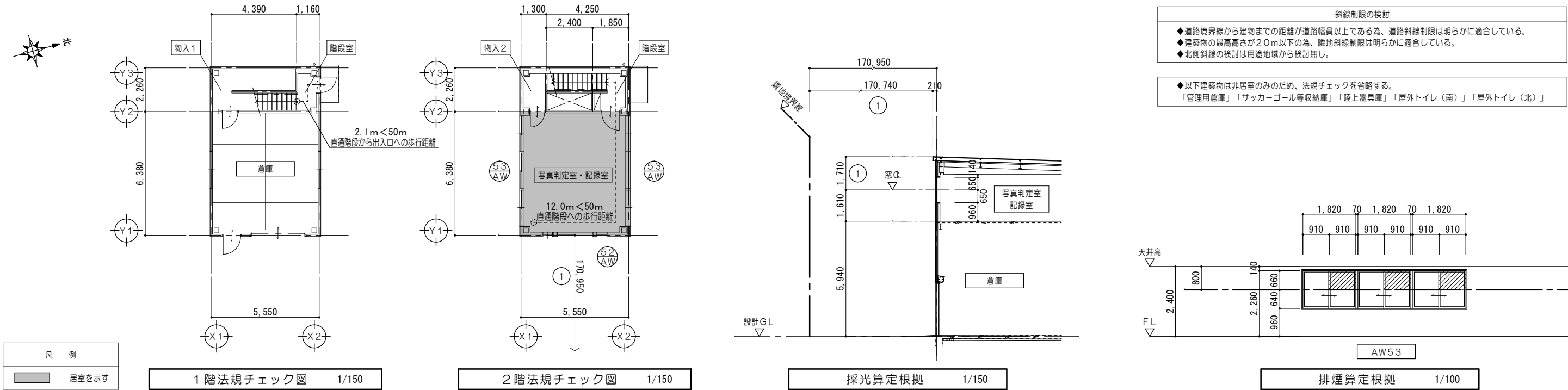
特 記 事 項		<div><div><div><div><div></div><div></div></div><div>MAEKO</div></div><div>株式 会社</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div></div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 <div><div>加藤</div><div>藤田</div></div> <div>捺印 <div>三橋</div><div>輝野</div></div>	工事名称	縮 尺 A2: NS A3: NS	設計日
			一級建築士 第320204号	一級建築士 第307846号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第360917号	工事名称			図面番号		
			前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早妃	前田 祐作	図面名称			原面番号		
			前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早妃	前田 祐作	【共通】内部仕上表No.2			A021 (原図:A2)		

特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号			代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図  捺印  縮尺 A2: 1/200 A3: 1/282 図面番号 A022 (原図: A2)	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【共通】建物面積求積図・各室求積図・各室求積表	設計日
	株式会社 前野建築設計			一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作					
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝											



◆令129条の四より 耐火建築物かつ客席≤400㎡のため内装制限は受けない。

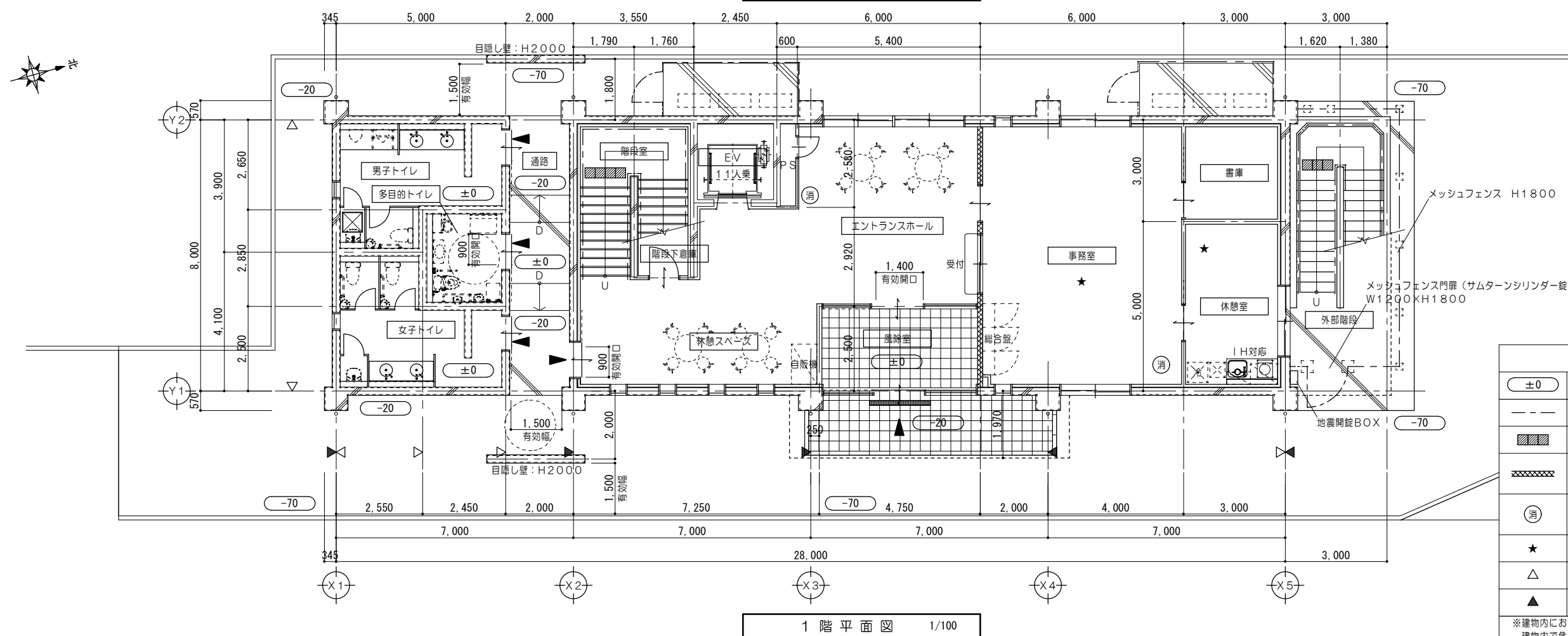
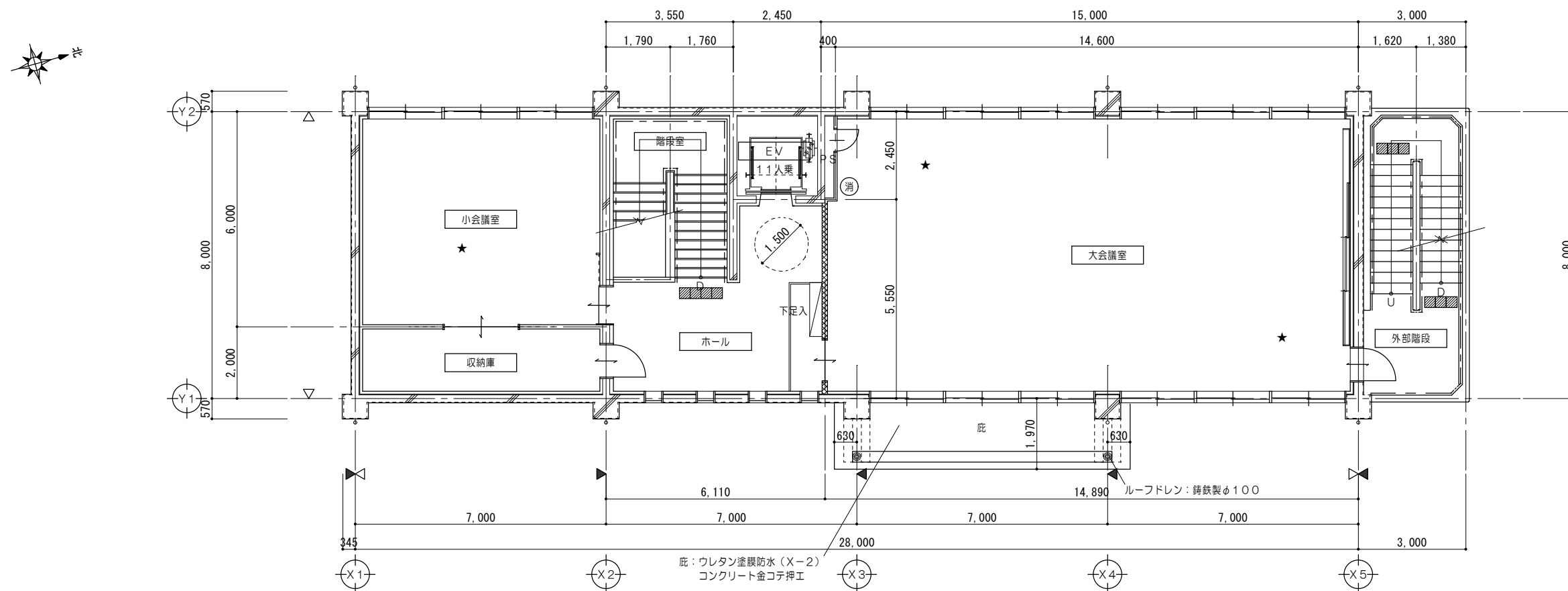
法 規 チェ ッ ク リ ス ト 【 管 理 棟 】																		
			採 光 算 定 表						換 気 算 定 表					排 煙 算 定 表				
階	室 名	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	窓記号	窓の種類	有効採光面積 (小数点3位切り捨て)	市街化区域(第一種住居地域) D/H×6-1. 4	判 定	必要換気面積 (㎡)	窓記号	有効換気面積 (小数点3位切り捨て)	判 定	必要排煙面積 (㎡)	窓記号	有効排煙面積 (小数点3位切り捨て)	判 定		
			室面積×係数 (小数点3位切り上げ)						室面積×係数 (小数点3位切り上げ)				必要排煙面積 (㎡) 室面積×係数 (小数点3位切り上げ)					
1	エントランスホール 休憩スペース	60.00	60.00 × 1/20 = 3.00	AW2	引違い窓	2.03×1.56×2×1=6.33 ■6.33×3(採光補正係数)=18.99	①135.92/6.44×6-1.4=125.23 →3.0(算定値)	OK	60.00 × 1/20 = 3.00	AW2	1.015×1.56×2×1=3.16	OK	60.00 × 1/50 = 1.20	AW2	1.015×0.76×2×1=1.54	OK		
	事務室	48.00	48.00 × 1/20 = 2.40	AW1	引違い窓	2.03×1.56×1×2=6.33 ■6.33×3(採光補正係数)=18.99	②53.85/6.52×6-1.4=48.15 →3.0(算定値)	OK	48.00 × 1/20 = 2.40	AW1	1.015×1.56×1×2=3.16	OK	48.00 × 1/50 = 0.96	AW1	1.015×0.80×1×2=1.62	OK		
							③135.92/6.52×6-1.4=123.67 →3.0(算定値)											
	休憩室	15.00	15.00 × 1/20 = 0.75	AW1a	引違い窓	2.03×1.21×1×1=2.45 ■2.45×3(採光補正係数)=7.35	④46.77/6.52×6-1.4=41.63 →3.0(算定値)	OK	15.00 × 1/20 = 0.75	AW1a	1.015×1.21×1×1=1.22	OK	15.00 × 1/50 = 0.30	AW1a	1.015×0.80×1×1=0.81	OK		
2	大会議室	118.41	118.41 × 1/20 = 5.93	AW3	引違い窓	2.03×1.56×3×4=38.00 ■38.00×3(採光補正係数)=114.00	⑤53.85/2.44×6-1.4=131.01 →3.0(算定値)	OK	118.41 × 1/20 = 5.93	AW3	1.015×1.56×3×4=19.00	OK	118.41 × 1/50 = 2.37	AW3	1.015×0.76×3×4=9.25	OK		
	小会議室	42.00	42.00 × 1/20 = 2.10	AW3	引違い窓	2.03×1.56×3×1=9.50 ■9.50×3(採光補正係数)=28.50	⑥135.92/2.44×6-1.4=332.82 →3.0(算定値)	OK	42.00 × 1/20 = 2.10	AW3	1.015×1.56×3×1=4.75	OK	42.00 × 1/50 = 0.84	AW3	1.015×0.76×3×1=2.31	OK		



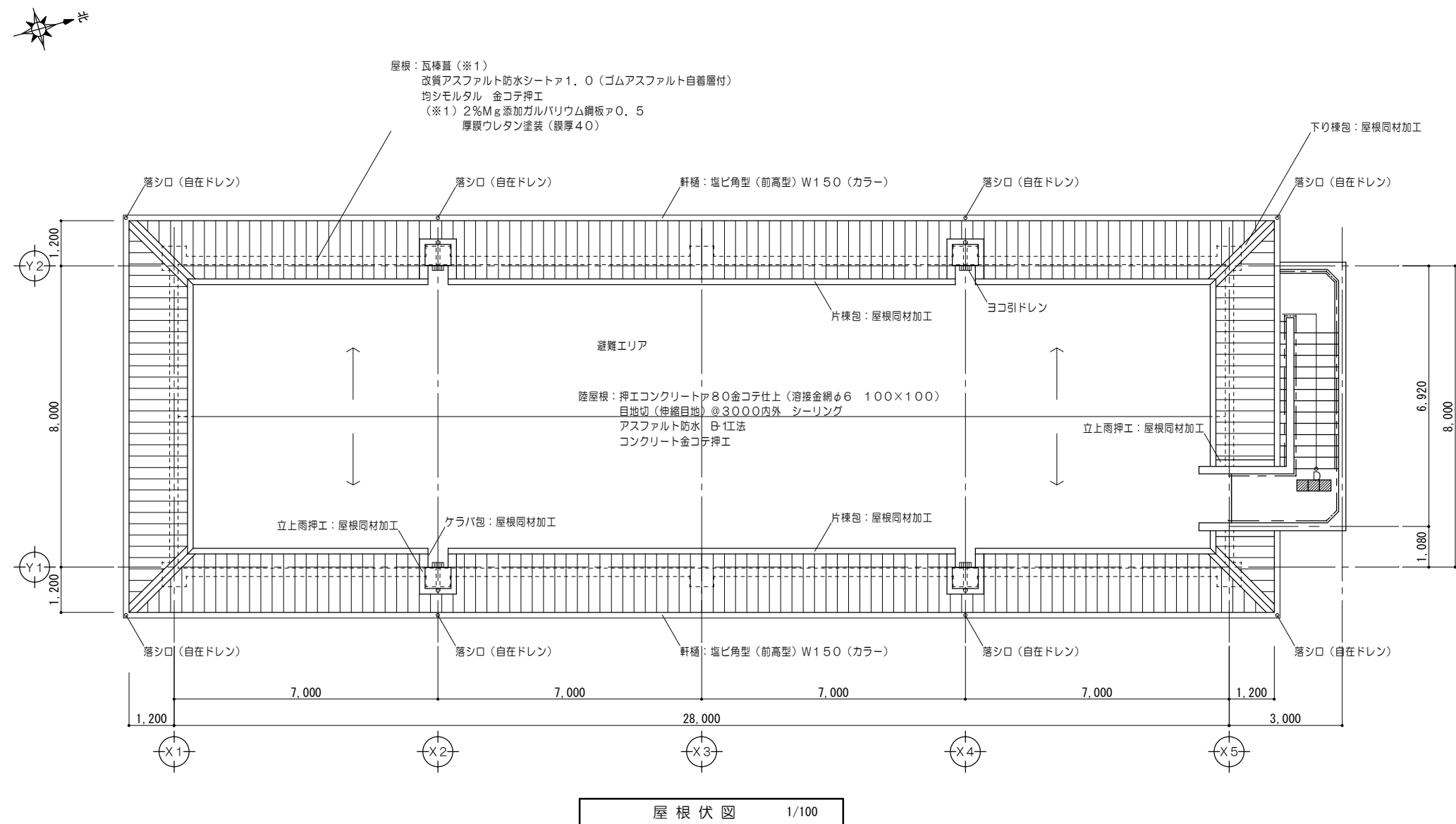
法規チェックリスト【写真判定棟】																
			採光算定表					換気算定表				排煙算定表				
階	室名	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	窓記号	窓の種類	有効採光面積 (小数点3位切り捨て)	市街化区域 (第一種住居地域) D/H×6-1.4	判 定	必要換気面積 (㎡)	窓記号	有効換気面積 (小数点3位切り捨て)	判 定	必要排煙面積 (㎡)	窓記号	有効排煙面積 (小数点3位切り捨て)	判 定
			室面積×係数 (小数点3位切り上げ)						室面積×係数 (小数点3位切り上げ)				室面積×係数 (小数点3位切り上げ)			
2	写真判定室 記録室	35.41	35.41 × 1/20 = 1.78	AW52	引違い窓	1.82×1.3=2.36 ■2.36×3 (採光補正係数)=7.08	① 170.74/1.71×6-1.4=597.68 →3.0 (算定値)	OK	35.41 × 1/20 = 1.78	AW53	0.91×1.30×3×2=7.09	OK	35.41 × 1/50 = 0.71	AW53	0.91×0.66×3×2=3.60	OK

消防無窓階の検討																
【管理棟】										【管理用倉庫】						
1階 必要面積	有効面積				数	小計	判定	2階 必要面積	有効面積				数	小計	判定	
224.00×1/30 =7.47	AD4	0.90	×	2.00	×	1 =1.80	1か所	1.80	224.00×1/30 =7.47	AW3	(2.03/2-0.04) ×1.56	×	3 =4.56	3か所	13.68	OK
	AW1	(2.03/2-0.04) ×1.56	×	1 =1.52	2か所	3.04										
	AW2	(2.03/2-0.04) ×1.56	×	2 =3.04	1か所	3.04										
	Total				7.88		Total				13.68					
【写真判定棟】																
1階 必要面積	有効面積				数	小計	判定	2階 必要面積	有効面積				数	小計	判定	
47.95×1/30 =1.60	AD51	0.80	×	2.00	×	1 =1.80	1か所	1.60	47.95×1/30 =1.60	AW53	(1.84/2-0.04) ×1.30	×	3 =3.43	1か所	3.43	OK
	SS51	2.70	×	2.50	×	1 =6.75	1か所	6.75								
	Total				8.35		Total				3.43					
【スタンド棟】																
1階 必要面積	有効面積				数	小計	判定	2階 必要面積	有効面積				数	小計	判定	
253.85×1/30 =8.47	AW82	(1.85/2-0.04) ×1.90	×	1 =1.68	1か所	1.68	OK	314.41×1/30 =10.49							OK	
	SD71	(1.76-0.1×2) ×1.90	×	1 =2.96	1か所	2.96										
	SD72	(1.50-0.1×2) ×1.90	×	1 =2.47	2か所	4.94										
	Total				9.58				2階部分は開放されているため、有窓階と判定する。							

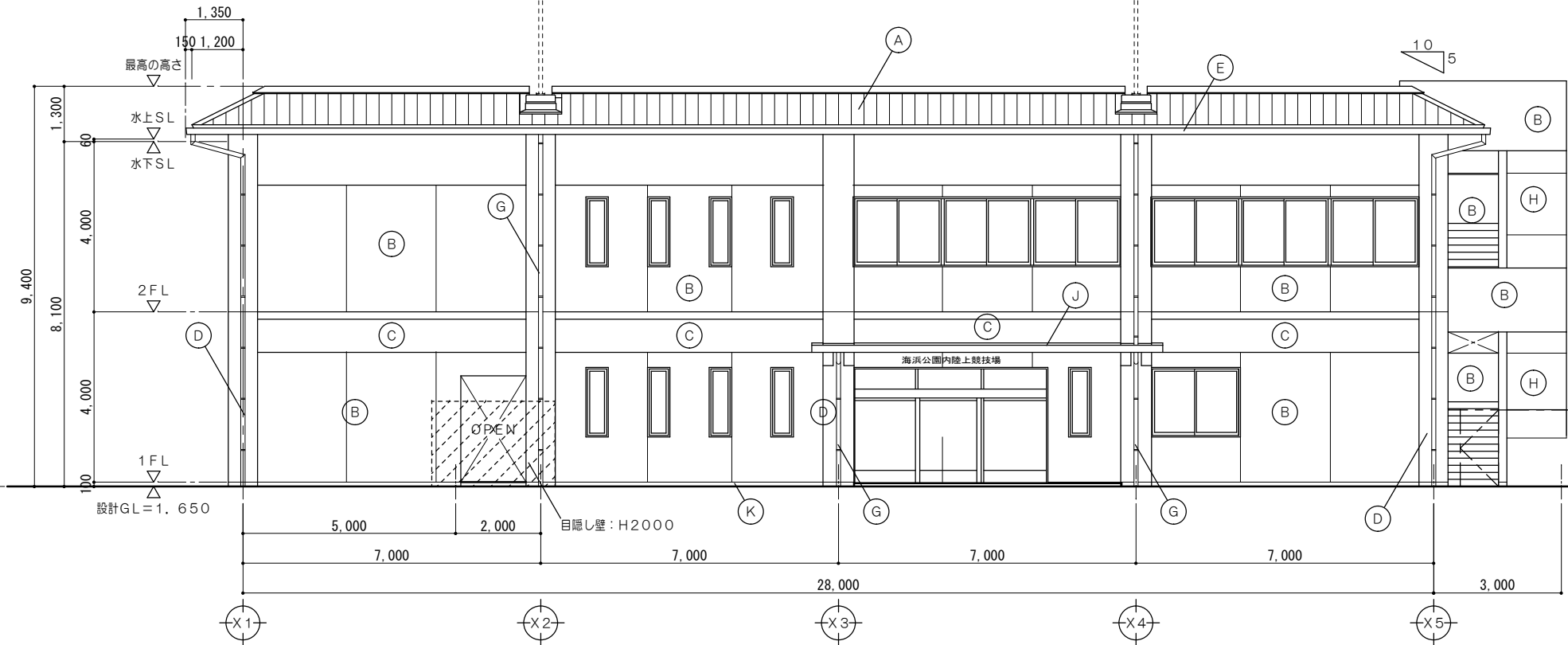
棟（階）の収容人数算定表																		
【管理棟】										【写真判定棟】								
階	室名	人数			階	室名	人数			階	室名	人数						
1	事務室	従業員数 4人			2	大会議室	118.41÷0.5= 237人			1								
						小会議室	42.00÷0.5= 84人											
	Total 4人					Total 321人												
【管理用倉庫】										【スタンド棟】								
1階 必要面積	有効面積				数	小計	判定	2階 必要面積	有効面積				数	小計	判定			
54.00×1/30 =1.80	AD21	0.80	×	2.00	×	1 =1.80	1か所	1.60	234.00×1/30 =7.80	AD31	0.80	×	2.00	×	1 =1.80	1か所	1.60	OK
	SS21	4.00	×	2.20	×	1 =8.80	1か所	8.80		SS31	5.53	×	3.65	×	1 =20.18	1か所	20.18	
	Total				10.40		Total				21.78							
【写真判定棟】										【陸上器具庫】								
1階 必要面積	有効面積				数	小計	判定	2階 必要面積	有効面積				数	小計	判定			
300.00×1/30 =10.00	AD41	0.80	×	2.00	×	1 =1.80	1か所	1.60	300.00×1/30 =10.00	AD41	0.80	×	2.00	×	1 =1.80	1か所	1.60	OK
	SS41	5.53	×	3.65	×	1 =20.18	1か所	20.18		SS41	5.53	×	3.65	×	1 =20.18	1か所	20.18	
	Total				21.78		Total				21.78							
【管理棟】										【写真判定棟】								
階	室名	人数			階	室名	人数			階	室名	人数						
1	事務室	49.74÷0.5= 100人			2	観覧場	固定式イス1脚あたり 1.80÷0.40= 4人 (小数点以下切り捨て) 4人×140脚= 560人			1								
	多目的室1	36.78÷0.5= 74人																
	多目的室2	36.78÷3.0= 74人																
	Total 248人					Total 560人												



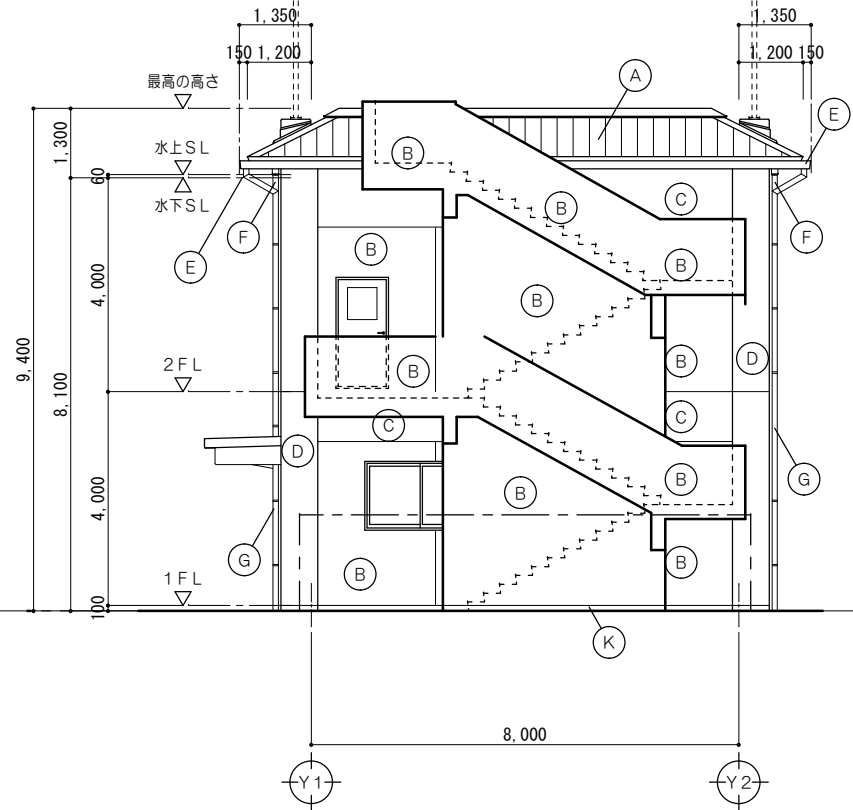
凡 例	
± 0	一般F Lからの床仕上高さを示す (特記なき限りはF L ± 0 とする)
— — —	手すり (壁面より出100以下とする)
	点字版を示す
	遮音壁 (スラブまで) を示す 強化P B α 12. 5 + 強化P B α 12. 5 (両面) L G S 下地 GW24K α 50
	消火器 (A B C 粉末10型) ※消防設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す
	壁面を示す
	柱芯を示す
<p>※建物内において火気使用なし。 建物内で危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱なし。 燃物の保管はなし。</p>	

[illegible]

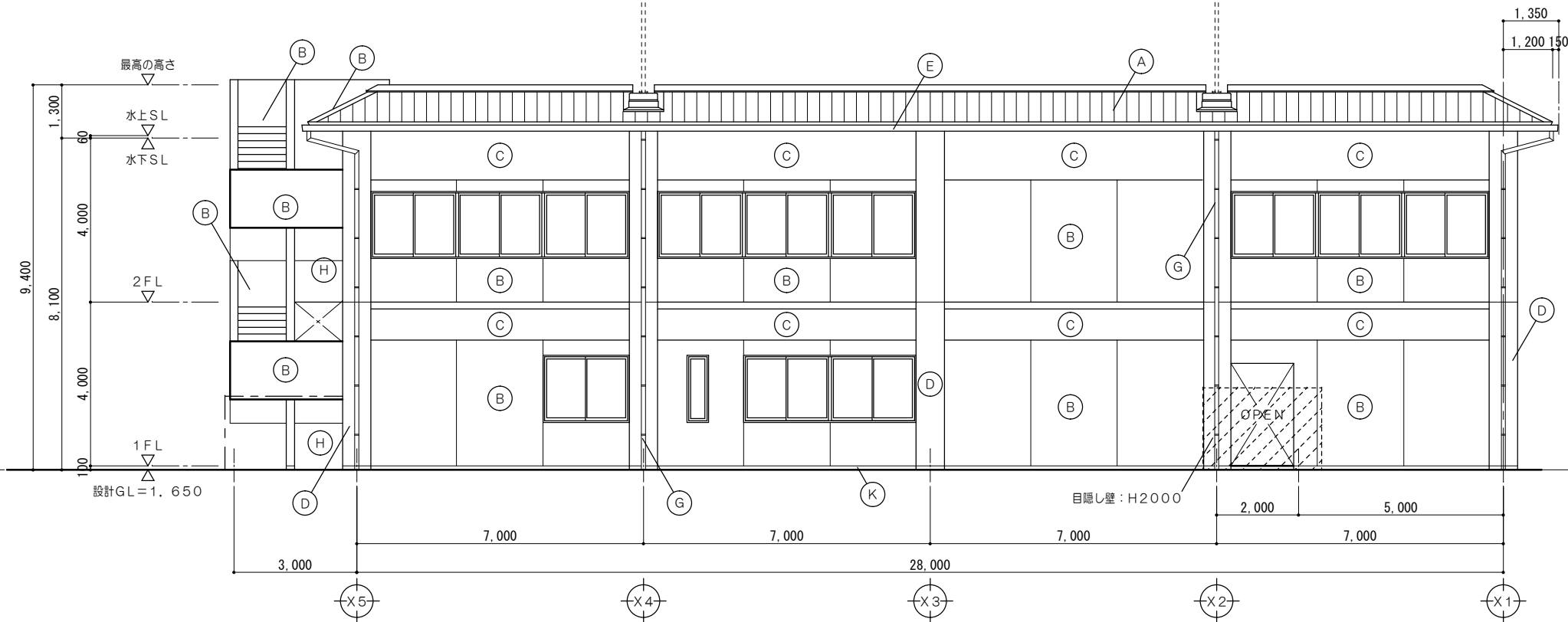
凡 例					
(A)	屋 根：瓦棒葺	(E)	軒 樋：塩ビ角型（前高型）W150（カラー） 落シ口（自在ドレン）	(J)	庇：ウレタン塗膜防水（X-2） コンクリート打放シ補修
(B)	外 壁：複層塗材E吹付 コンクリート打放シ補修	(F)	掃除口：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100用	(K)	根廻り：撥水性防水材料塗布 コンクリート打放シ補修 誘発目地φ3000
(C)	梁 型：複層塗材E吹付 コンクリート打放シ補修	(G)	タテ樋：硬質塩化ビニル管φ100（カラー） 支持金物 ステンレス製φ1000内外		
(D)	柱 型：複層塗材E吹付 コンクリート打放シ補修	(H)	上 裏：外装薄塗材E吹付 コンクリート打放シ補修		



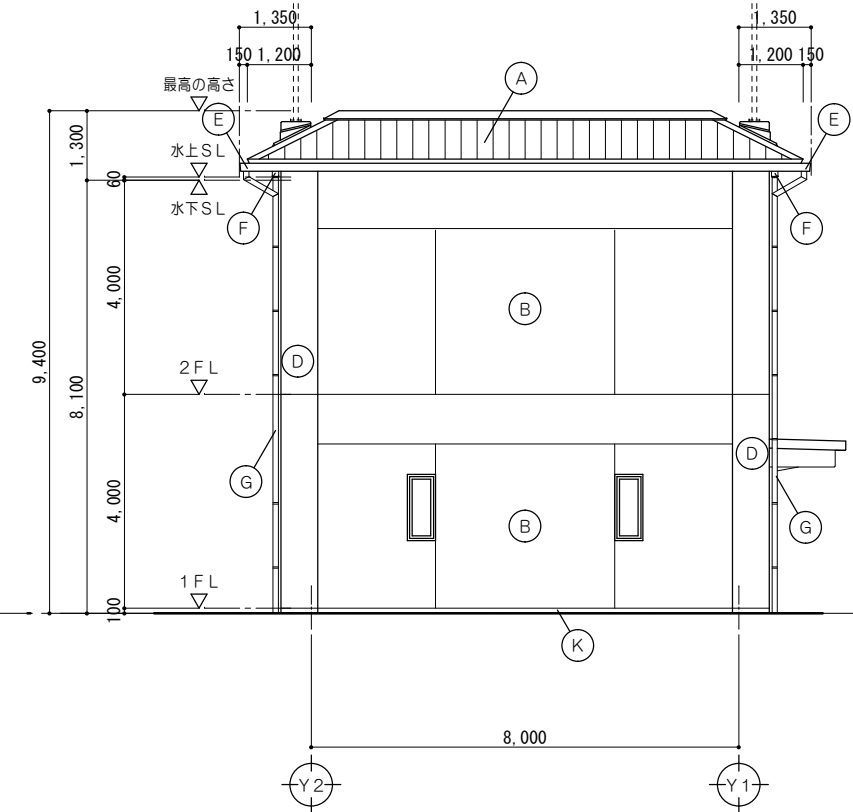
東 面 立 面 図 1/100



北 面 立 面 図 1/100



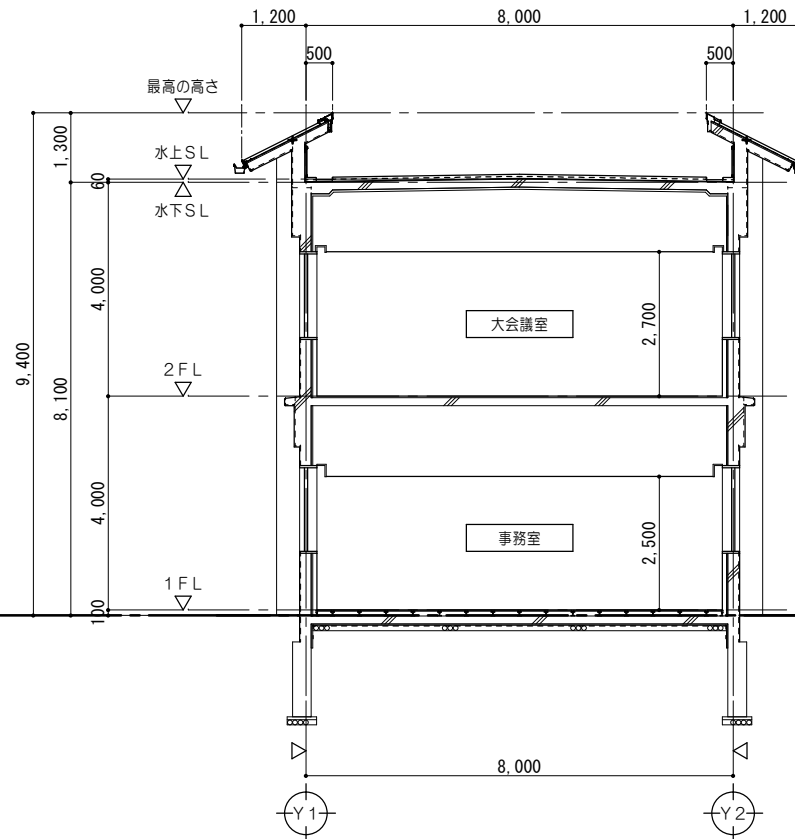
西 面 立 面 図 1/100



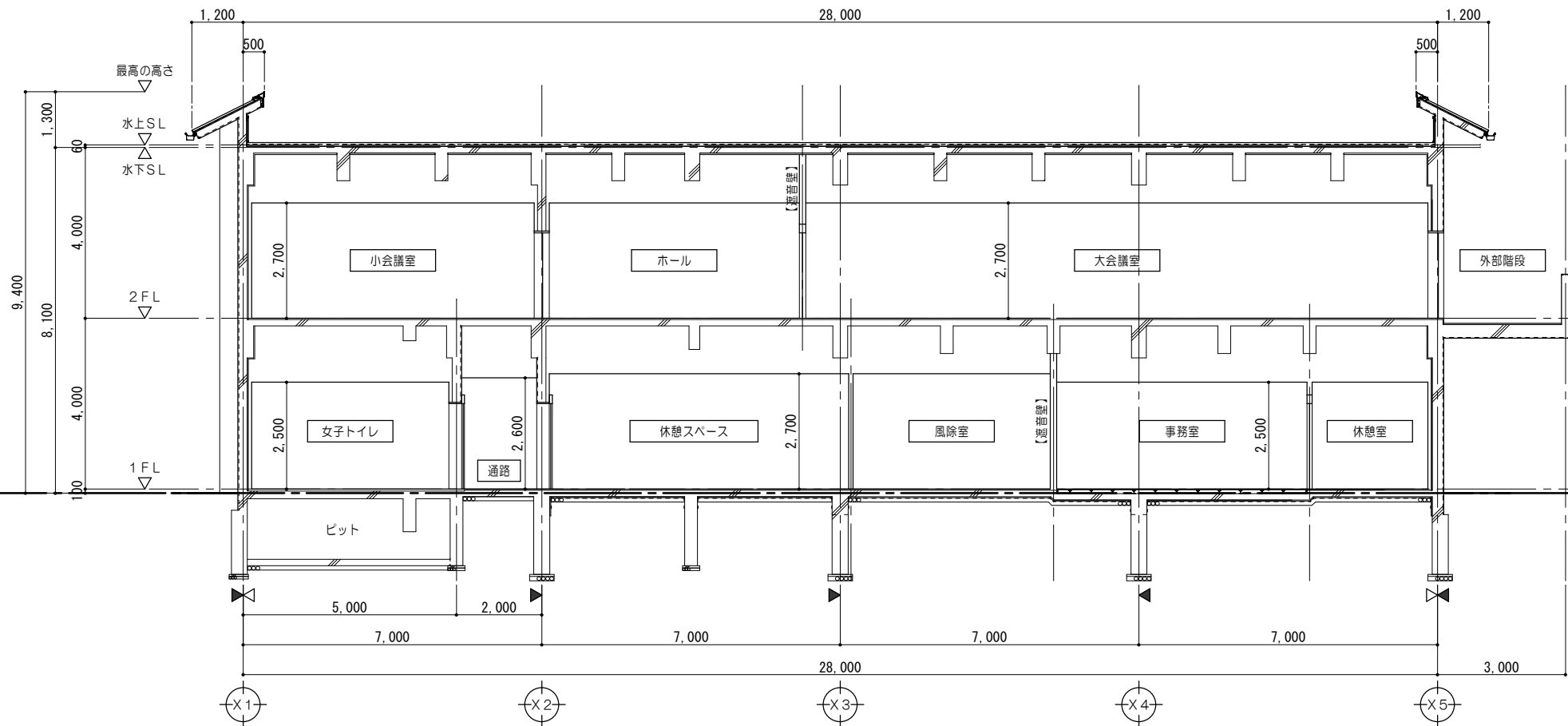
南 面 立 面 図 1/100

特 記 事 項					<div><div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div><div><div><div>MAKENO</div><div>株式会社</div></div><div><div>前野建築設計</div></div></div><div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div></div></div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	<div>作図 <div><div>加藤 将輝</div><div>三橋 輝野</div></div><div>検図 <div>三橋 輝野</div></div></div>	工事名称	縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 A027 (原図:A2)
						一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作	海浜公園内陸上競技場改修工事					
										図面名称					
										【①管理棟】立面図					

設計GL=1.650

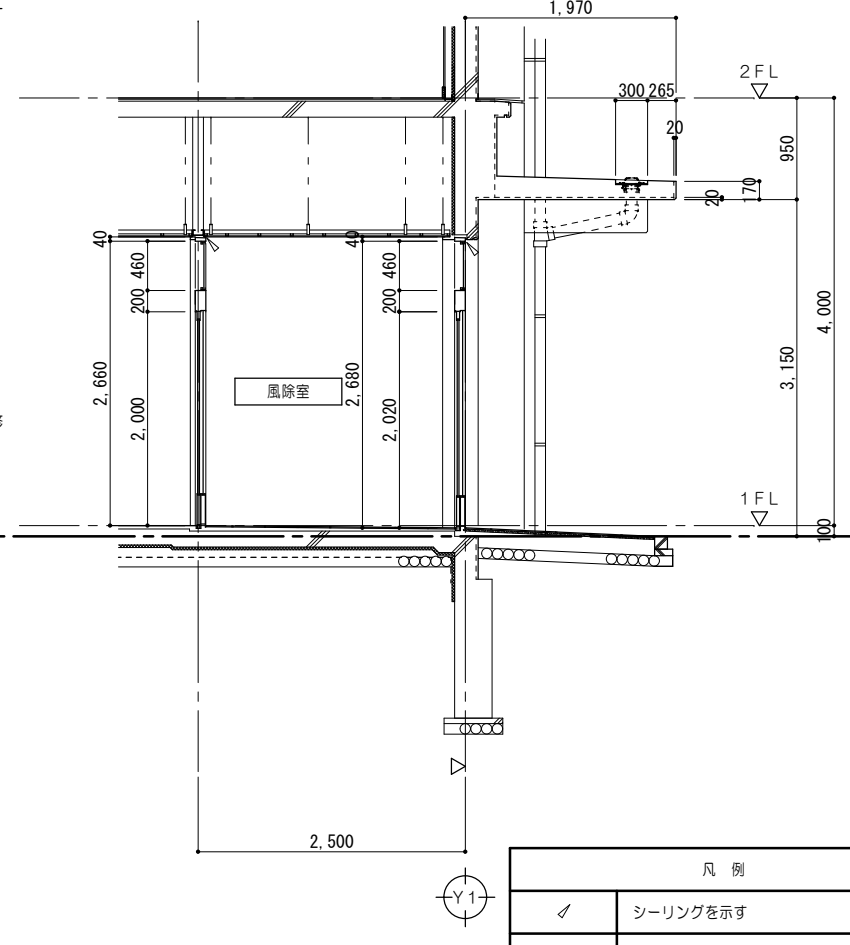
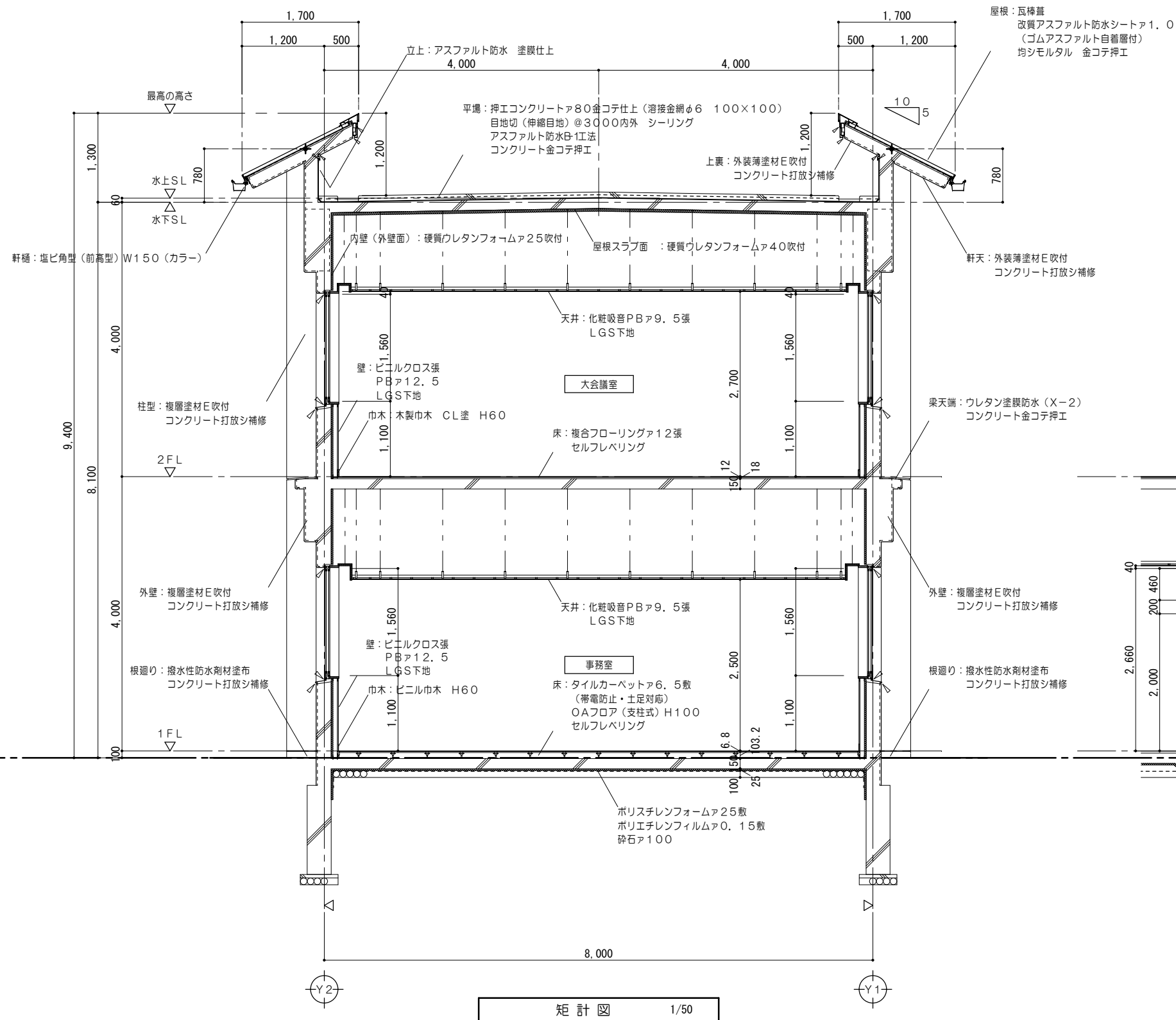


設計GL=1.650

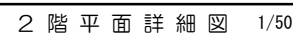
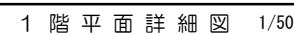
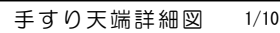


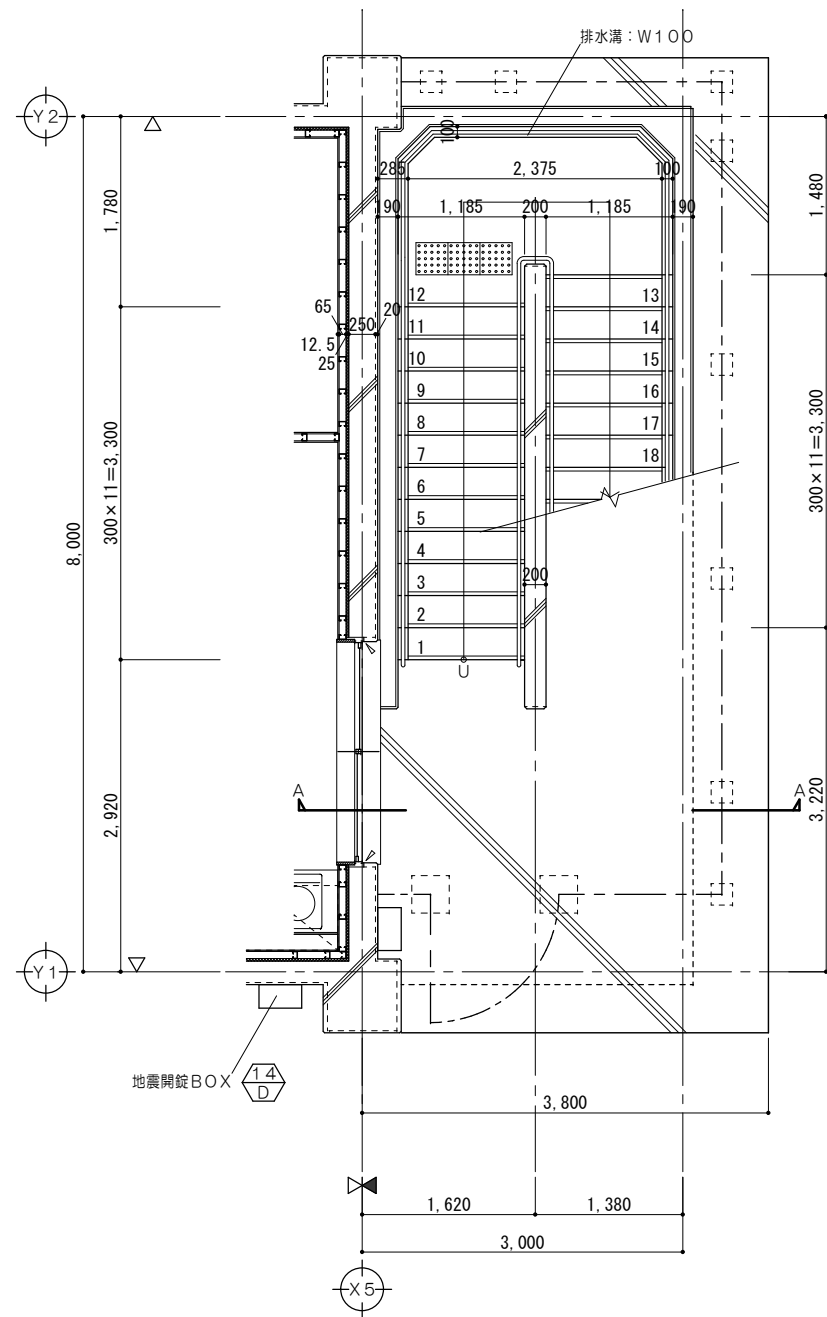
断面図 1/100

特 記 事 項		<div><div><div><div></div></div><div>株式 会社</div></div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 加藤 早妃 監図 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
									縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 A028 (原図:A2)	

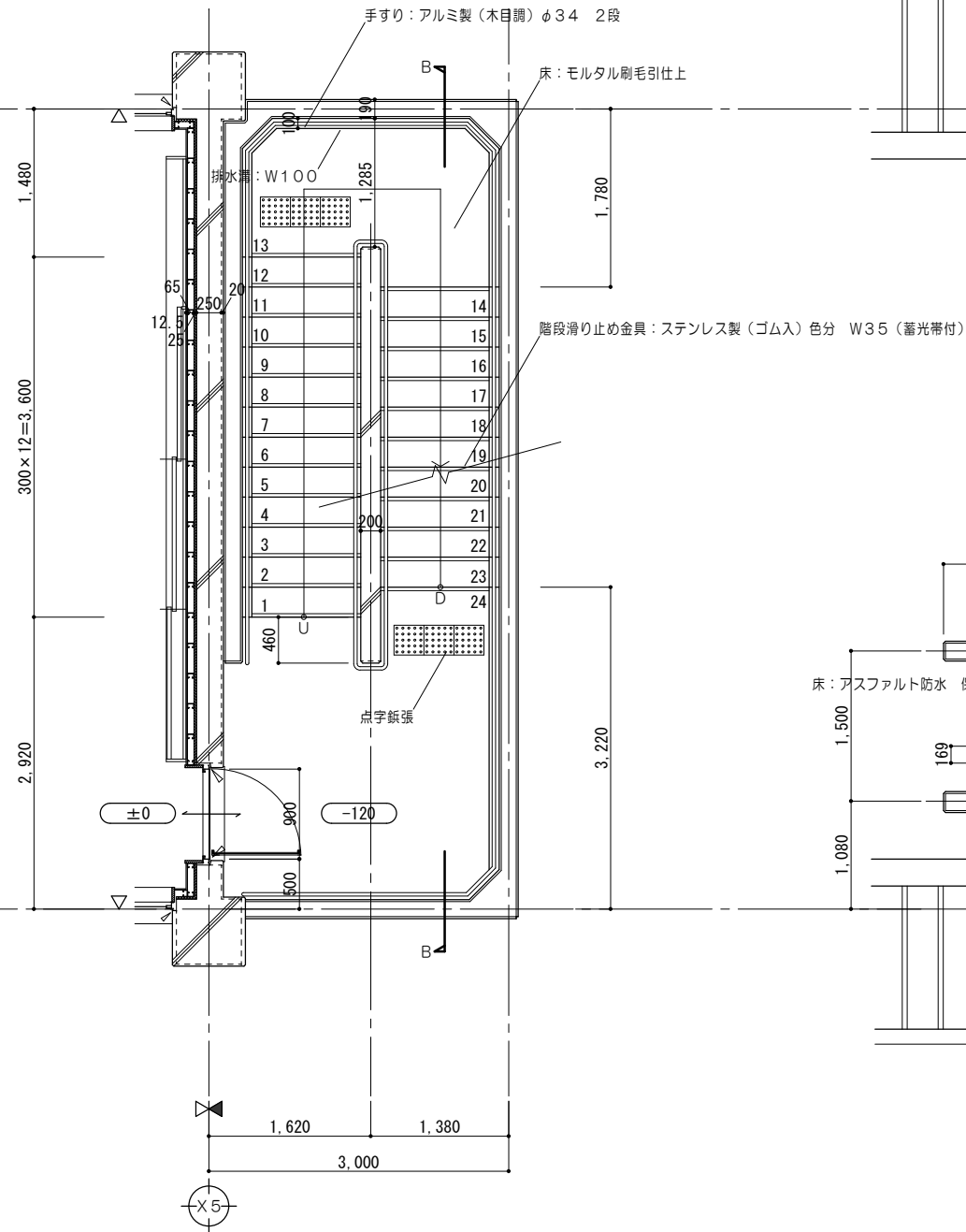


凡 例	
／	シーリングを示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

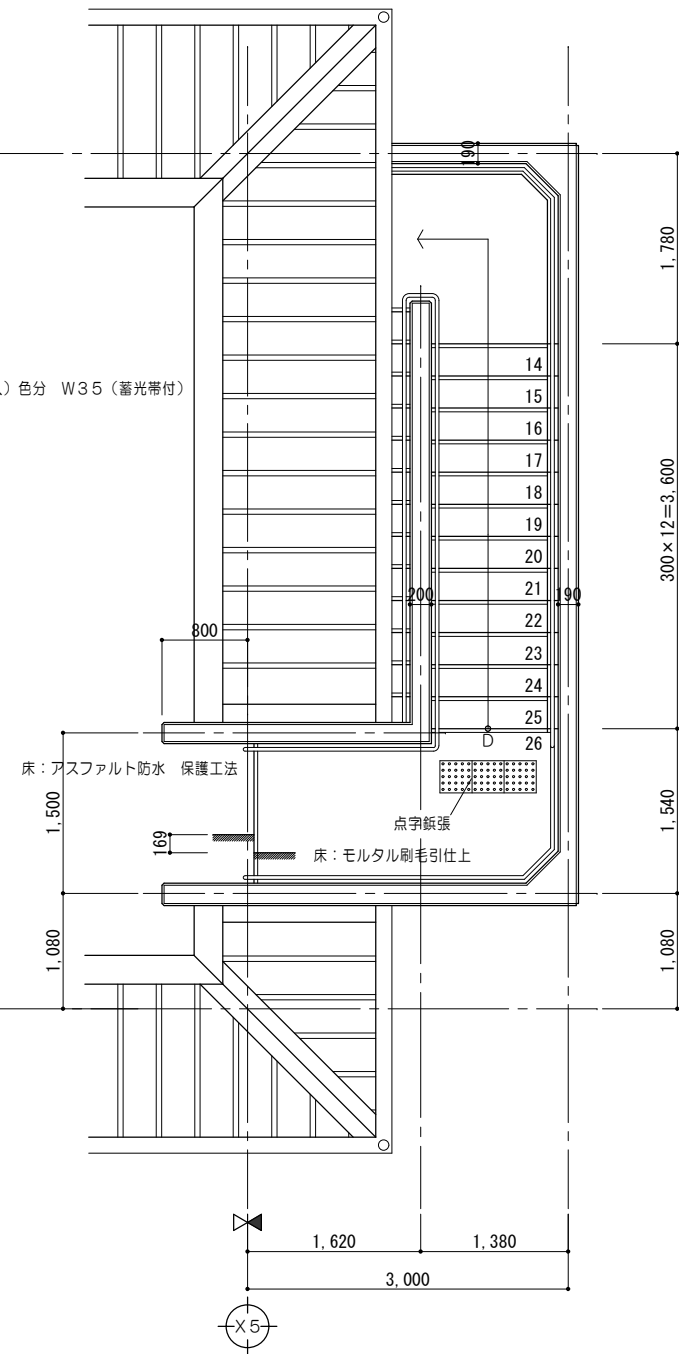
階段断面詳細図 1/50



1 階平面詳細図 1/50

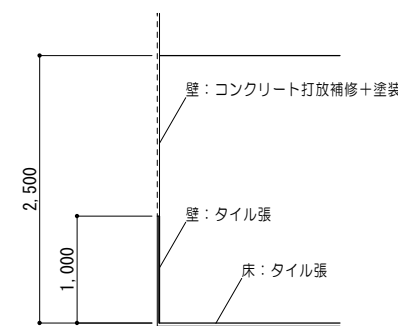


2 階平面詳細図 1/50

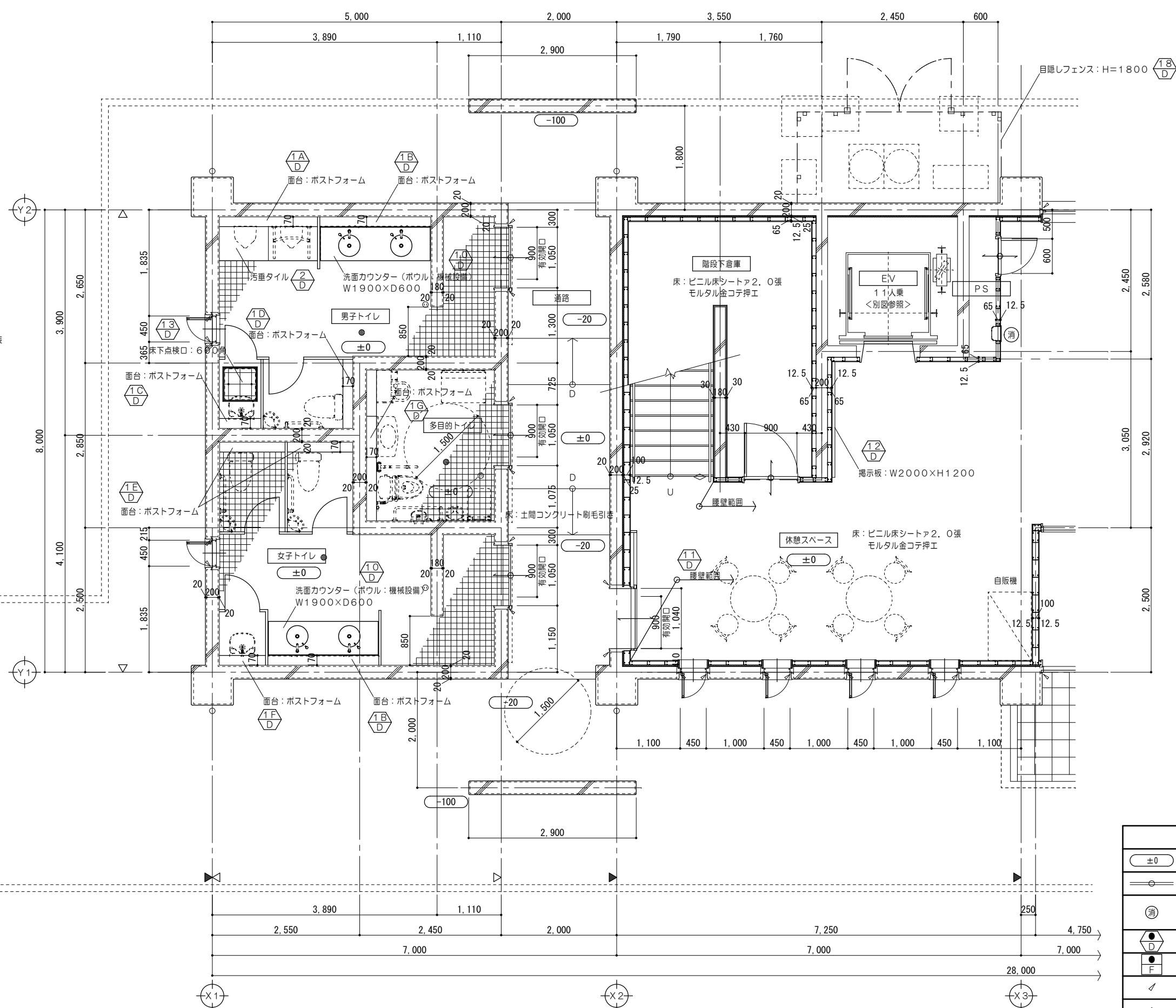


屋上平面詳細図 1/50

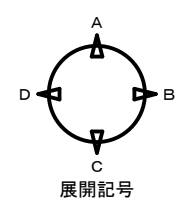
特 記 事 項							代表設計者		設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作 図 加藤 隆 監 図 三橋 将輝	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【①管理棟】外部階段平面詳細図	縮 尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A031 (原図:A2)
							一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士					
							株式会社		前野 将輝	三橋 将輝	加藤 早妃	前田 祐作					
							管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		第320204号 前野 将輝	第378328号 三橋 将輝	第360917号 加藤 早妃	第360917号 前田 祐作					



壁断面図 1/50

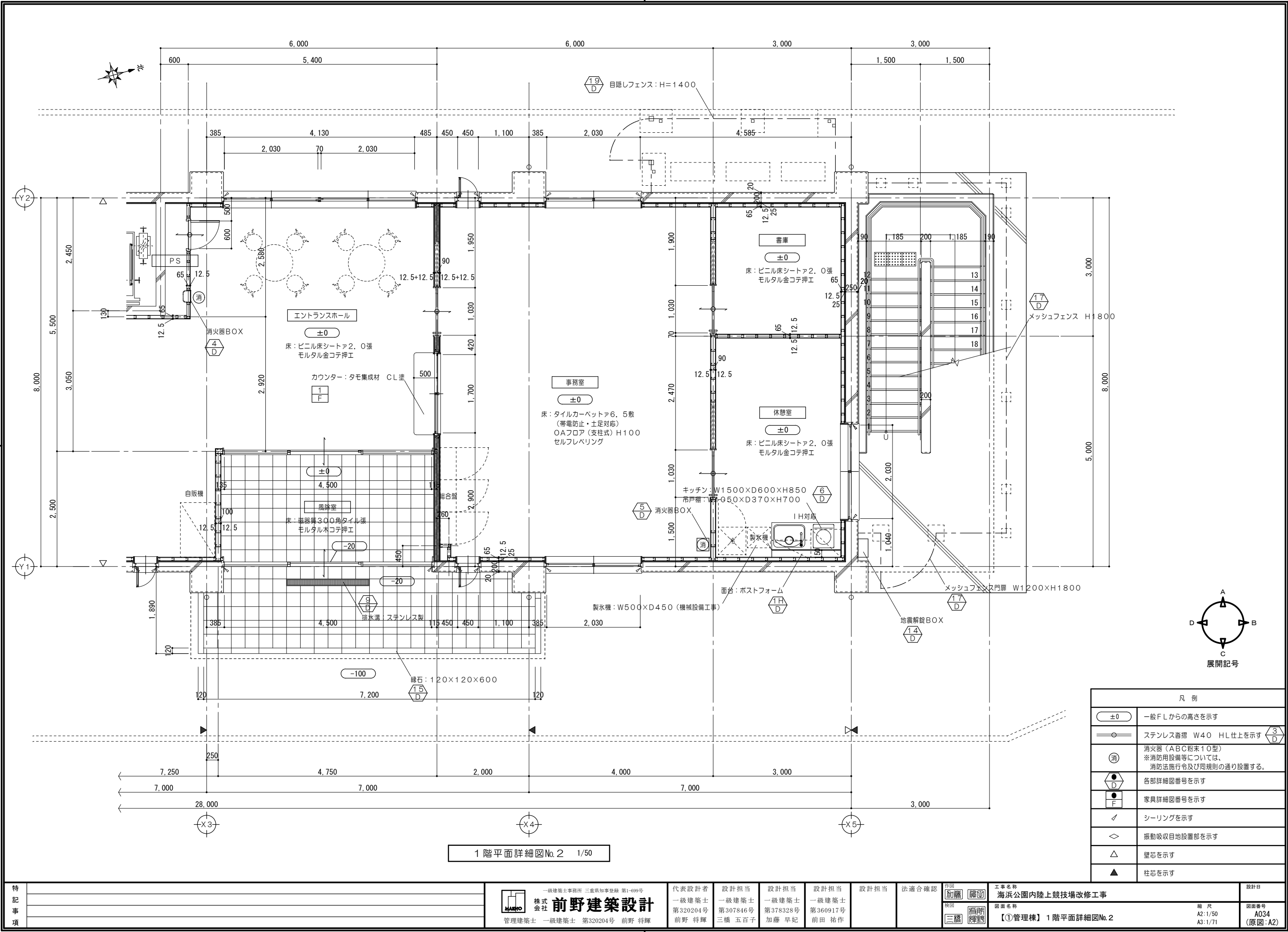


1階平面詳細図No. 1 1/50



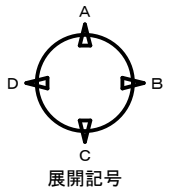
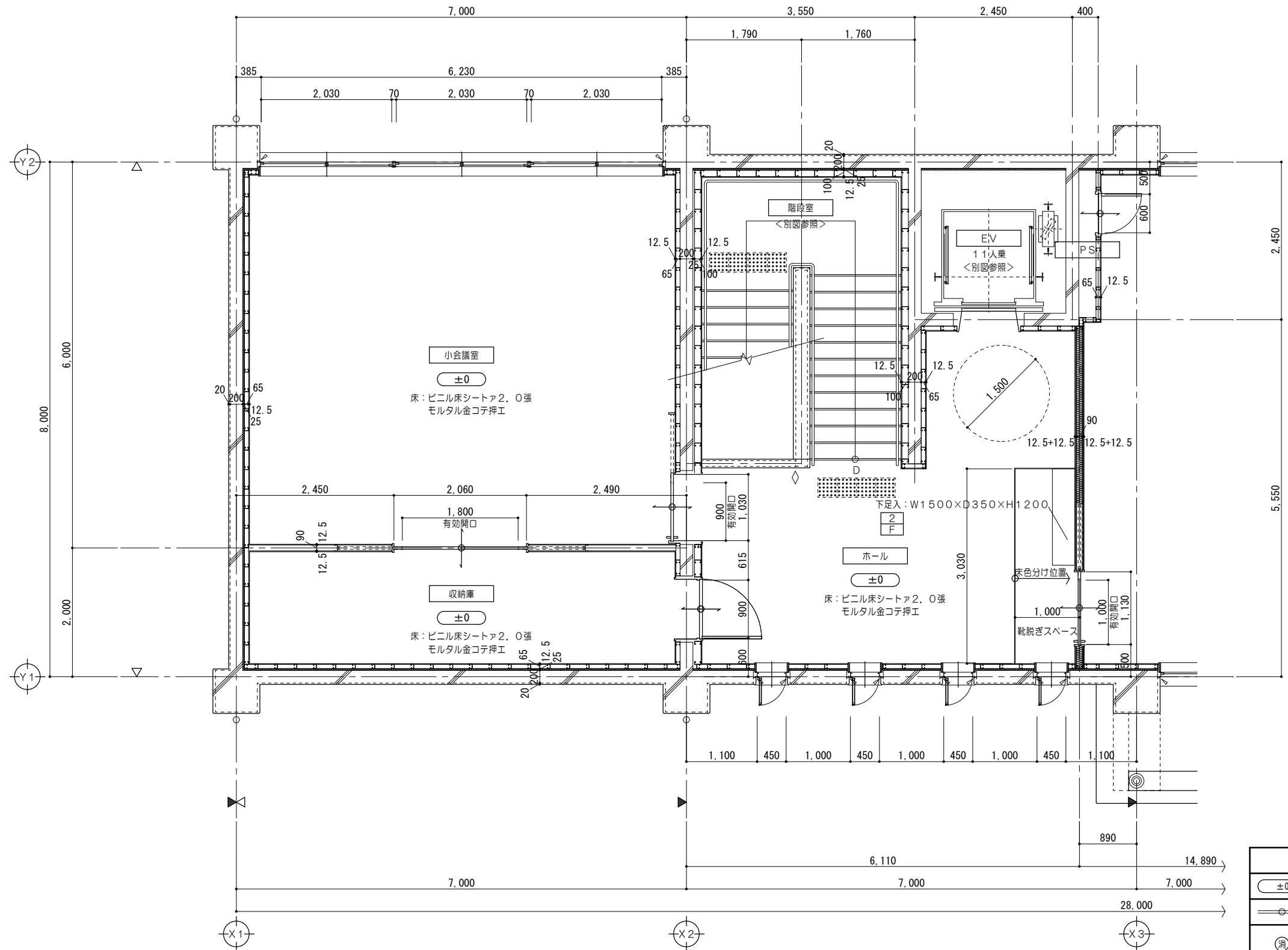
凡 例	
±0	一般F.L.からの高さを示す
ステンレス柵 W40 HL仕上	3/D
消	消火器（ABC粉末10型） ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
D	各部詳細図番号を示す
F	家具詳細図番号を示す
シーリング	シーリングを示す
振動吸収目地設置部	振動吸収目地設置部を示す
壁芯	壁芯を示す
柱芯	柱芯を示す

特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者		設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【1管理棟】1階平面詳細図No. 1 縮 尺 A2:1/50 A3:1/71 図面番号 A033 (原図:A2)	設計日
	株式会社 前野建築設計		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第307846号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 三橋 五百子	一級建築士 第360917号 加藤 早妃	一級建築士 前田 祐作	法適合確認	作図		
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第307846号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 三橋 五百子	一級建築士 第360917号 加藤 早妃	一級建築士 前田 祐作	法適合確認	作図		
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第307846号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 三橋 五百子	一級建築士 第360917号 加藤 早妃	一級建築士 前田 祐作	法適合確認	作図		

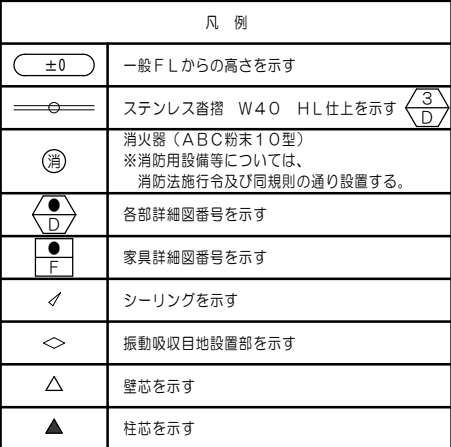


1 階平面詳細図No. 2 1/50

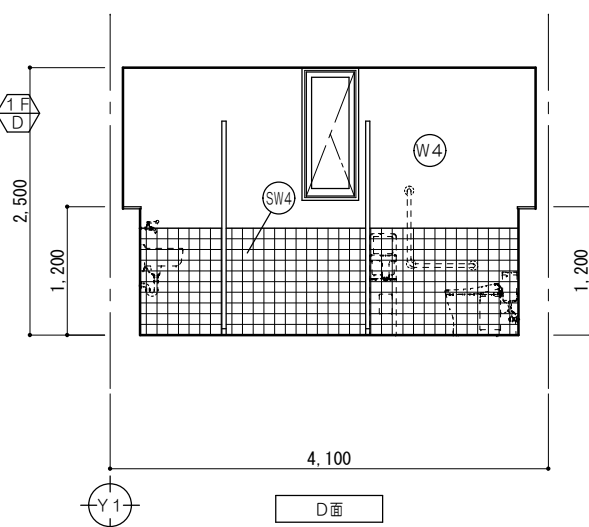
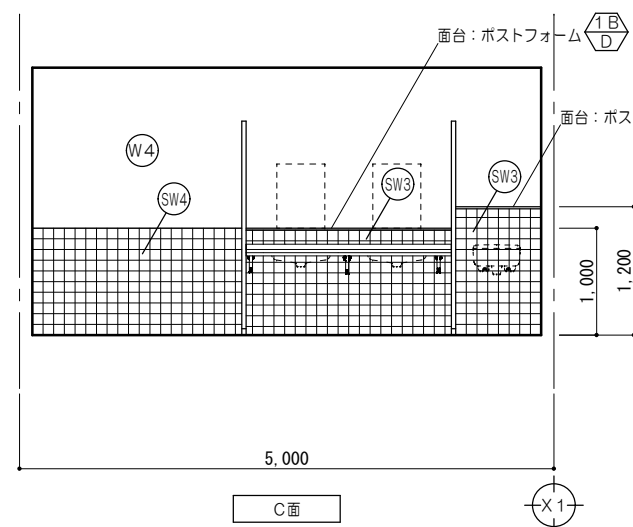
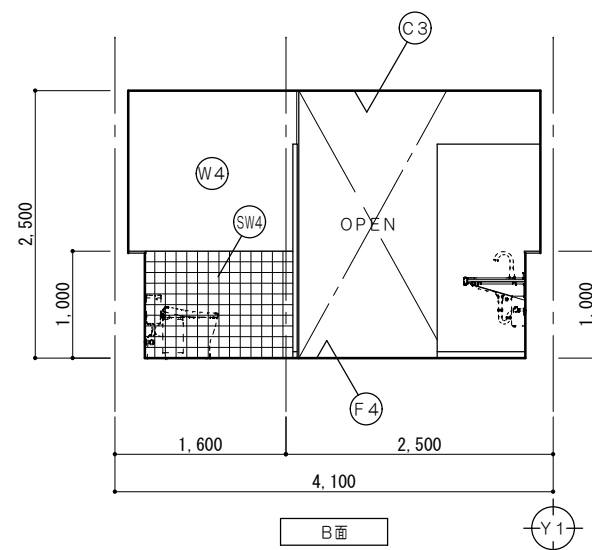
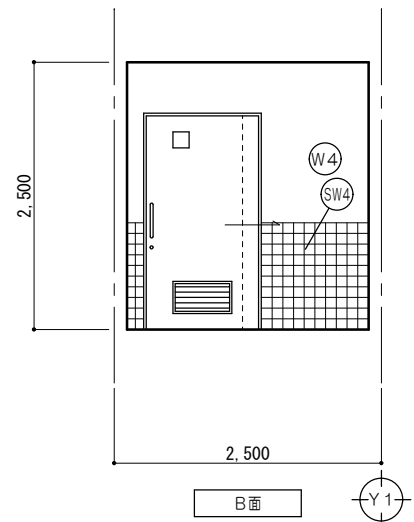
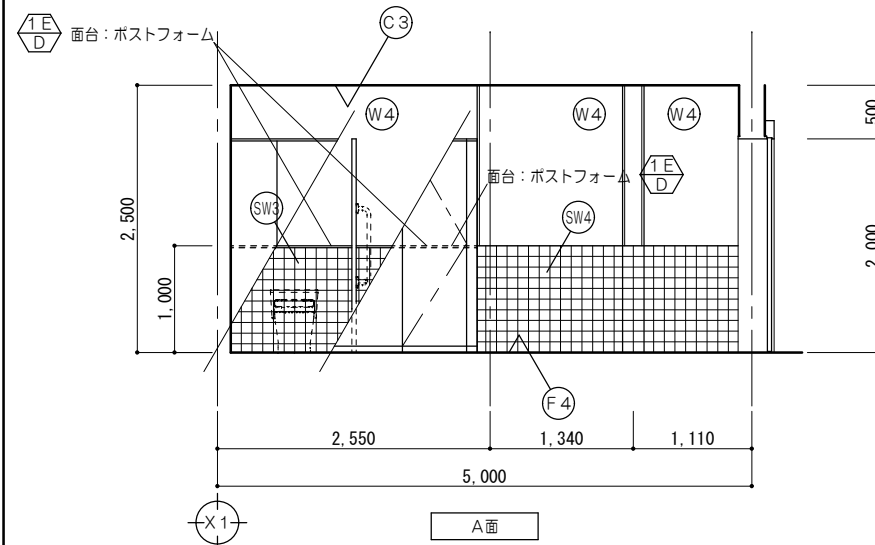
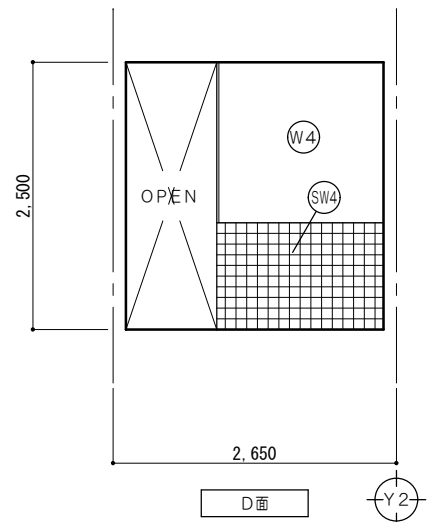
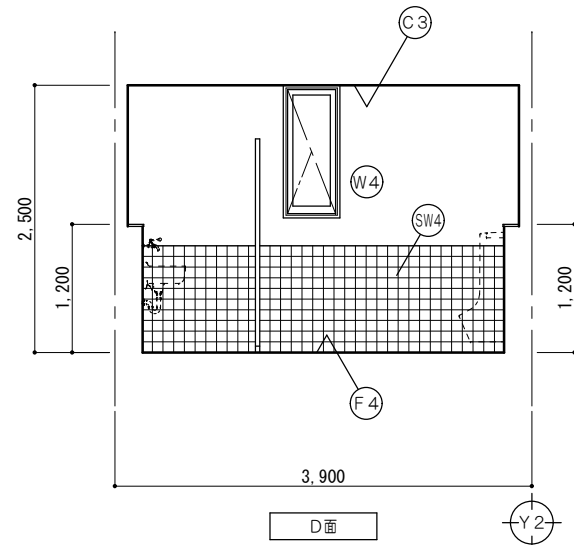
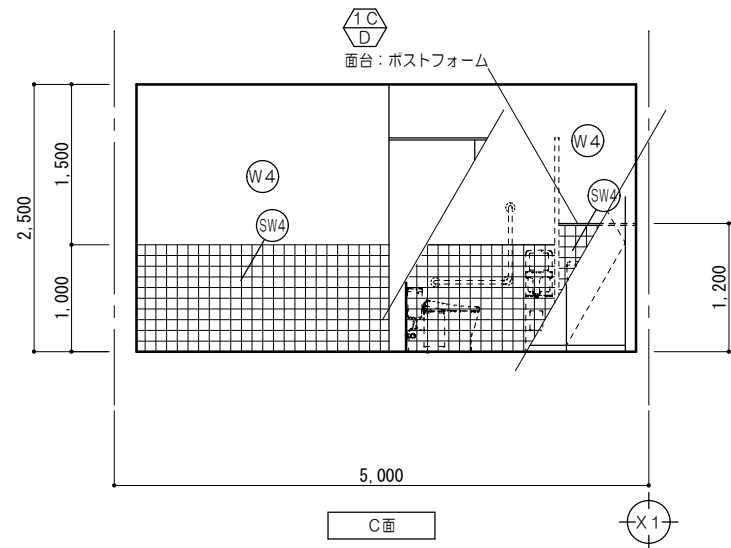
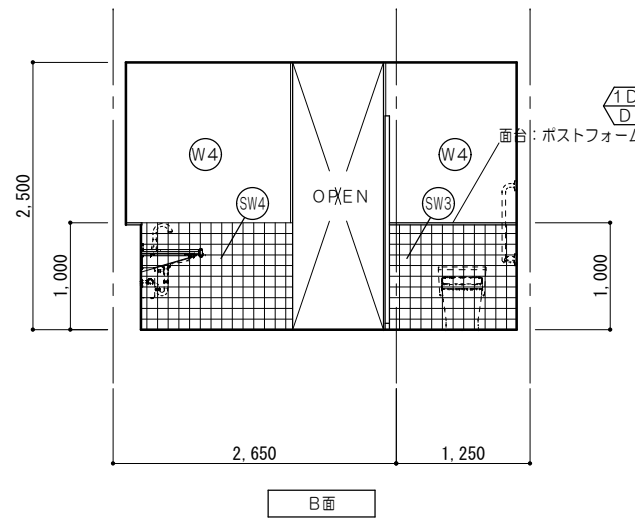
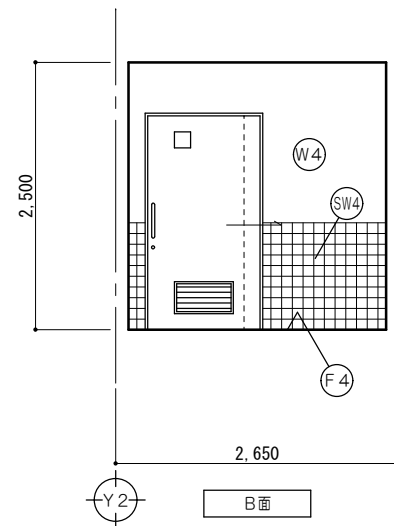
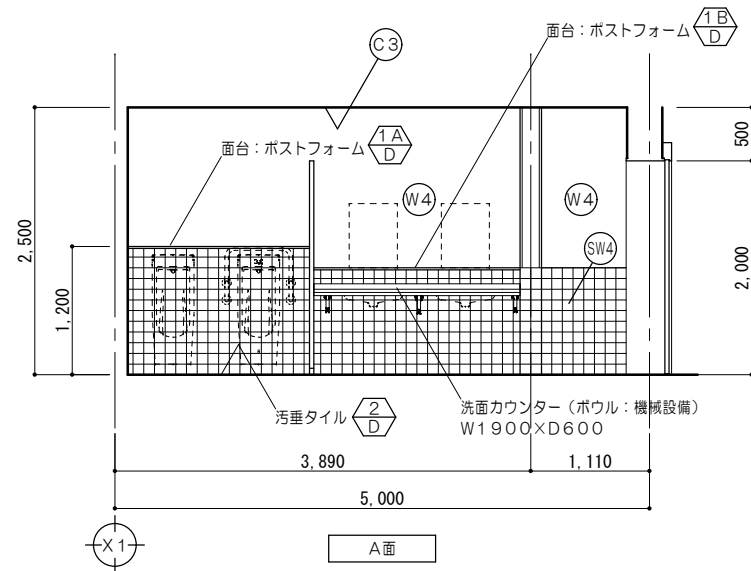
特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号				代表設計者		設計担当		設計担当		設計担当		法適合確認		作図		工事名称		設計日	
	株式会社 前野建築設計				一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第307846号 三橋 五百子		一級建築士 第378328号 加藤 早妃		一級建築士 第360917号 前田 祐作		図面名称		【①管理棟】1階平面詳細図No. 2		海浜公園内陸上競技場改修工事		図面番号	
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝				縮 尺		縮 尺		縮 尺		縮 尺		縮 尺		縮 尺		縮 尺		縮 尺	
					A2:1/50		A2:1/50		A2:1/50		A2:1/50		A2:1/50		A2:1/50		A2:1/50		A034	



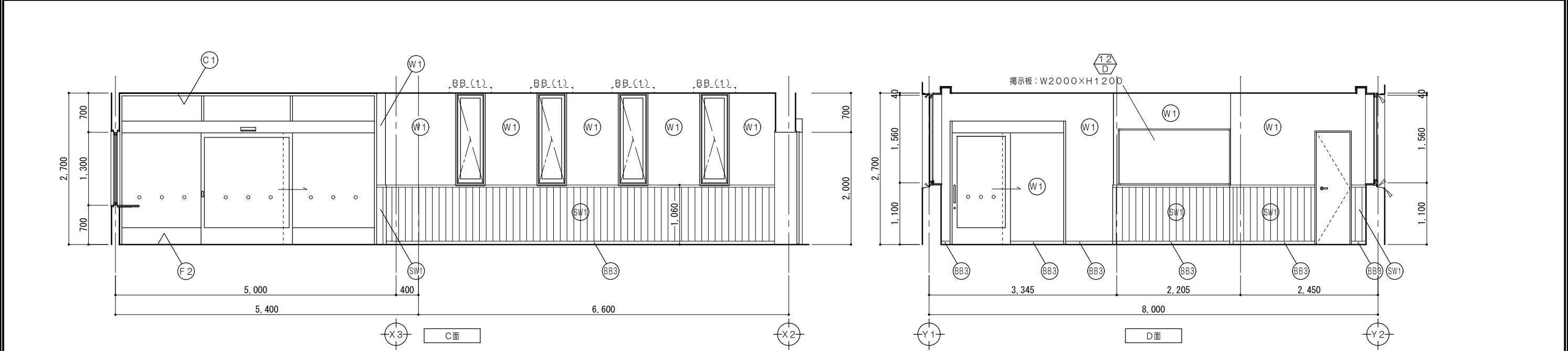
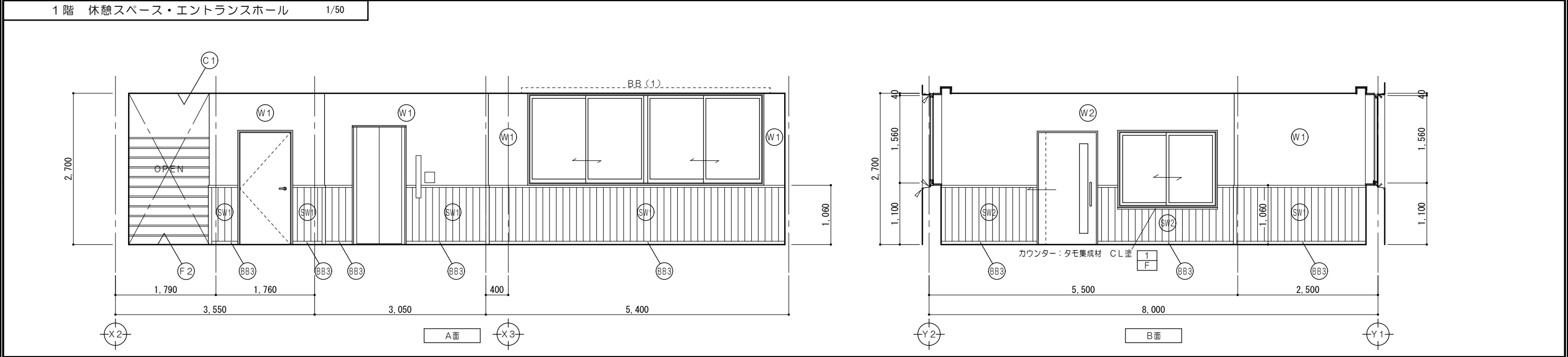
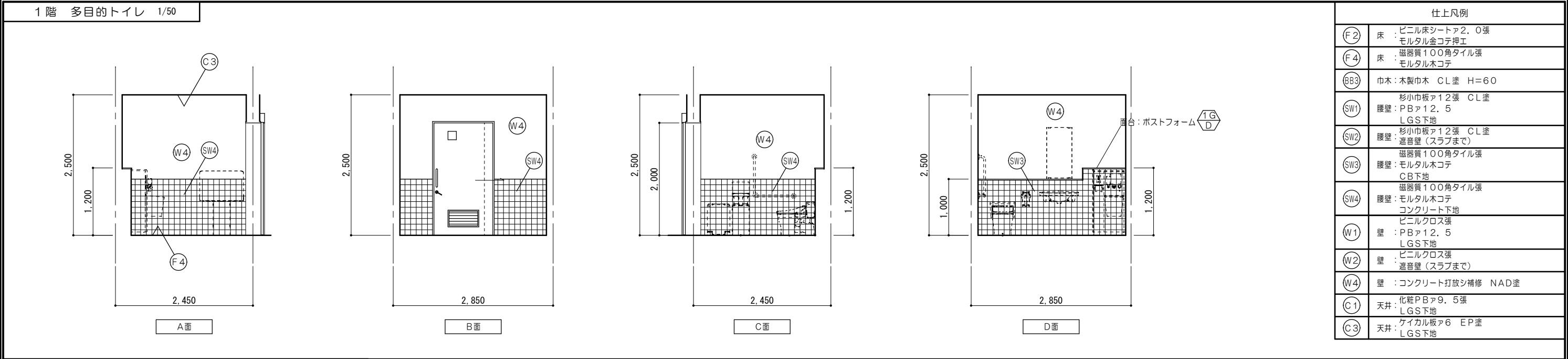
凡 例	
	一般 F.L. からの高さを示す
	ステンレス着搭 W40 H.L. 上を示す
	消火器 (ABC 粉末 10 型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
	各部詳細図番号を示す
	家具詳細図番号を示す
	シーリングを示す
	振動吸収目地設置部を示す
	壁芯を示す
	柱芯を示す



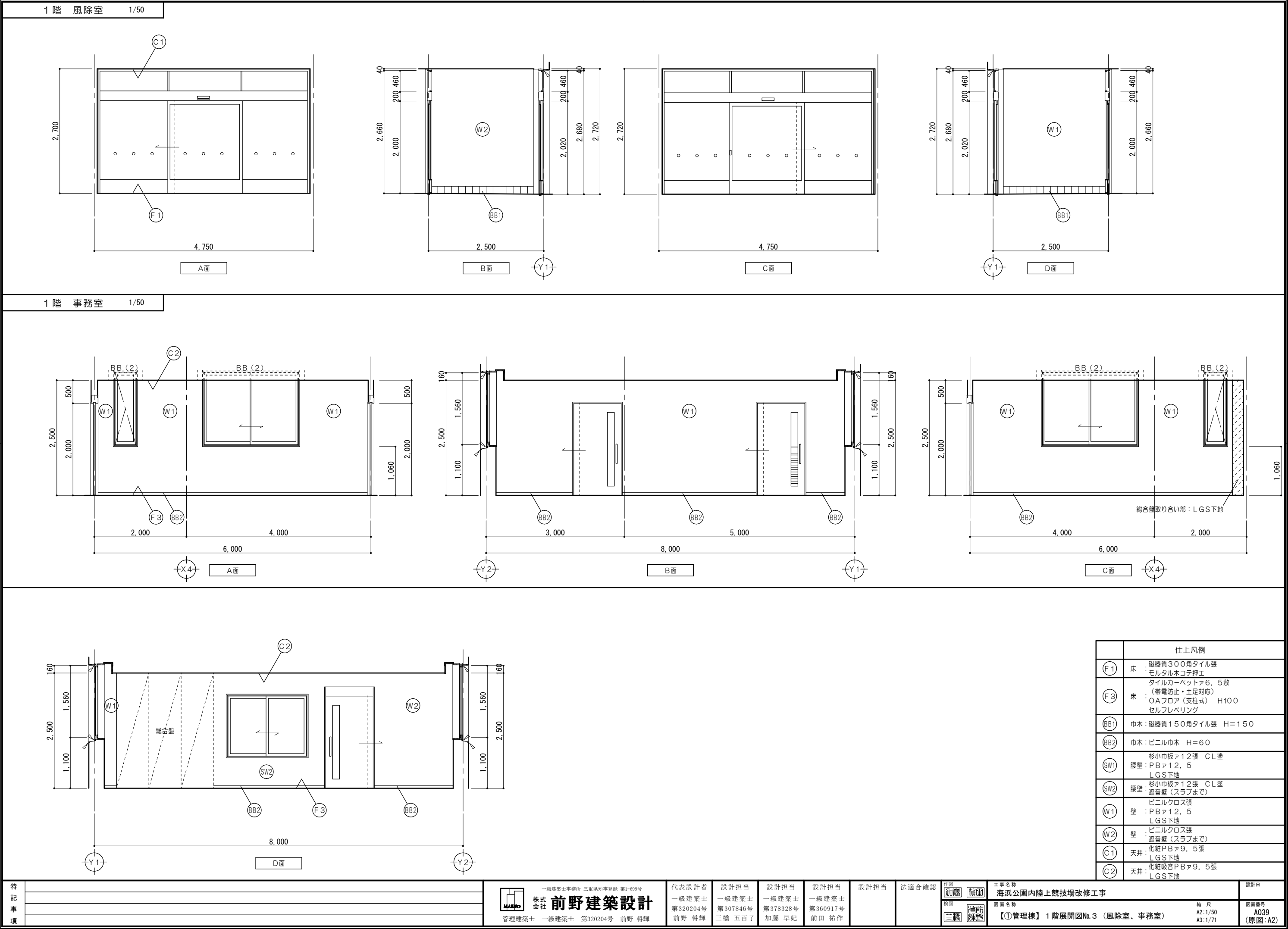
特 記 事 項		<div><div><div><div><div></div></div></div><div><div>MAENO</div></div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div>株式会社 前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 <div><div>加藤</div><div>将輝</div></div>	工事名称	設計日
			一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第360917号 前田 祐作		<div><div>横関</div><div>将輝</div></div>	海浜公園内陸上競技場改修工事		
								<div><div>三橋</div><div>将輝</div></div>	図面名称	縮 尺	図面番号
									【①管理棟】2階平面詳細図No.2	A2: 1/50 A3: 1/71	A036 (原図:A2)

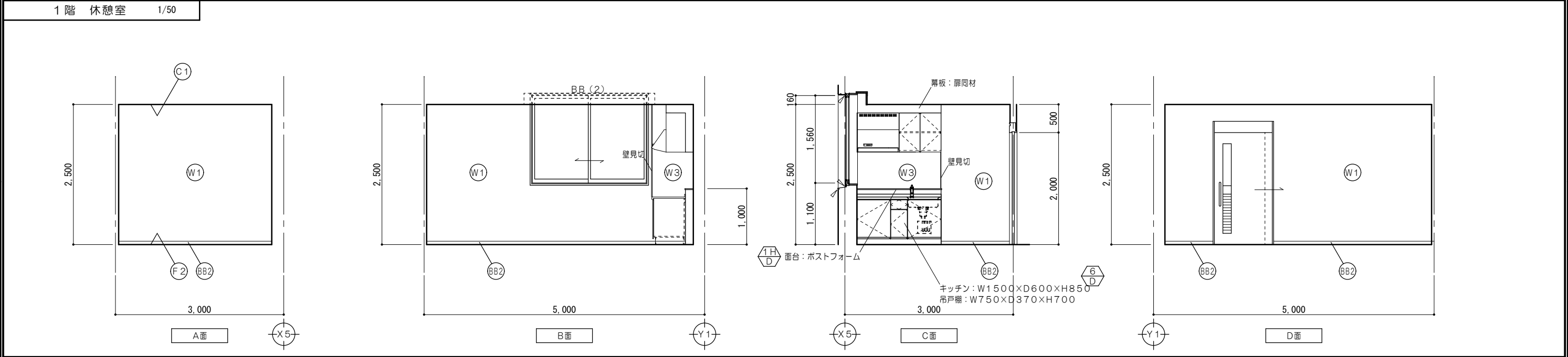
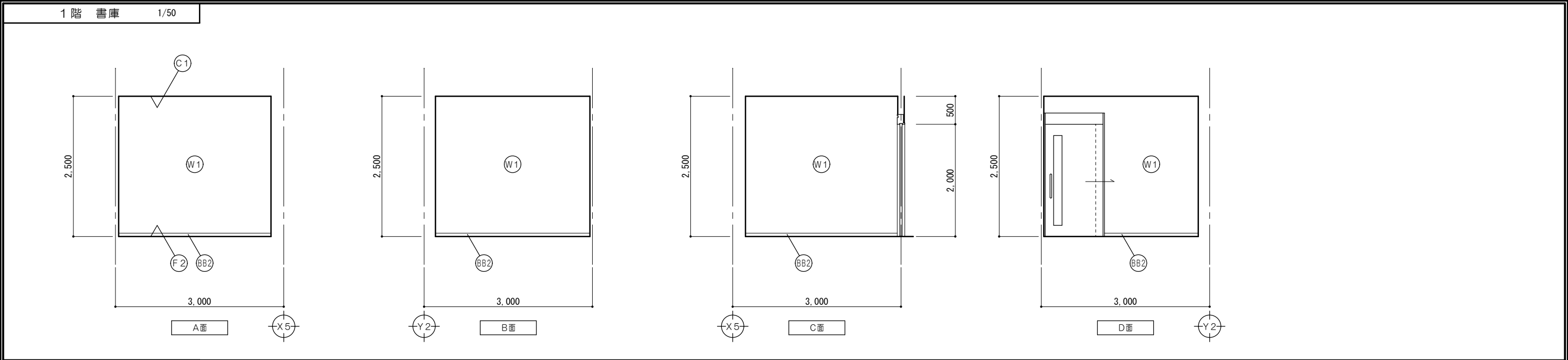


仕上凡例	
(F 4)	床 : 磁器質100角タイル張 モルタル木コテ
(SW3)	腰壁 : 磁器質100角タイル張 モルタル木コテ CB下地
(SW4)	腰壁 : 磁器質100角タイル張 モルタル木コテ コンクリート下地
(W4)	壁 : コンクリート打放シ補修 NAD塗
(C3)	天井 : ケイカル板ア6 EP塗 LGS下地

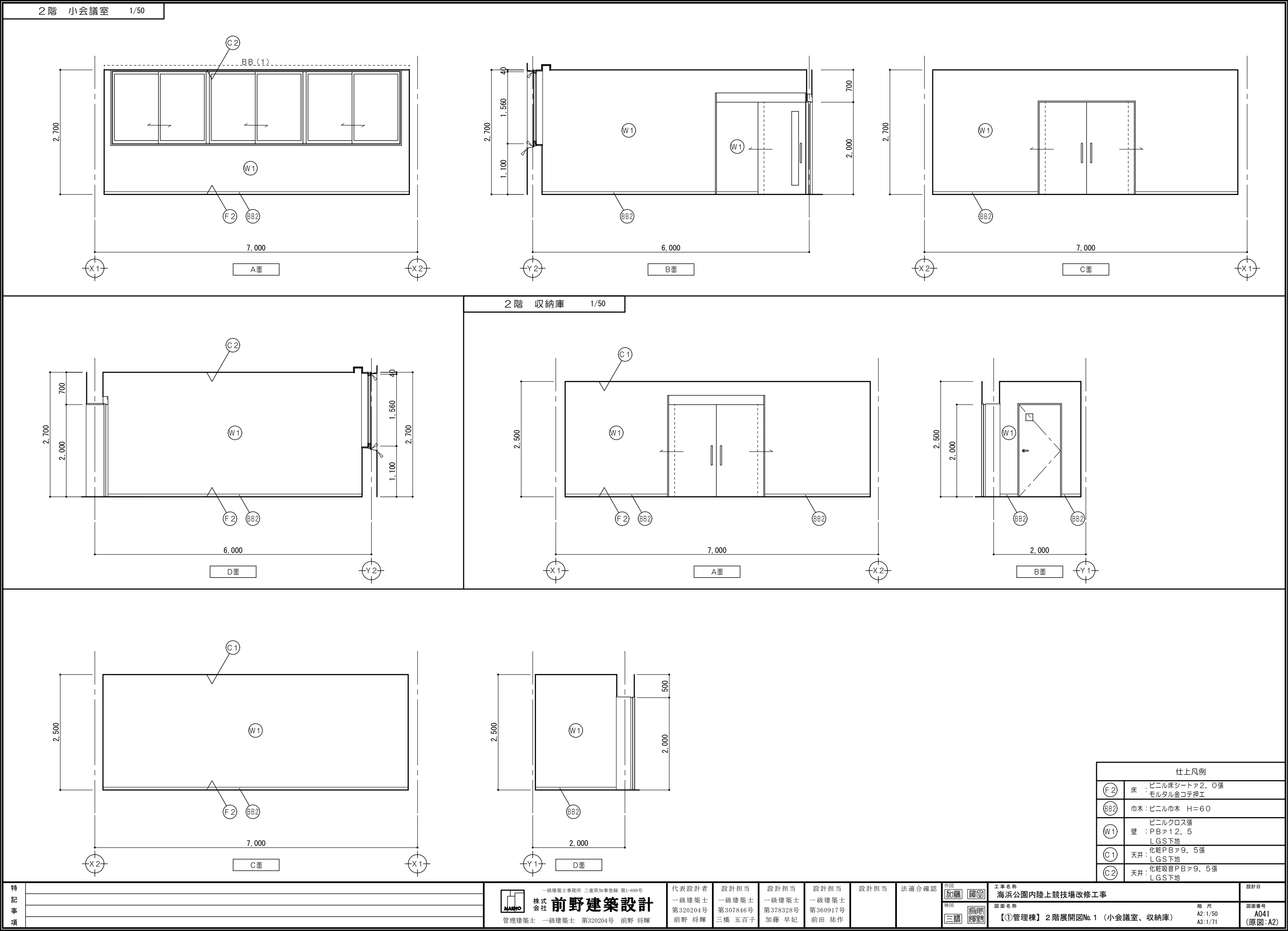


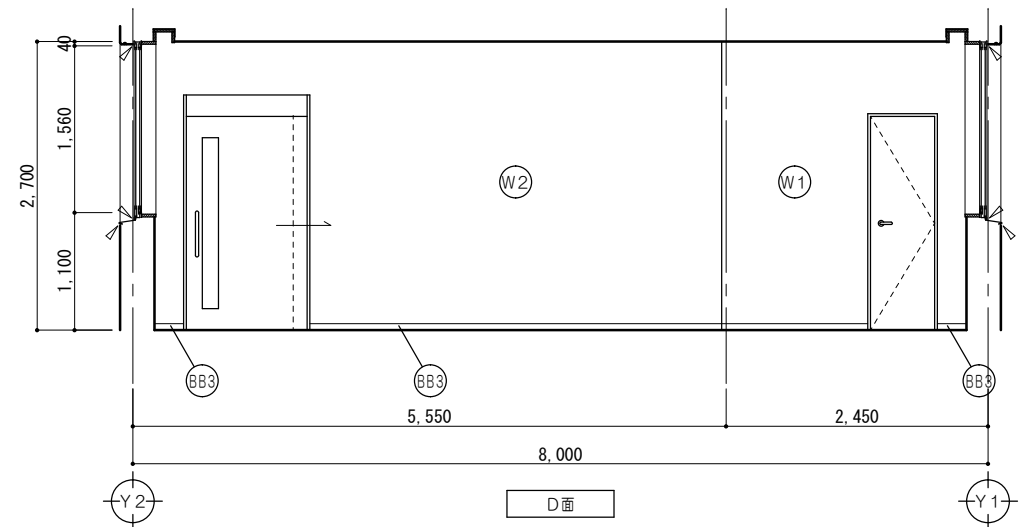
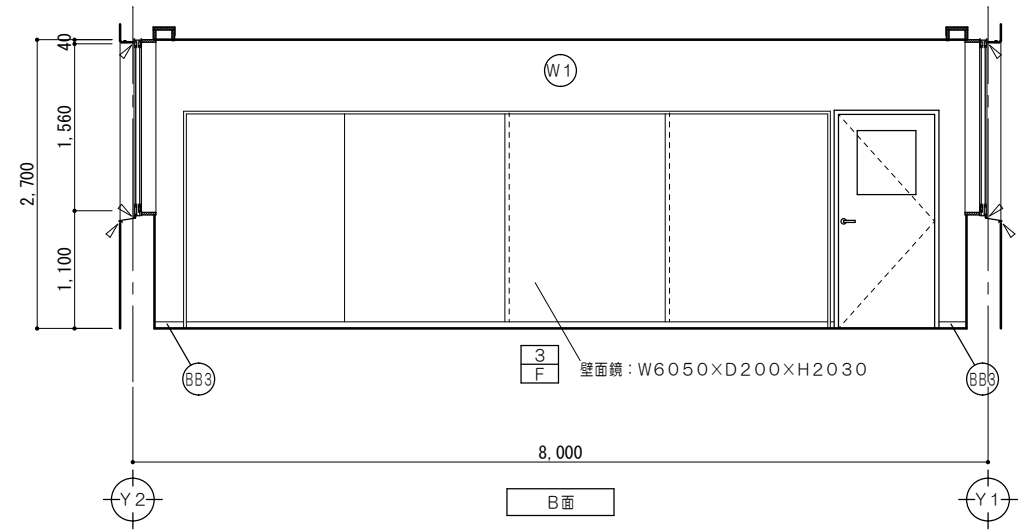
特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号			代表設計者		設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
	株式会社 前野建築設計			一級建築士		一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士		加藤 将輝	海浜公園内陸上競技場改修工事	
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝			第320204号		第307846号	第378328号	第360917号			三橋 五百子	図面名称	図面番号
						加藤 早妃	前田 祐作				三橋 五百子	1階展開図No.2 (多目的トイレ、 休憩スペース・エントランスホール)	A038 (原図:A2)



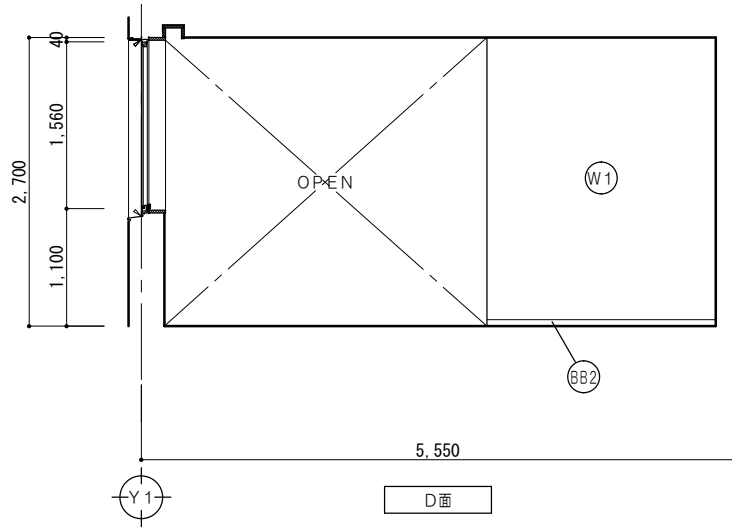
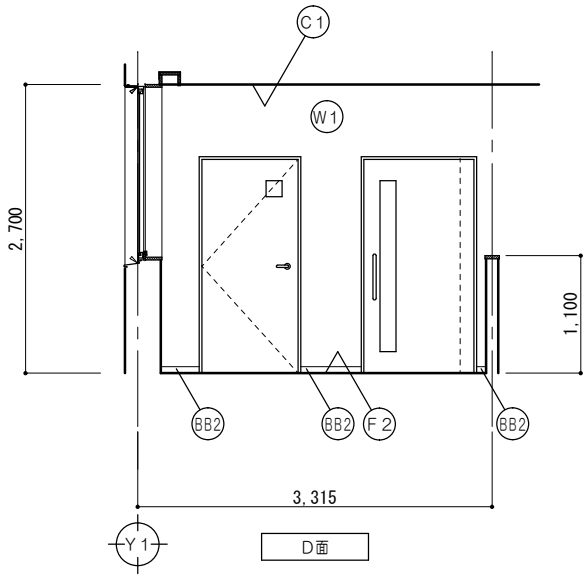
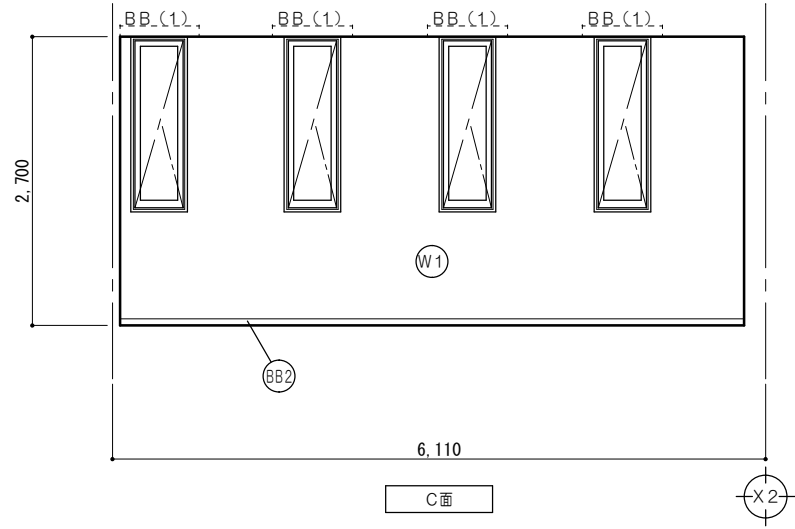
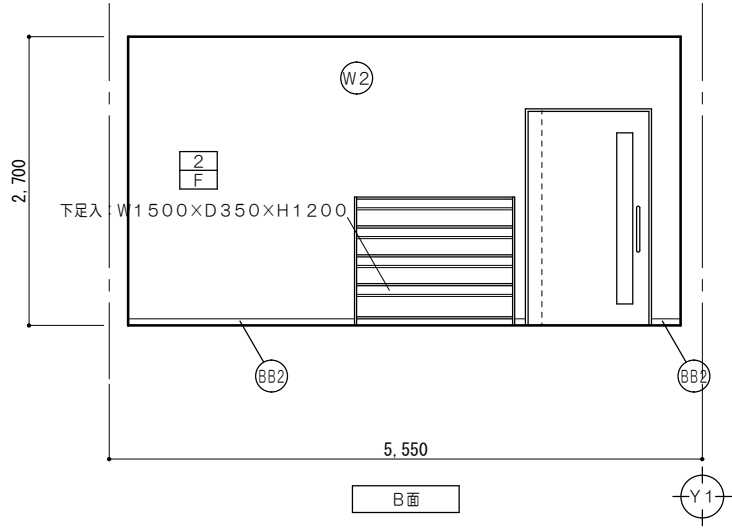
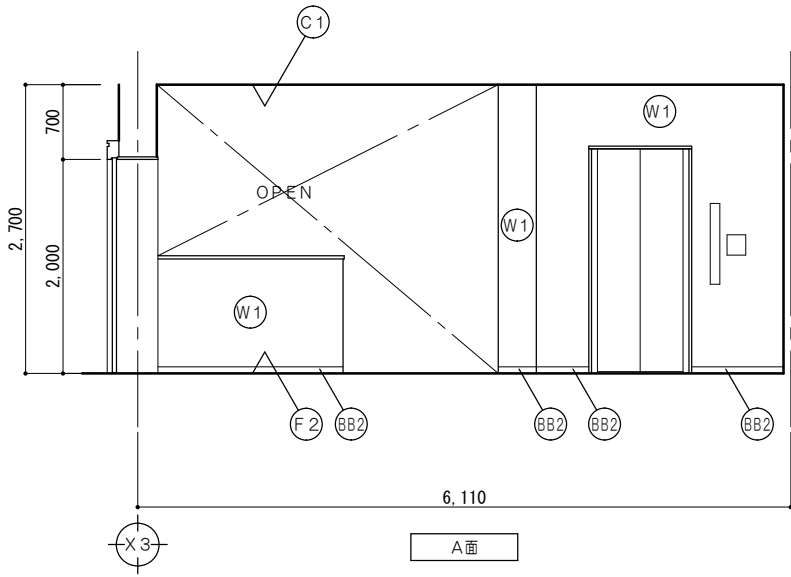


	仕上凡例
(F2)	床 : ビニル床シート2.0張 モルタル金コテ押工
(BB2)	巾木: ビニル巾木 H=60
(W1)	ビニルクロス張 壁 : PBァ12.5 LGS下地
(W3)	抗菌メラミン不燃化粧板ア3張 壁 : PBァ12.5 LGS下地
(C1)	天井: 化粧PBァ9.5張 LGS下地

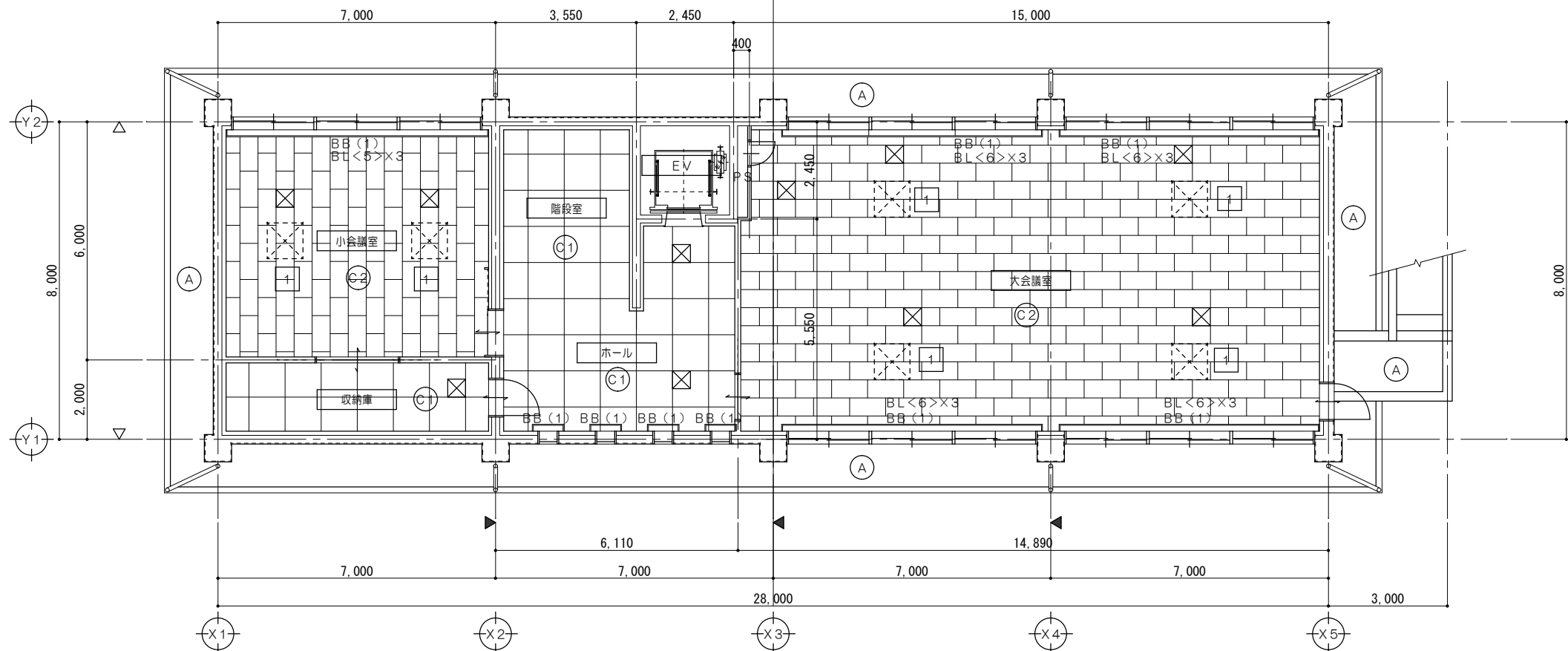




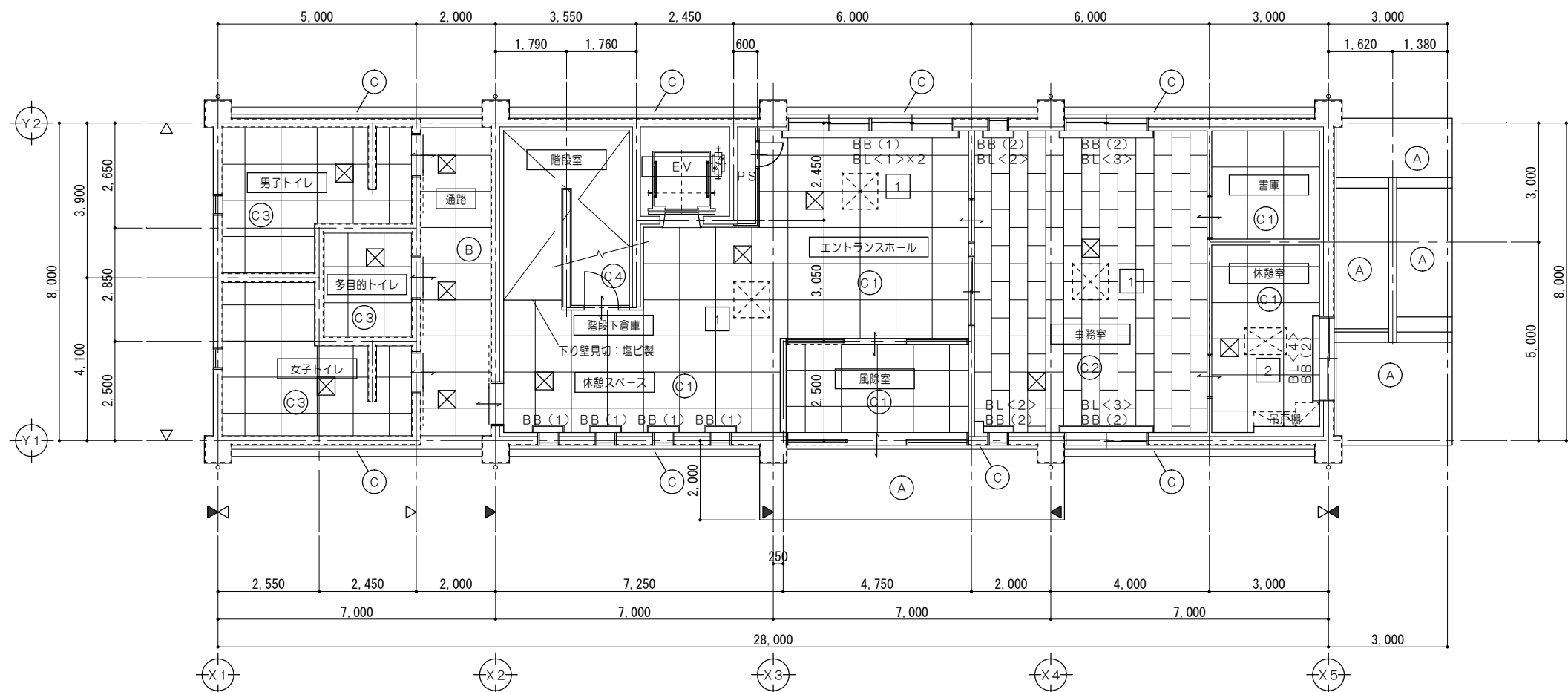
仕上凡例	
(F5)	床 : 複合フローリングア12張 セルフレベリング
(BB3)	巾木 : 木製巾木 C.L塗 H=60
(W1)	壁 : ビニルクロス張 P.Bア12.5 L.G.S下地
(W2)	壁 : ビニルクロス張 遮音壁(スラブまで)
(C2)	天井 : 化粧吸音P.Bア9.5張 L.G.S下地



仕上凡例	
(F2)	床 : ビニル床シート2.0張 モルタル金コテ押エ
(BB2)	巾木 : ビニル巾木 H=60
(W1)	壁 : ビニルクロス張 PBァ12.5 LGS下地
(W2)	壁 : ビニルクロス張 遮音壁(スラブまで)
(C1)	天井 : 化粧PBァ9.5張 LGS下地



2 階天井伏図 1/100



1 階天井伏図 1/100

ブラインド サイズ一覧表		
符号	W×H	か所
BL<1>	W2, 215×H1, 740	2
BL<2>	W700×H1, 640	2
BL<3>	W2, 230×H1, 640	2
BL<4>	W2, 130×H1, 640	1
BL<5>	W2, 190×H1, 740	3
BL<6>	W2, 170×H1, 740	12

仕上凡例	
○C1	天井：化粧PBア9, 5張 LGS下地
○C2	天井：化粧吸音PBア9, 5張 LGS下地
○C3	天井：ケイカル板ア6 EP塗 LGS下地
○C4	天井：コンクリート打放シ補修 NAD塗
○A	天井：外装薄塗材E吹付 コンクリート打放シ補修
○B	天井：ケイカル板ア6 EP塗 LGS下地
○C	梁型：複層塗材E吹付 コンクリート打放シ補修
⊗	天井点検口 アルミ製 450角
⌈⌋	設備用開口補強を示す
BB (1)	ブラインドボックス (タイプ1) を示す 7 D
BB (2)	ブラインドボックス (タイプ2) を示す 8 D
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す
特記なき限り廻り縁は塩ビ製とする	
各PS内はコンクリートのままとする	

開口補強サイズ一覧表		
番号	W×D	か所
1	900×900	9
2	1060×670	1

特
記
事
項



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株式会社 **前野建築設計**

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当
一級建築士
第307846号
三橋 五百子

設計担当
一級建築士
第307828号
加藤 早妃

設計担当
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当

法適合確認

作成
加藤 早妃

検図
三橋 五百子

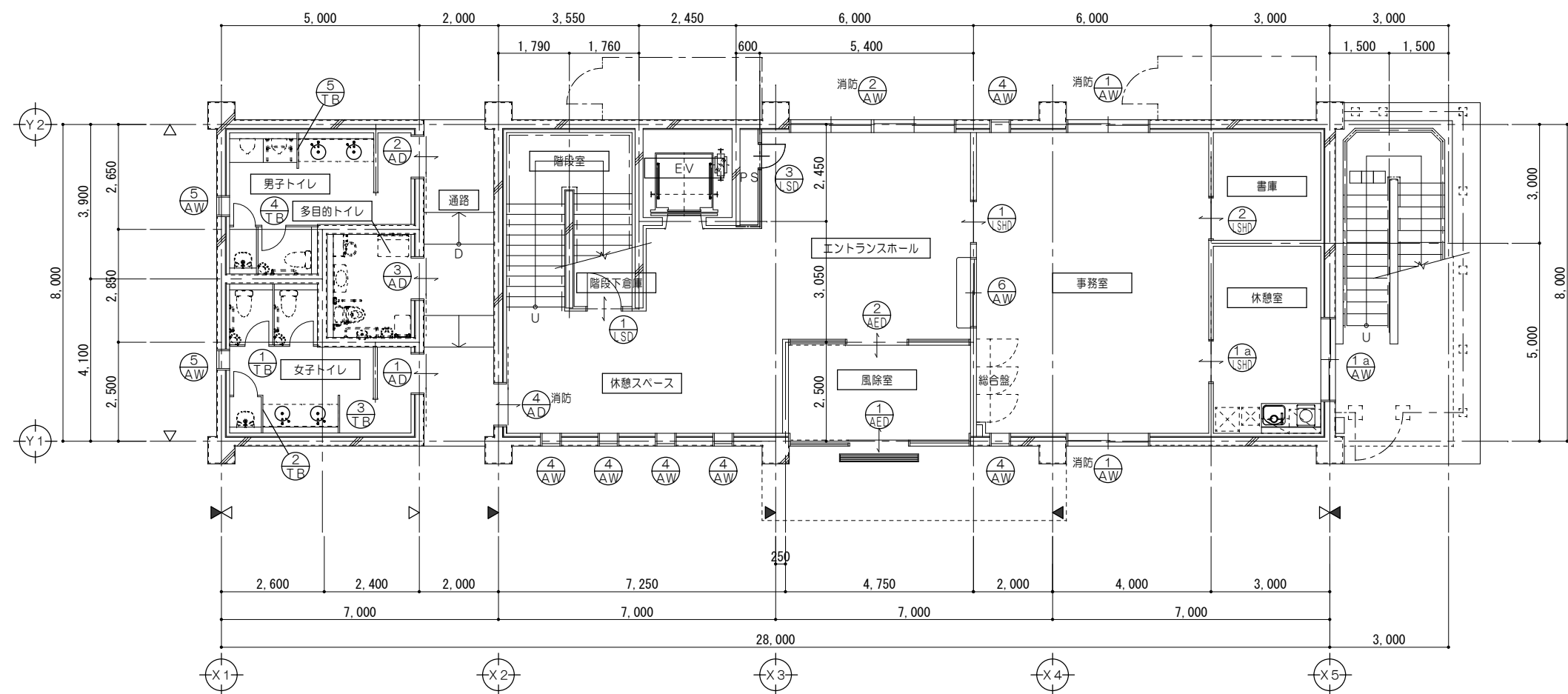
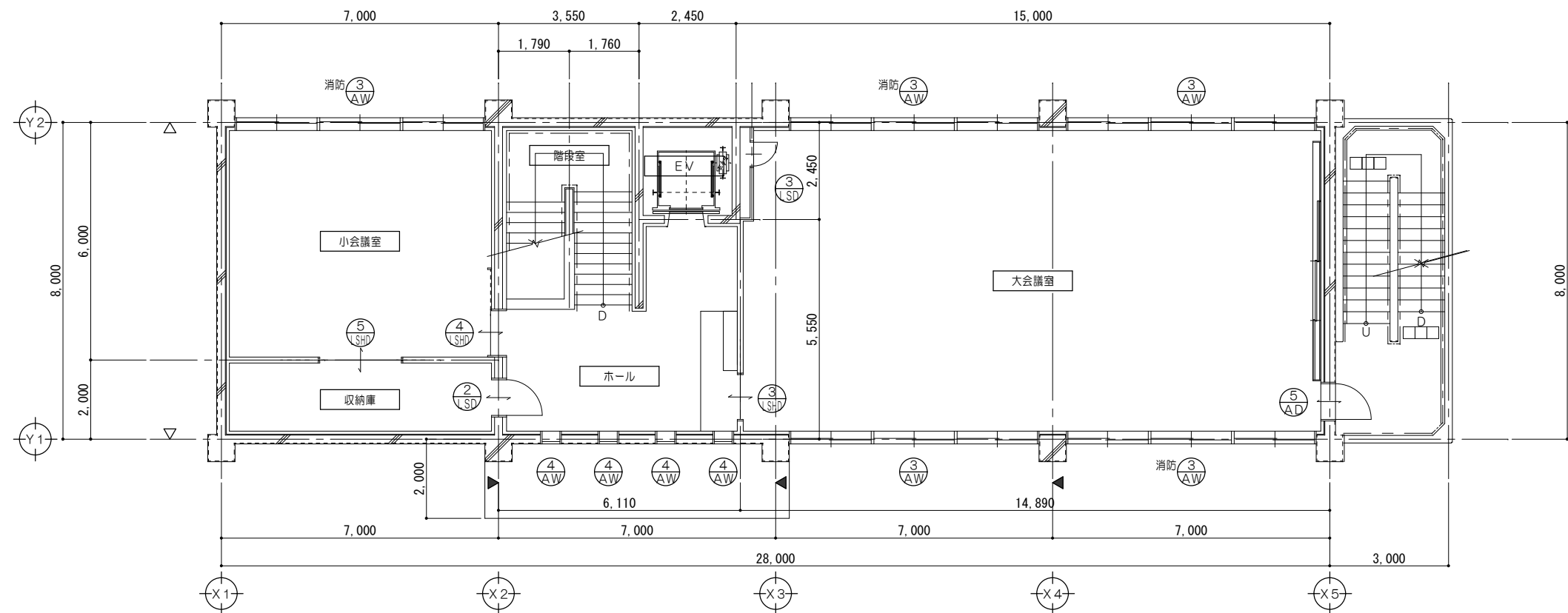
工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事



図面名称
【①管理棟】1階天井伏図、2階天井伏図

縮 尺
A2:1/100
A3:1/141

図面番号
A044
(原図:A2)

設計日



凡 例	
	新設建具を示す
消防 	消防無窓棟の検討に使用する建具を示す

※誘導灯を設置する建具は避難方向へ鍵を用いず手動開放可能。

建 具 表 No. 1													1/50																																				
符号名称数量		① AED			ランマ・袖壁 F I X 付片引アルミ自動ドア				1		② AED			ランマ・袖壁 F I X 付片引アルミ自動ドア				1		① AD			片引キアルミハンガードア				1		② AD			片引キアルミハンガードア				1													
姿 図																																																	
見 込 硝子		100		ランマ：強化ガラス♯4 ド ア：強化ガラス♯6										100		ランマ：強化ガラス♯4 ド ア：強化ガラス♯6										70		強化型ガラス♯4										70		強化型ガラス♯4									
仕 上		アルミ陽極酸化塗装皮膜																																															
金 物		ドアエンジン、人感センサー、アルミ額縁、水切、シリンダー錠（内側サムターン）、付属金物一式																																															
室 名		1 階：風除室																																															
符号名称数量		③ AD			片引キアルミハンガードア				1		④ AD			片引キアルミハンガードア				1		⑤ AD			片開キアルミフラッシュドア				1		① AW			引違イアルミサッシ				2													
姿 図																																																	
見 込 硝子		70		強化型ガラス♯4										70		強化ガラス♯6										70		強化型ガラス♯4										70		強化ガラス♯5									
仕 上		アルミ陽極酸化塗装皮膜																																															
金 物		自閉制御装置、エアダンパー、アルミ額縁、ガイドローラー、大型引手、表示錠（非常解錠付サムターン）、ステンレス杏摺、付属金物一式																																															
室 名		1 階：多目的トイレ																																															
符号名称数量		① a AW			引違イアルミサッシ				1		② AW			2 連引違イアルミサッシ				1		③ AW			引違イアルミサッシ				5																						
姿 図																																																	
見 込 硝子		70		強化型ガラス♯4										70		強化ガラス♯5										70		強化ガラス♯5																					
仕 上		アルミ陽極酸化塗装皮膜																																															
金 物		クレセント、戸車、アングルピース、ステンレス網戸、水切、付属金物一式																																															
室 名		1 階：休憩室																																															

建 具 表 No. 2				1/50					
符号名称数量	④ AWヒリ出シアルミサッシ		10	⑤ AWヒリ出シアルミサッシ		2	⑥ AW引違イカウンター用アルミサッシ		1
姿 図									
見 込 硝 子	70強化ガラスA5			70強化型ガラスA5			40強化ガラスA5		
仕 上	アルミ陽極酸化塗装皮膜			アルミ陽極酸化塗装皮膜			アルミ陽極酸化塗装皮膜		
金 物	カムラッチハンドル、アングルピース、ステンレス網戸、水切、付属金物一式			カムラッチハンドル、アルミ額縁、ステンレス網戸、水切、付属金物一式			クレセント、戸車、アングルピース、付属金物一式		
室 名	1階：風除室、事務室 2階：ホール			1階：男子トイレ、女子トイレ			1階：事務室		
符号名称数量	① LSD片開キ軽量スチールドア		1	② LSD片開キ軽量スチールドア		1	③ LSD片開キ軽量スチールドア		2
姿 図									
見 込 硝 子	枠 110 扉 40			枠 435 扉 40強化型ガラスA4			枠 90 扉 40		
仕 上	化粧鋼板A0.6 焼付塗装			化粧鋼板A0.6 焼付塗装			化粧鋼板A0.6 焼付塗装		
金 物	レバーハンドル、DC、丁番、ステンレス沓摺、スチール三方枠（焼付塗装）、戸当り、シリリンダー錠、付属金物一式			レバーハンドル、DC、丁番、ステンレス沓摺、スチール三方枠（焼付塗装）、戸当り、シリリンダー錠（内部サムターン）、付属金物一式			レバーハンドル、DC、丁番、ステンレス沓摺、スチール三方枠（焼付塗装）、戸当り、シリリンダー錠、付属金物一式		
室 名	1階：階段下倉庫			2階：収納庫			1階：PS 2階：PS		
符号名称数量	② LSD片引キ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ）		1	③ LSD片引キ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ）		1	④ LSD片引キ軽量スチールハンガードア（外付タイプ）		1
姿 図									
見 込 硝 子	枠 135 扉 40強化型ガラスA4			枠 160 扉 40強化ガラスA5			枠 435 扉 40強化ガラスA5		
仕 上	化粧鋼板A0.6 焼付塗装			化粧鋼板A0.6 焼付塗装			化粧鋼板A0.6 焼付塗装		
金 物	自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式			自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式			自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式		
室 名	1階：書庫			2階：大会議室			2階：小会議室		
符号名称数量	⑤ LSD引分ケ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ）		1	⑥ LSD引分ケ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ）		1	⑦ LSD引分ケ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ）		1
姿 図									
見 込 硝 子	枠 140 扉 40			枠 140 扉 40			枠 140 扉 40		
仕 上	化粧鋼板A0.6 焼付塗装			化粧鋼板A0.6 焼付塗装			化粧鋼板A0.6 焼付塗装		
金 物	自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式			自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式			自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式		
室 名	1階：書庫			2階：大会議室			2階：小会議室		
符号名称数量	⑤ LSD引分ケ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ）		1	⑥ LSD引分ケ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ）		1	⑦ LSD引分ケ軽量スチールハンガードア（壁内蔵タイプ）		1
姿 図									
見 込 硝 子	枠 140 扉 40			枠 140 扉 40			枠 140 扉 40		
仕 上	化粧鋼板A0.6 焼付塗装			化粧鋼板A0.6 焼付塗装			化粧鋼板A0.6 焼付塗装		
金 物	自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式			自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式			自閉制御装置、エアダンパー、大型引手、ガイドローラー、シリリンダー錠（内部サムターン）、ステンレス沓摺、付属金物一式		
室 名	1階：書庫			2階：大会議室			2階：小会議室		

特 記 事 項				<div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div>株式会社 前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 加藤 早妃 監図 前野 将輝	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
	図面名称 【①管理棟】建具表No.2		縮 尺 A2:1/50 A3:1/71										
	図面番号 A047 (原図:A2)												

建 具 表 No. 3										1/50																																							
符号名称数量					① TB					トイレブース					1					② TB					トイレブース					1					③ TB					トイレブース					1				
姿 図					FL ▽																																												
見 込					硝 子					40										40										40																			
仕 上					高圧メラミン樹脂化粧板（芯材：ペーパーコア）																																												
金 物					アルミアルエッジ、アルミ笠木、アルミ下枠、ラバトリヒンジ、表示錠付取手（非常時外開解錠付）、チャイルドロック、戸当り、ステンレス巾木、付属金物一式																																												
室 名					1階：女子トイレ																																												
符号名称数量					④ TB					トイレブース					1					⑤ TB					トイレブース					1																			
姿 図					FL ▽																																												
見 込					硝 子					40										40																													
仕 上					高圧メラミン樹脂化粧板（芯材：ペーパーコア）																																												
金 物					アルミアルエッジ、アルミ笠木、アルミ下枠、ラバトリヒンジ、表示錠付取手（非常時外開解錠付）、戸当り、ステンレス巾木、付属金物一式																																												
室 名					1階：男子トイレ																																												
符号名称数量																																																	
姿 図					FL ▽																																												
見 込					硝 子																																												
仕 上																																																	
金 物																																																	
室 名																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	
特 記 事 項																																																	

エレベーター仕様要項			
分類	仕様項目	01号機	
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター	
	機種形名	P11-CO	
	用途	乗用	
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）	
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）	
	積載量	750kg	
	定員	11名	
	定格速度	4.5m/min	
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）	
	出入口幅	800mm	
	出入口高さ	2100mm	
	かご室サイズ（内法開口）	1400mm	
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm	
	かご室内法高さ	2300mm	
	出入口方式	一方向出入口	
正面側停止数	2停止（1-2階）		
その他基本仕様	動力用電源	AC3φ-210V-60Hz	
	照明用電源	AC1φ-100V-60Hz	
	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14	
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版	
	敷居間隔	10mm	
	車いす仕様	制御機能付	
	視覚障がい者対応仕様	あり	
	乗場視覚障がい者用注意名板（追加付）	3枚	
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）	
	停電時自動着床装置	あり	
	乗場三方枠	大枠床広基板なし 351mm×600mm ステンレスヘアライン（1-2階）	
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（1-2階）	
	乗場敷居	アルミ製（1-2階）	
	乗場インジケータ	一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1-2階）	
	乗場仕様	乗場インジケータ—体形ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-2階）
乗場インジケータ運行表示灯1		休止表示	
車いす専用乗場ボタンプレート		一般用乗場ボタン—体形 ステンレスヘアライン（1-2階）	
車いす専用乗場ボタン		ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-2階）	
乗場休止スイッチ		あり	
乗場休止スイッチ取付位置		乗場インジゲータ	
かご室仕様		天井	スタンダード：フラット（白色） 天井素材：鋼板塗装（メーカー標準色）
		正面壁	化粧鋼板
		側面壁	化粧鋼板
		袖壁	ステンレスヘアライン
		出入口上板	化粧鋼板
		かご室戸	化粧鋼板
		巾木	アルミ製
		かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
		かご室敷居	アルミ製 2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤	
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン	
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート	
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり	
	正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（10.1インチ）	
	かご操作盤液晶インジケータ—表示言語	2ヵ国語表示（日本語、英語）	
	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン	
	車いす専用正かご操作盤インジケータタイプ	ドットLED（橙色）	
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート	
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり	
	かご室換気	DCファン	
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）	
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾500）	
	キックプレート	板厚2.0ステンレスヘアライン（ピスなし）高さ：床面より350mm	
	壁保護膜	磁石式（保護高さ標準：床面より上端まで1895mm）	
床保護マット	あり		

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点
<p>エレベーターかごのインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。</p> <p>管理入室等に設置する場合は、２４時間管理人が常駐する必要がある。</p> <p>（建築基準法施行令第１２９条の１０第３項参照）</p> <p>もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> １．インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。 ２．管理入室内のインターホン親機の機能を共用部から隠蔽できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。 ３．管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。 <p>例えば、営業時間外の管理入室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を随伴する。</p>

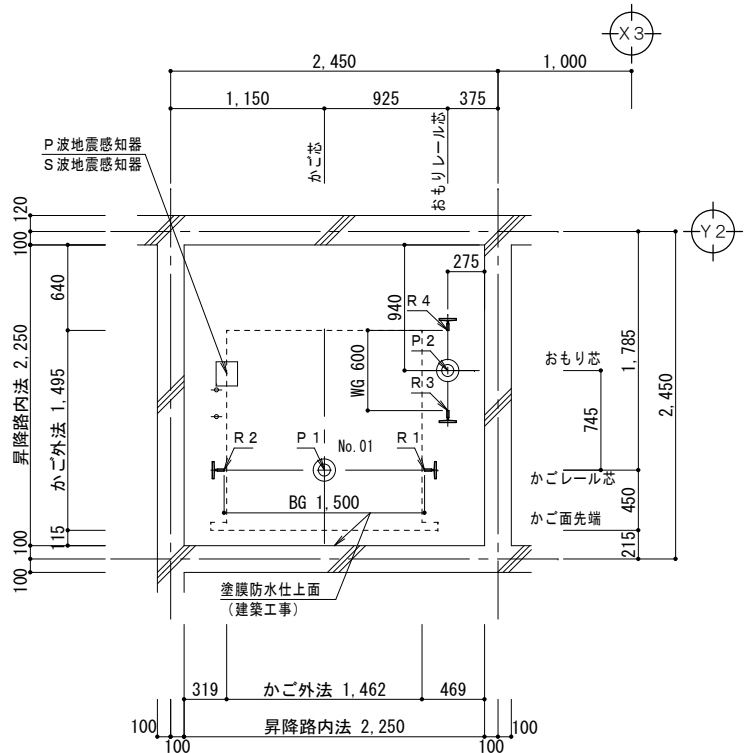
エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	01号機
その他仕様	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸センサー付き）
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	インターホン型式	6V1局
	かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス
	かご室音響	かご室スピーカー
	高調波対策種類	DCリアクトル（ $K_i=1.8$ ）
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2階）
	レール支持方式	1フロア1ブラケット
煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付【標準】	
仮設動力電源	1式（NANMO4316）	

レール下端部荷重（長期荷重）			
R 1（kN）	R 2（kN）	R 3（kN）	R 4（kN）
3. 6	23. 4	43. 4	19. 8

ブラケット取付のため、
ビット内の壁または梁は
最下階F.L面まで立ち上
げて下さい（建築工事）

昇降路機器はピット底面・側面、
梁・壁（コンクリートの場合）に
あと施工アンカーにより取付を行います

ピット荷重（短期荷重）	
P 1（kN）	P 2（kN）
75.2	63.5



昇降路平面図 (ピット) 1/40

No. 01号機

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降機の建造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
(昇降機は5cm² 以下300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とする)
- 各階乗出出入口周囲のモタル詰め工事
- 乗換機乗出後出入口の入り口の壁及び床の仕上工事
- 昇降機頂部にエレベーター機器搬用用のフック設置工事
(kN)/ ϕ
- 通廊がある場合の非常取出口設置工事 (か敷居先端から125mm以上)
- ビッド内防水仕上工事 (必要時は、排水設備工事含む)
- ビッド床下使用の場合の建築対策工事
- ビッドが深い場合の埋込み、浅い場合はつり工事
- 段違いビッドのビッド内保護欄工事 (必要の場合)
- 昇降機内の騒音・振動が居室に伝播しないレイアウト及び各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
(対策例1) 昇降機の壁 (RC) を厚くする
※ (200mm以上推奨)
(対策例2) 隣接居室内のボードや天井を、昇降機壁 (RC) に直接接しない工法とする
(対策例3) 隣接居室内のボードに制振材 (鉛板)、吸音材を貼付する

設備工事関係

1. 動力用電源、照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事
(敷き込み工事含む)
 2. インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事
($\phi 9 \times 10$ mm) / 台
 3. 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
 4. 遮煙ドア設置の場合、遮煙ドア設置時降噪降口より火災
感知器または、煙感知器の設置工事
 5. エレベーターの遮煙管理用配管・配線工事 (昇降路内から
最寄の電話中継室まで)
 6. 建設設備設置に必要な接続供給工事
 7. ビット内点検用コンセント設置工事
(照明用 AC100Vとは別系統のこと)
 8. 昇降路頂部の煙感知器設置工事 (外部より点検可能なこ
と)
 - 平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検
口の戸は付 (工具を必要とするナジでも可) とし戸が
開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
 9. かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管
配線工事 (昇降路からモニター設置場所まで)
・50℃・20mm同軸ケーブル
・かごスピーカがある場合、放送用配管配線の昇降路
制御盤までの引込工事
(非常放送がある場合とするとこと)
 10. 昇降路換気設備工事 (昇降路内温度40℃以下昇降路
温度上7℃を超える場合、換気設備が必要になります)
監視型 エレベーター駆動機 (電圧0.1kV) 1
台設置工事の監視盤までの引込工事及び配管配線工事
 11. プタン、ガリリン、アセチレン、水素、エーテル、
炭素、塵粉
(3) エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波が
ないこと
電磁波の電界強度が10V/m以下の環境となること
(4) 原則、昇降路の設置場所は標高1000m以下の高
さとする
(5) ① 屋上等直接外気と接する奥面における雨水より設備
により外部から風雨が侵入しないこと
(② 火災、漏水、水配管・グレーチング・防振板等)
(6) センサ誤動作防止、及び乗降時熱気形防熱、防風、
屋外又は、屋内から超越した乗降及び駐動、制御
装置 (制御盤、昇降装置) に直射日光が当たらない
対策を実施すること
 12. 昇降路内には電気、水道管の配管・器具を埋め込みないこと
昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないよ
うにすること
(建築基準法施行令第12条第2の4第1項第3号)
 13. 遮断器は1分間1回検対応のものを使用すること
 14. 輸送可能な通風配車率や台数などの重量物は250kg
以下にすること
(建築基準法施行令第12条第2の4第1項第3号)
 15. 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置
とし、設置位置より雨水浸入は、防水対策を実施のこと
エレベーターの導軌・点検口に緊密に対応のため、外部
階段段と最も上階および最下階エレベーターホールを架
空式でできる経路を確保すること (個人又は事業者が不

仮設工事関係

つぎの事項を、弊社で用意・対応する場合は別途見積となります

- | | | |
|----|---|---|
| 1. | 据付工事用現場場所および材料置場 | (1) エレベーターと通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する |
| 2. | 据付工事および試験運転調整用機器、セメント、小石等 | (2) エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する |
| 3. | 据付工事用の仮設電源 | (3) エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する |
| | (本設電源と同一電源柱にて支給願います) | (エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要) |
| 4. | 重量物の搬入に支障のない道路の確保 | |
| 5. | 重量物の搬入幅引きを距離30m超 | |
| 6. | エレベーターシャフトが隣接する場合の
落下防止区画設置、安全対策（ネット等） | (3) エレベーターを含む機器アース線と通信機器、OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地地の分離 |
| 7. | 安全確保の先行取り付け | 施す |
| | ※着工前、先行で取り付けた安全確保の管理も含む | 1.3. 乗降場へエレベーターを付ける場合は、乗降場確保が完了後に施工する必要があります。乗降場確保が完了後にウレタン |
| 8. | 据付工事用エレベーターの安全機能の施工時のガラス部分養生 | |

エレベーターの工事使用に係る件

1. エレベーターを工事に使用される場合は、別途契約が必要です

工事関連事項

- | | | | |
|----|---|-------|---|
| 1. | 現場検査立会（「完了検査」）引渡（渡し）検査の
2回と致します | | 無いが、施工範囲と厚みを昇降機担当と連絡し問題ない
ことを確認ください |
| 2. | 乗降先行工事、多段階着工、他設備工事立会等、標準施工
手順と異なる施工は本工事に含まれません | 1. 4. | 乗降に向かうで強風が吹く場合には、防風対策（建築工
事）を行うこと。風圧により乗降が閉まらない恐れ
があります |
| 3. | 施工写真撮影は本工事に含まれません | 1. 5. | 部品の検査は各階層により、検査の順番により異なります |

注意事項

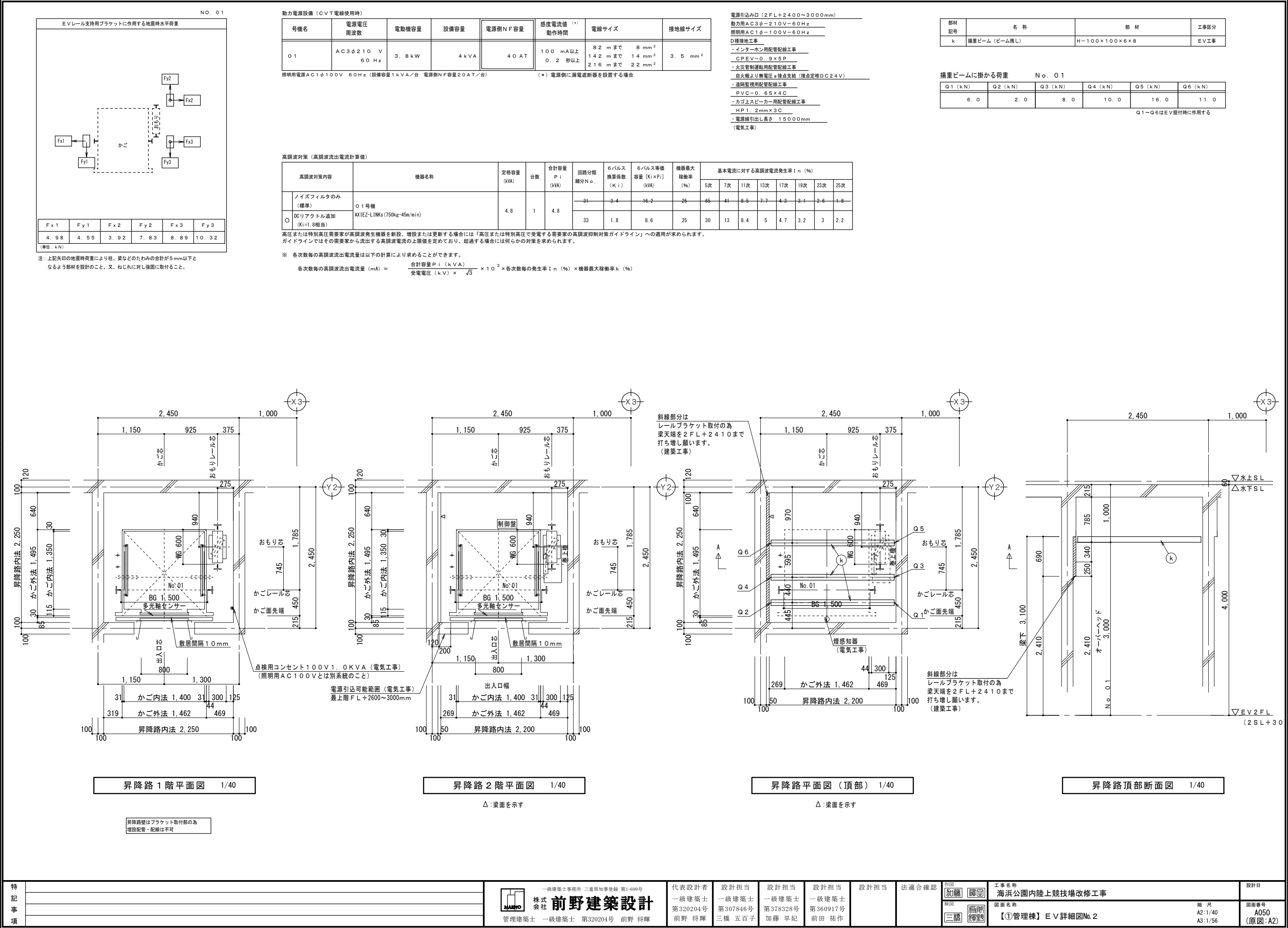
1. 昇降路廊下・開口手法は、昇降路全棟（ビッド部から昇降路廊下まで）について確保のこと
 2. コンクリート強度は 21 N/mm^2 以上のこと
 3. 電源電圧の変動は $\pm 5\% \sim \pm 10\%$ 以内、電圧不平衡率 5% 以内のこと
 4. 本エレベータ所定の性能維持のため圧入条件とすること
 - (1) 昇降路内の温度は $5^{\circ}\text{C} \sim 40^{\circ}\text{C}$ 以内、湿度月平均 90% ・日平均 95% 未満かつ湿度変動率 5% 以上により水結・結露しないこと
 - (2) 金属と構材または腐食した金属と他の接触時の原因となるような腐食及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと

①腐食性ガス、硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アモニアガスおよび
海岸地区における潮風
※昇降路標準環境の基準例

硫化水素ガス… $\text{H}_2\text{S} \leq 0.005 \text{ [ppm]}$ 以下
亜硫酸ガス… $\text{SO}_2 \leq 0.01 \text{ [ppm]}$ 以下
塩化水素ガス… $\text{HCl} \leq 0.05 \text{ [ppm]}$ 以下
塩素ガス… $\text{Cl}_2 \leq 0.05 \text{ [ppm]}$ 以下
アモニアガス… $\text{NH}_3 \leq 0.1 \text{ [ppm]}$ 以下

 16. かでの内装デザイン等は別途工事の条件、品質保証（色、はがれ、劣化等の外観変化）対象となりす
また、昇降路保守対象外となります材質、構造等は以下を遵守のこと
材質：不燃又は難燃認定品
構造：装飾品（鏡等含む）には、エレベータ非常止め作動時または緩衝器衝突時は 4 G （縦方向）・地震時は 1 G （横方向）相当の加速度が発生する可能性があるため耐えに耐え、かつ機着定による劣化を考慮した取付構造とすること
照度：かこの床面では 50ルクス （乗用、待合台以外）にあっては 25ルクス 以上の照度とすること
建屋用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります
かつ二重照の自動止ま機能により、照明の ON/OFF 回数が多い
かつこの昇降による振動がある
 17. 施工作業時間条件：月曜日～土曜日 $8:00 \sim 17:00$ 間、施工作業期間の「土曜 6 休」就労をさせていただきます
 18. ELE-Q-Quick は三菱電機ビルソリューションズ（株）とのメンテナンス契約が必要になります

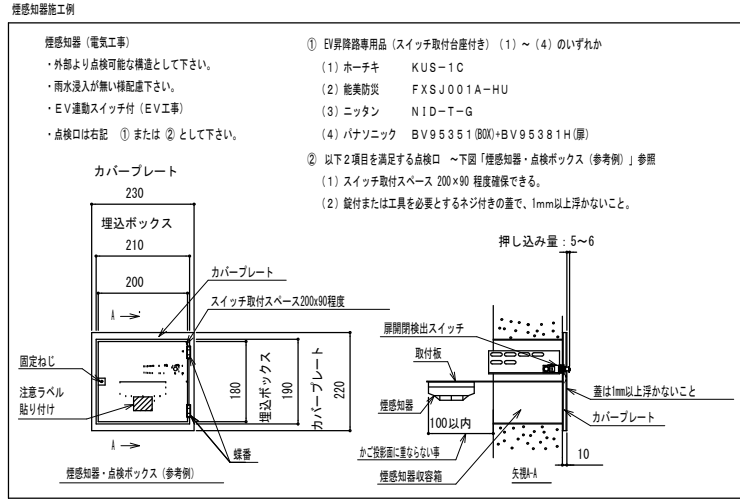
特 記 事 項		<div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div>MAENO</div></div></div></div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	<div>作図 加藤 将輝</div> <div>検図 三橋 聖子</div>	工事名称	設計日
				一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作		海浜公園内陸上競技場改修工事		縮 尺 A2:1/40 A3:1/56	図面番号 A049 (原図:A2)



昇降路内の温度は40℃以下とする

- ・ 外部より点検可能な構造として下さい
- ・ 雨水浸入が無い様配慮下さい
- ・ 点検口は錠付または工具を必要とするネジ付として下さい
- ・ EV運動スイッチ付（EV工事）
- ・ 点検口サイズはスイッチ取付スペースを考慮下さい

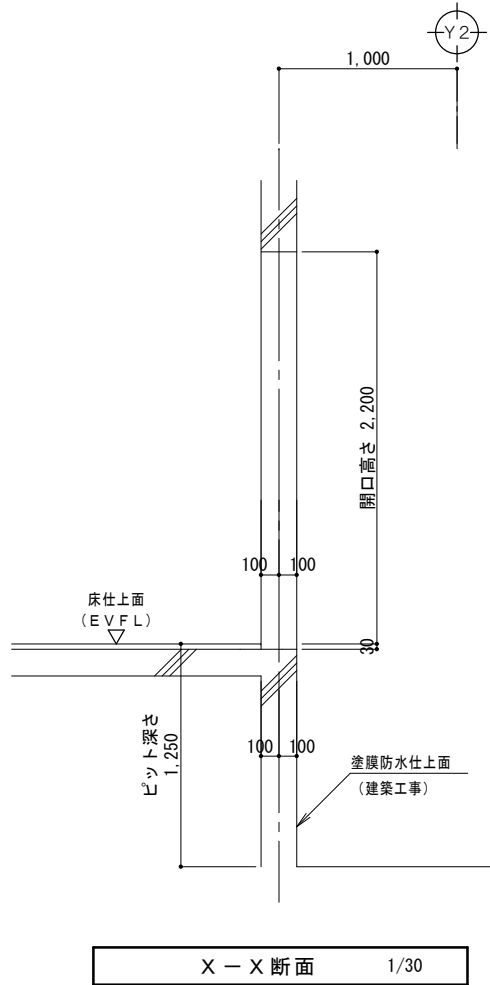
（ 3000以内、鋼板1.6t ）



昇降路断面図 1/50

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階F.L面まで立ち上
げて下さい（建築工事）

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合には仕上厚を考慮して下さい。






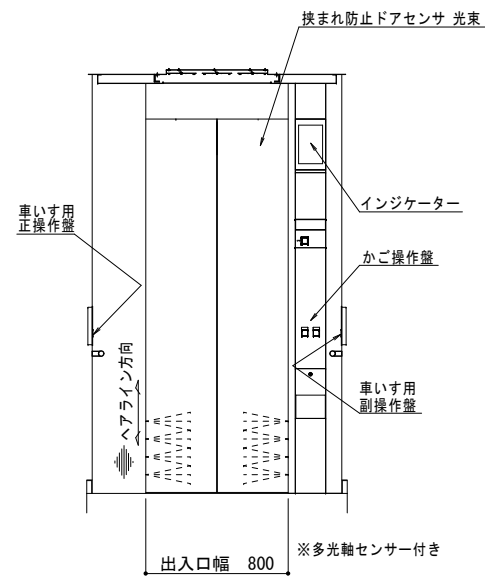
乗場正面図 1/30

乗場穴あけ図 1/30

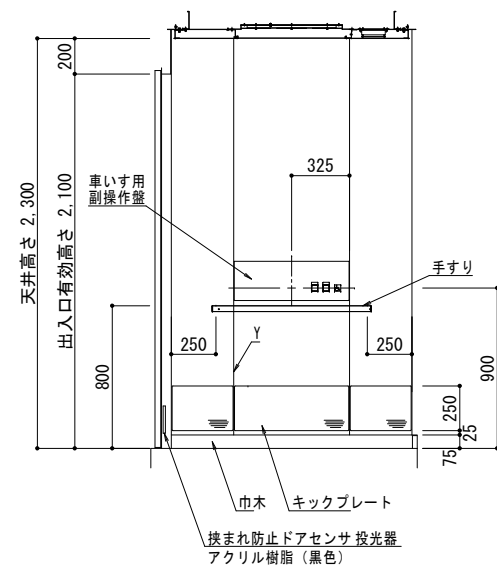
昇降路穴あけ図 1/30

[illegible]

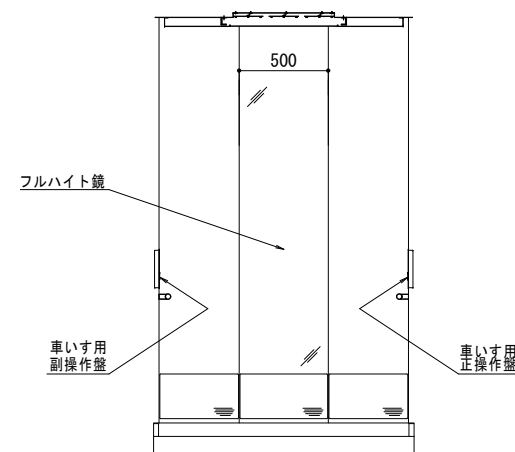
特 記 事 項	 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株 式 会 社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝			代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図   施 工 事 名 称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
										縮 尺 A2:1/60 A3:1/85	図面番号 A051 (原図:A2)
										図 面 名 称 【①管理棟】E V 詳細図No. 3	



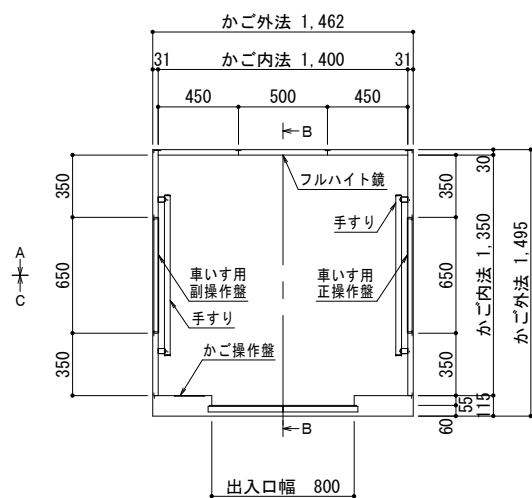
かご室正面図 1/30



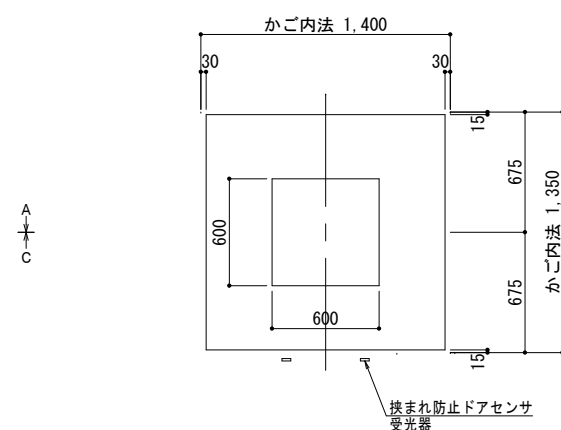
かご室側面図 1/30



かご室背面図 1/30







かご室平面図 1/30



天井伏図 1/30

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	ＤＣ軸流ファン
照明	乳白色樹脂照明板 ＬＥＤ照明（白色）
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル２mm（メーカー標準タイル）
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 ｔ１．５
手すり	ステンレスヘアライン仕上（φ３２） キャップ：樹脂（パールメッキ） ブラケット：アルミ ブラケットカバー：樹脂（パールメッキ）
キックプレート	板厚２．０ ステンレスヘアライン仕上：ビス無
キックプレート	磁石より３５０mm ステンレスヘアライン仕上：ビス無
保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで１８９５mm）
床マット	あり

特 記 事 項	<div><div><div><div></div><div></div></div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div></div>				代表設計者 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	<div><div>作図 </div><div>校図 </div></div> <div>工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事</div> <div>図面名称 【①管理棟】E V 詳細図No. 4</div> <div>縮 尺 A2: 1/30 A3: 1/42</div> <div>設計日 図面番号 A052 (原図: A2)</div>		

各部詳細図 No. 1

1
D

ポストフォーム面台 詳細図

1/10

2
D

汚垂タイル 詳細図

1/10

※註記：汚垂タイルは防臭防汚大型陶板とすること。

3
D

ステンレス沓摺詳細図

1/5

4
D

消火器BOX（埋込） 詳細図

1/20

5
D

消火器BOX（床置） 詳細図

1/20

6
D

キッチン・吊戸棚詳細図

1/30

7
D

ブラインドBOX（1） 詳細図

1/10

※見え掛り木部: 保護シート張
見え隠れ鉄部: 防錆塗装

8
D

ブラインドBOX（2） 詳細図

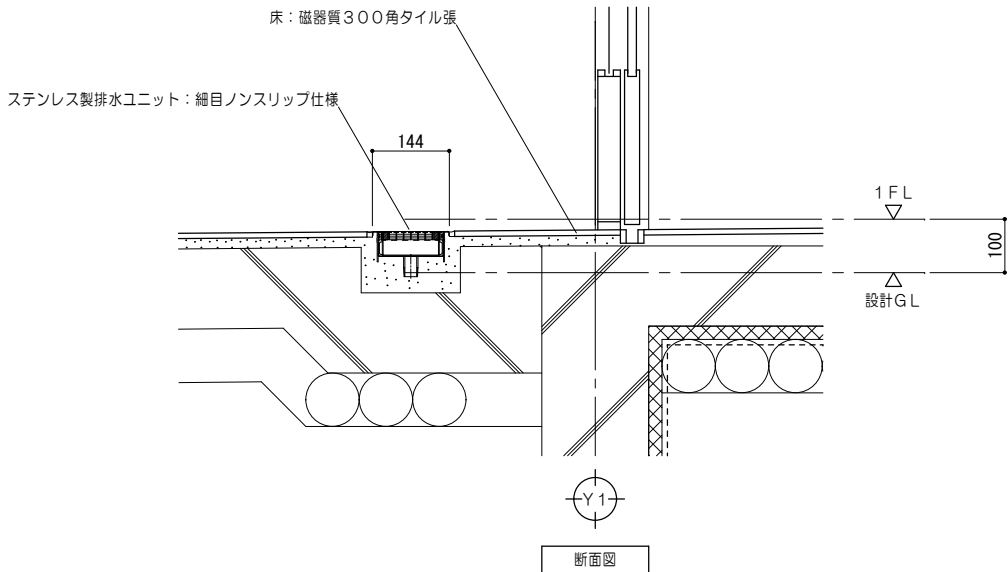
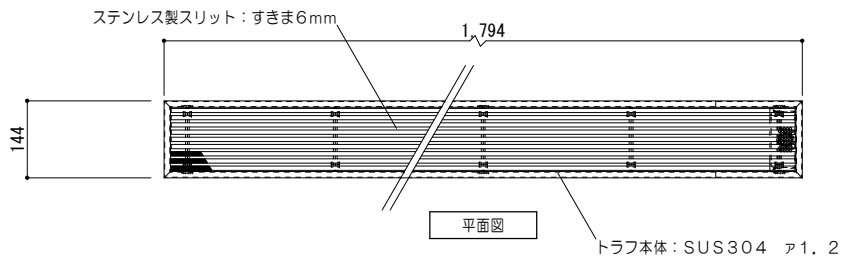
1/10

※見え掛り木部: 保護シート張
見え隠れ鉄部: 防錆塗装

各部詳細図 No. 2

排水溝 詳細図

1/10

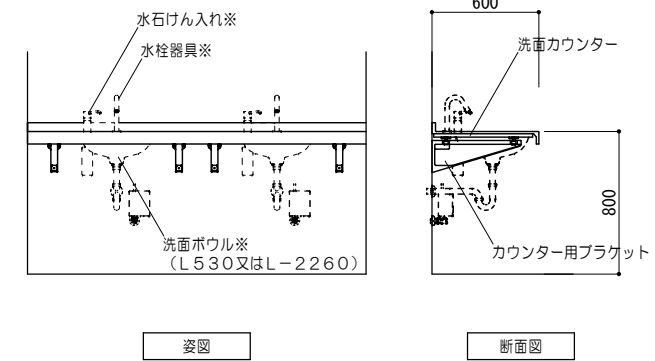
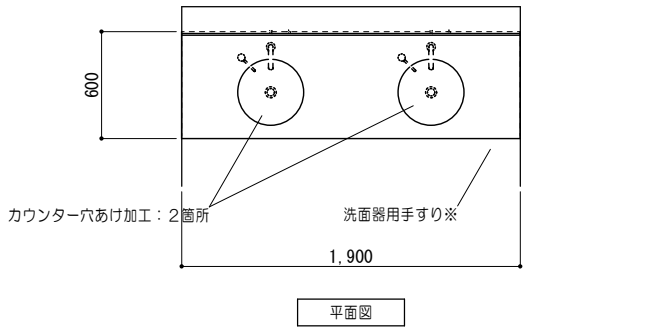


洗面カウンター 詳細図

1/30

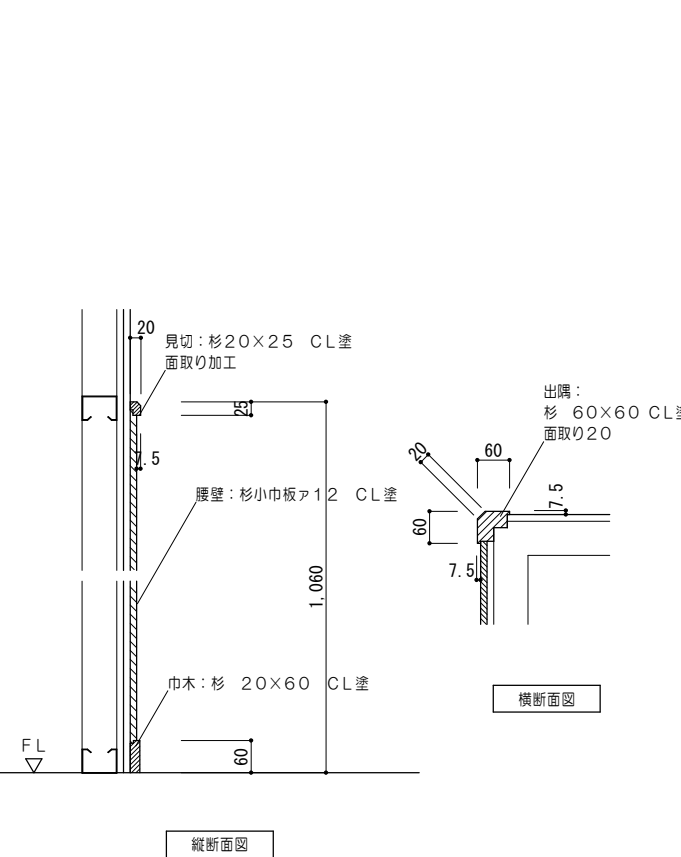
数	各1か所：男子トイレ、女子トイレ	
仕様 参考 品番	TOTO	ML60 (W=1,900) M9P50A
	LIXIL	MB-600SS (W=1,900) MBF-620A

※ 機械設備工事を示す



腰壁 詳細図

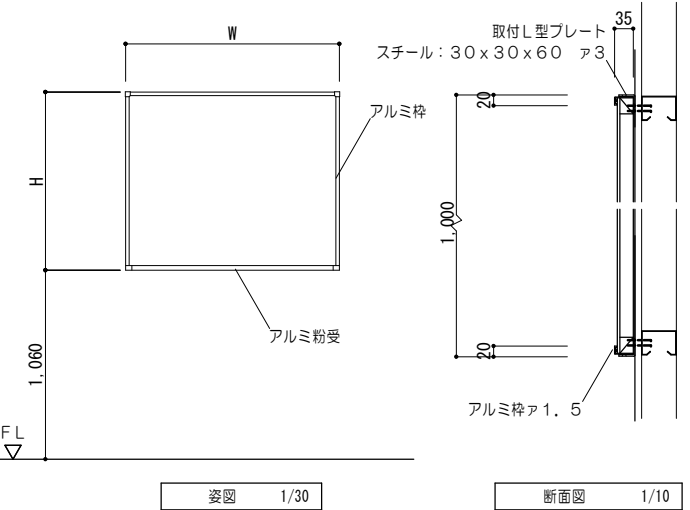
1/10



掲示板 詳細図

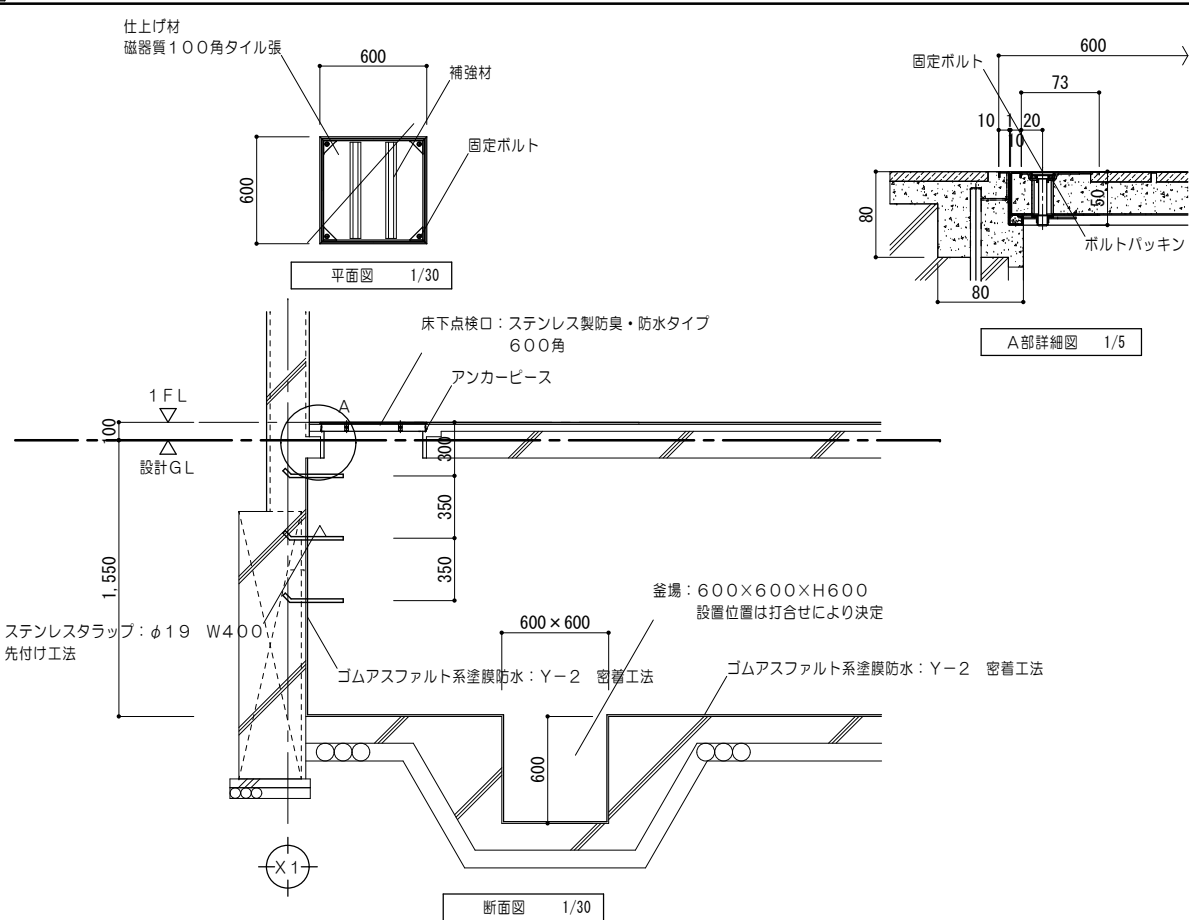
1/10, 1/30

室名	W	H	か所
エントランスホール	2,000	1,200	1



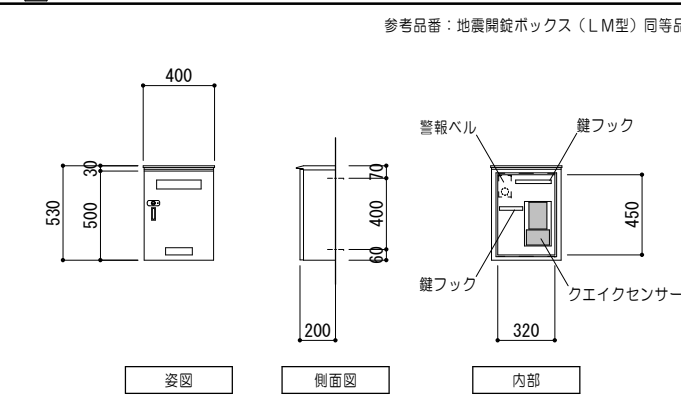
床下点検口 詳細図

1/30, 1/5



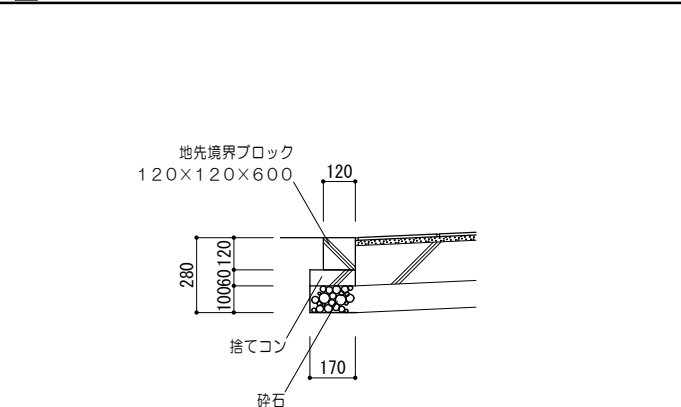
地震開錠BOX 詳細図

1/30



縁石詳細図

1/20



特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

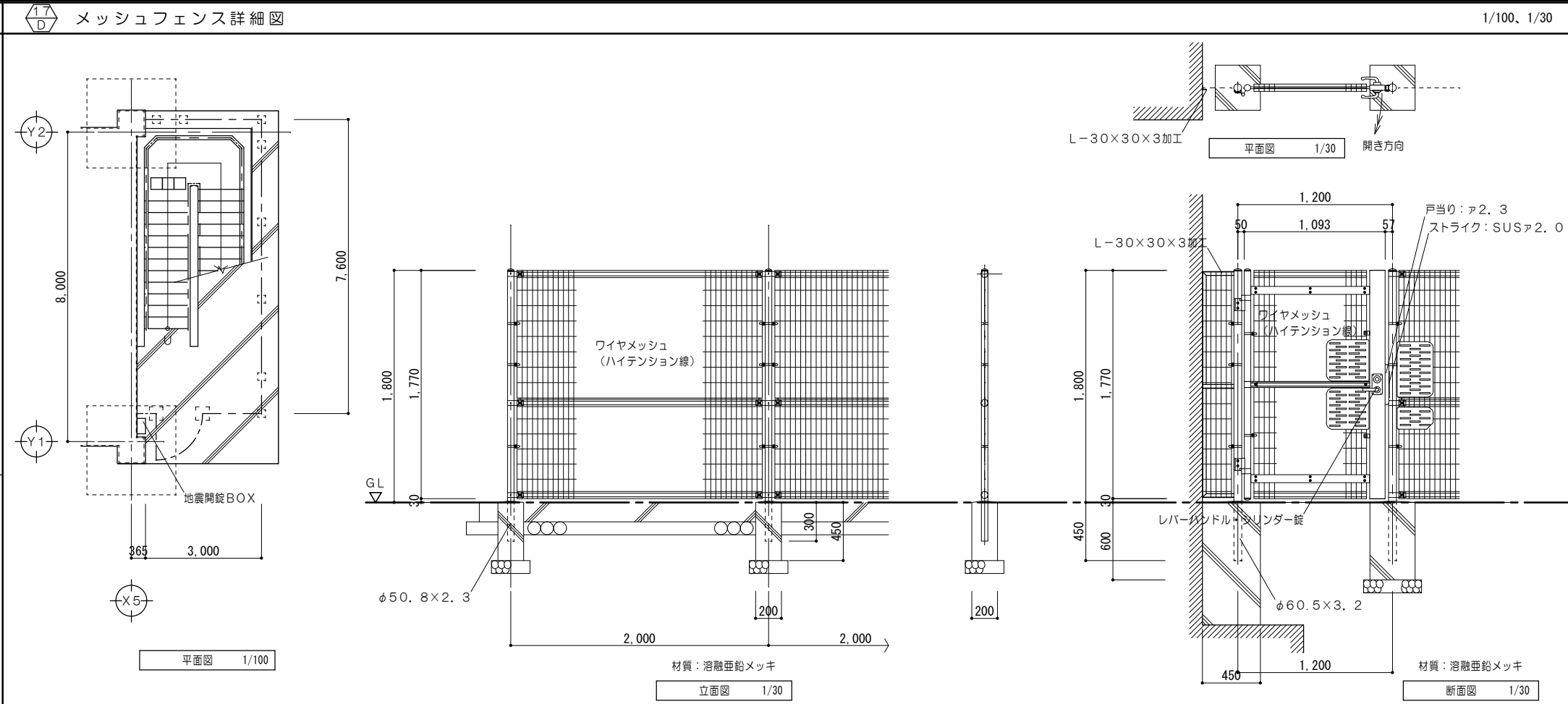
代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当
一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作	

法適合確認	作図
	加藤 早妃

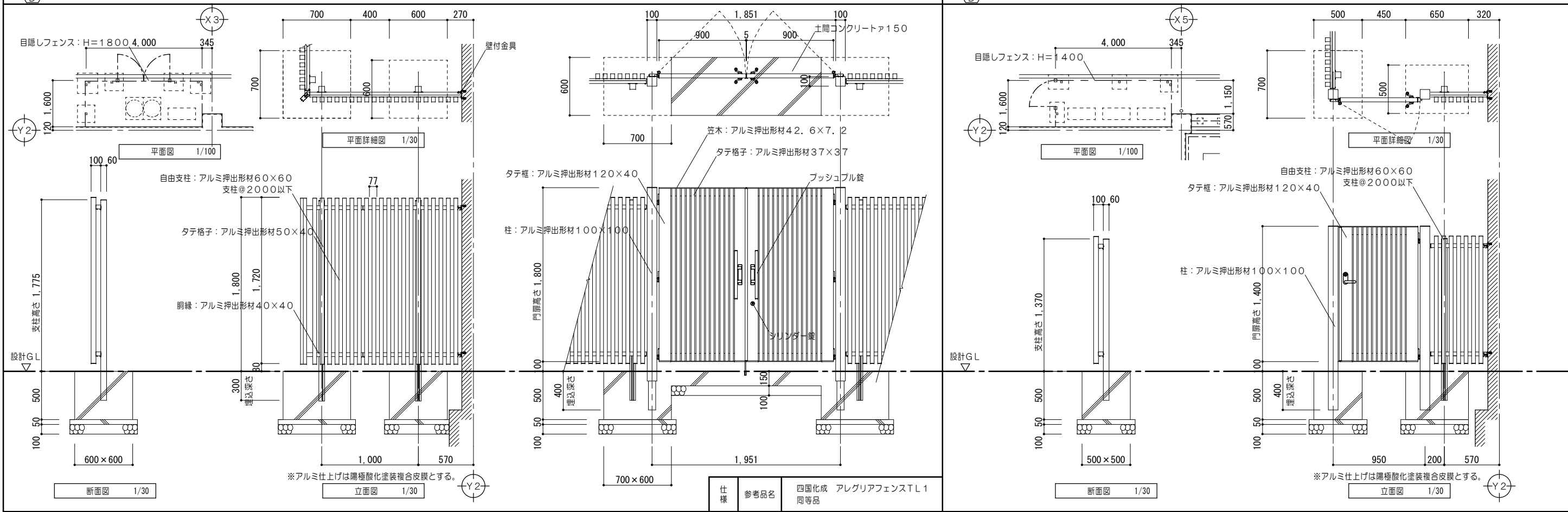
工事名称	海浜公園内陸上競技場改修工事
図面名称	【①管理棟】各部詳細図No.2

縮尺	図面番号
A2:1/30、10、5 A3:1/42、14、7	A054 (原図:A2)

	消火器格納箱（外部用） 詳細図	1/20		メッシュフェンス詳細図	1/100、1/30
--	-----------------	------	--	-------------	------------



18 D	目隠しフェンス詳細図	1/100、1/30	19 D	目隠しフェンス詳細図	1/100、1/30
---------	------------	------------	---------	------------	------------



特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 前野建築設計 株式会社 代表設計者 一級建築士 第302024号 前野 将輝 設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀 設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作 設計担当 法適合確認	作図 加藤 早紀 校図 三橋 五百子	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事 図面名称 【①管理棟】各部詳細図No.3	縮尺 A2:1/100、30、20 A3:1/141、42、28	設計日 図面番号 A055 (原図:A2)

1
F

カウンター 詳細図

1/30

仕
様

天板

タモ集成材（R10加工）ア30
CL塗

棚受

鋼製棚受材
耐荷重65kgf（1本あたり）

※カウンターの棚受は、LGS腰壁下地にて支持すること

1,780

500

1,700

エントランスホール

事務室

平面図

500

1,300

700

エントランスホール

事務室

断面図

FL

鋼製棚受

2
F

下足入 詳細図

1/30

仕
様

天板

化粧メラミンフラッシュ ア20

本体

化粧メラミンフラッシュ ア20
エッジ：樹脂シート ア0.45

裏板

ポリエステル樹脂合板ア4 片面フラッシュ

棚板

化粧メラミンフラッシュ ア20

巾木

化粧メラミンフラッシュ ア20

※木目調程度

350

330

20

1,460

20

1,500

平面図

FL

1,200

60

290

250

250

20

20

20

20

20

20

1,500

1,460

20

20

立面図

350

20

330

180

断面図

3
F

壁面鏡 詳細図

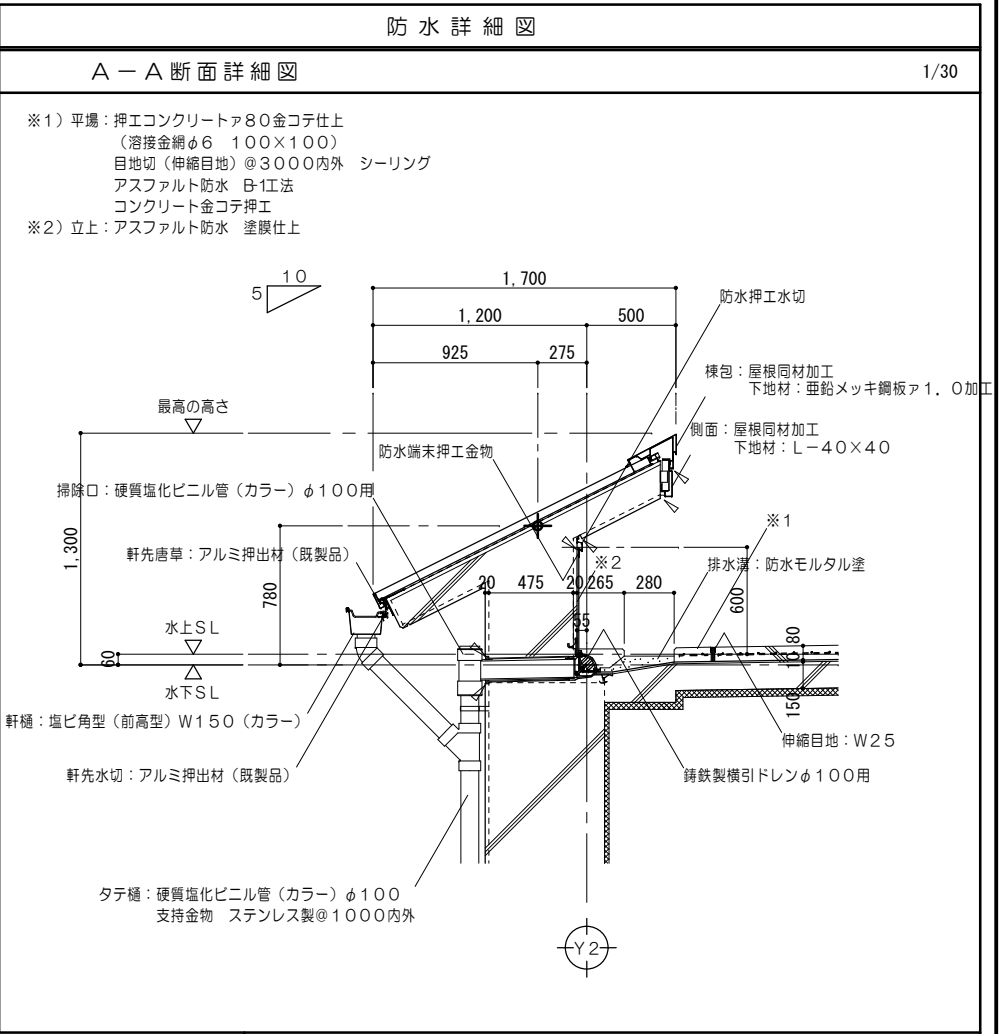
1/30

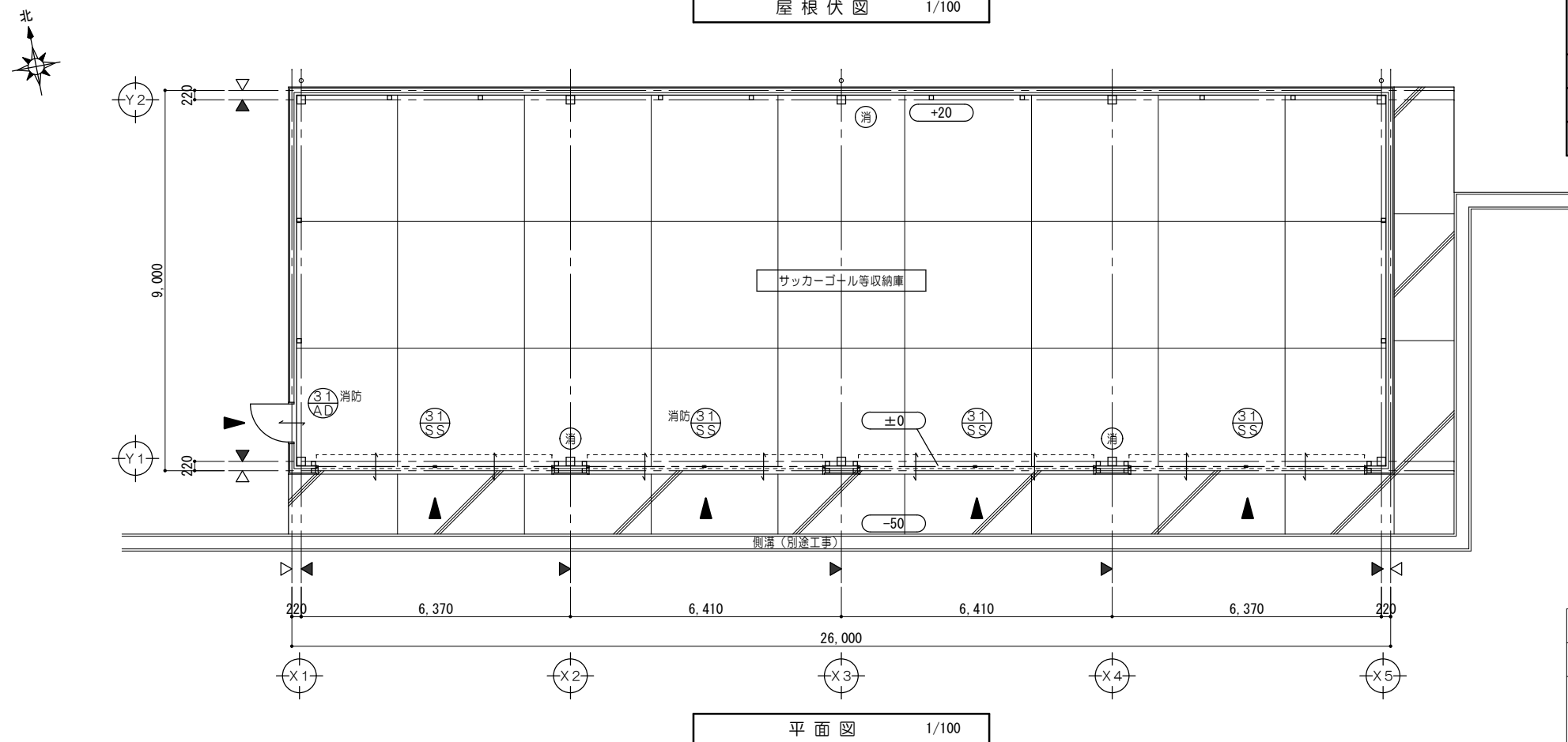
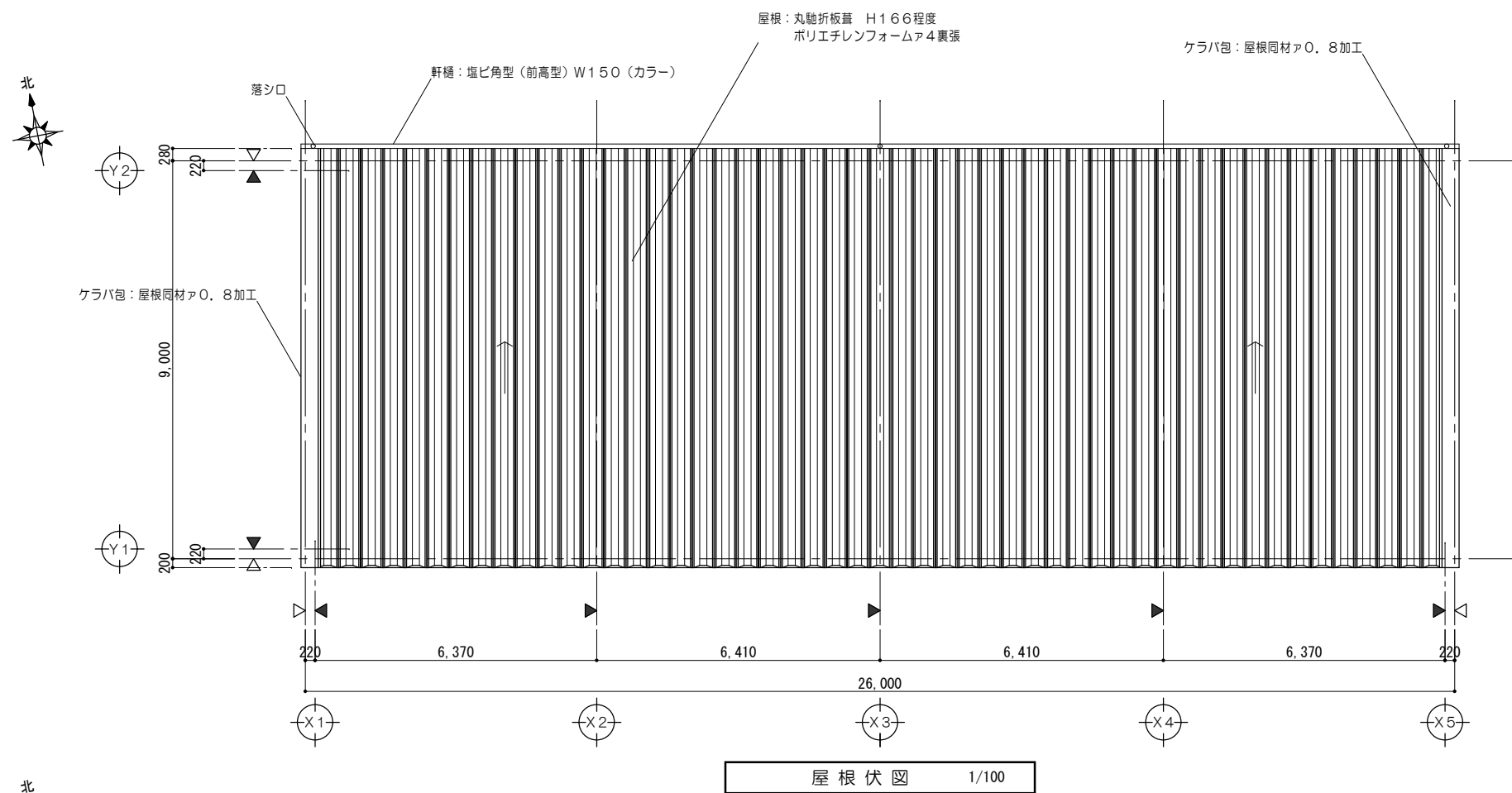
The drawing illustrates the construction of a wall mirror assembly, divided into three main views: Plan View (平面図), Elevation View (立面図), and Cross-section View (断面図).

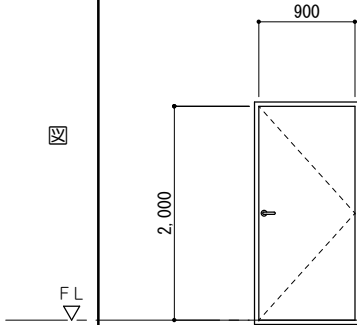
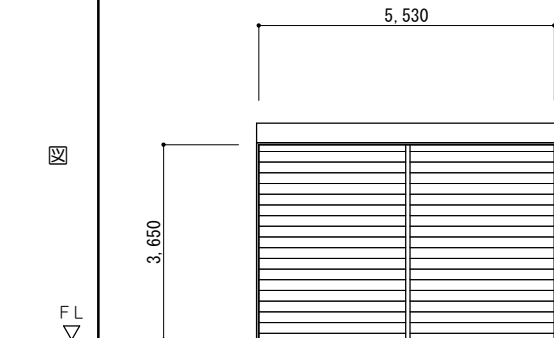
Plan View (平面図): Shows the top-down layout of the mirror frame. The overall width is 6,050 mm, with a central mirror area of 6,000 mm. The depth is 2,030 mm, with a mirror depth of 1,910 mm. The frame is constructed from Sugi (スプルース) 25x40 mm CL (Clear Layer) wood, finished with a clear coat (CL塗). The mirror itself is 200x30 mm Sugi CL, also finished with a clear coat. The wall behind the mirror is composed of 2.5 sheets of plywood (ポリ合板ア2.5張) with a wood grain finish (木目調程度), a waterproof plywood underlayment (耐水合板ア12下地), and a 45x18 mm Sugi CL trim (木胴縁).



Elevation View (立面図): Shows the side profile of the mirror assembly. The total height is 2,030 mm, with the mirror height at 1,910 mm. The mirror is mounted on a wall using a stainless steel bracket (ステンレス引手). The mirror frame is made of Sugi 200x30 mm CL, finished with a clear coat. The wall behind the mirror is composed of 2.5 sheets of plywood (ポリ合板ア2.5張) with a wood grain finish (木目調程度), a waterproof plywood underlayment (耐水合板ア12下地), and a 45x18 mm Sugi CL trim (木胴縁). The mirror is 200x30 mm Sugi CL, finished with a clear coat. The wall behind the mirror is composed of 2.5 sheets of plywood (ポリ合板ア2.5張) with a wood grain finish (木目調程度), a waterproof plywood underlayment (耐水合板ア12下地), and a 45x18 mm Sugi CL trim (木胴縁).

Cross-section View (断面図): Shows the vertical cross-section of the mirror assembly. The total height is 2,030 mm, with the mirror height at 1,910 mm. The mirror is mounted on a wall using a stainless steel bracket (ステンレス引手). The mirror frame is made of Sugi 200x30 mm CL, finished with a clear coat. The wall behind the mirror is composed of 2.5 sheets of plywood (ポリ合板ア2.5張) with a wood grain finish (木目調程度), a waterproof plywood underlayment (耐水合板ア12下地), and a 45x18 mm Sugi CL trim (木胴縁). The mirror is 200x30 mm Sugi CL, finished with a clear coat. The wall behind the mirror is composed of 2.5 sheets of plywood (ポリ合板ア2.5張) with a wood grain finish (木目調程度), a waterproof plywood underlayment (耐水合板ア12下地), and a 45x18 mm Sugi CL trim (木胴縁).

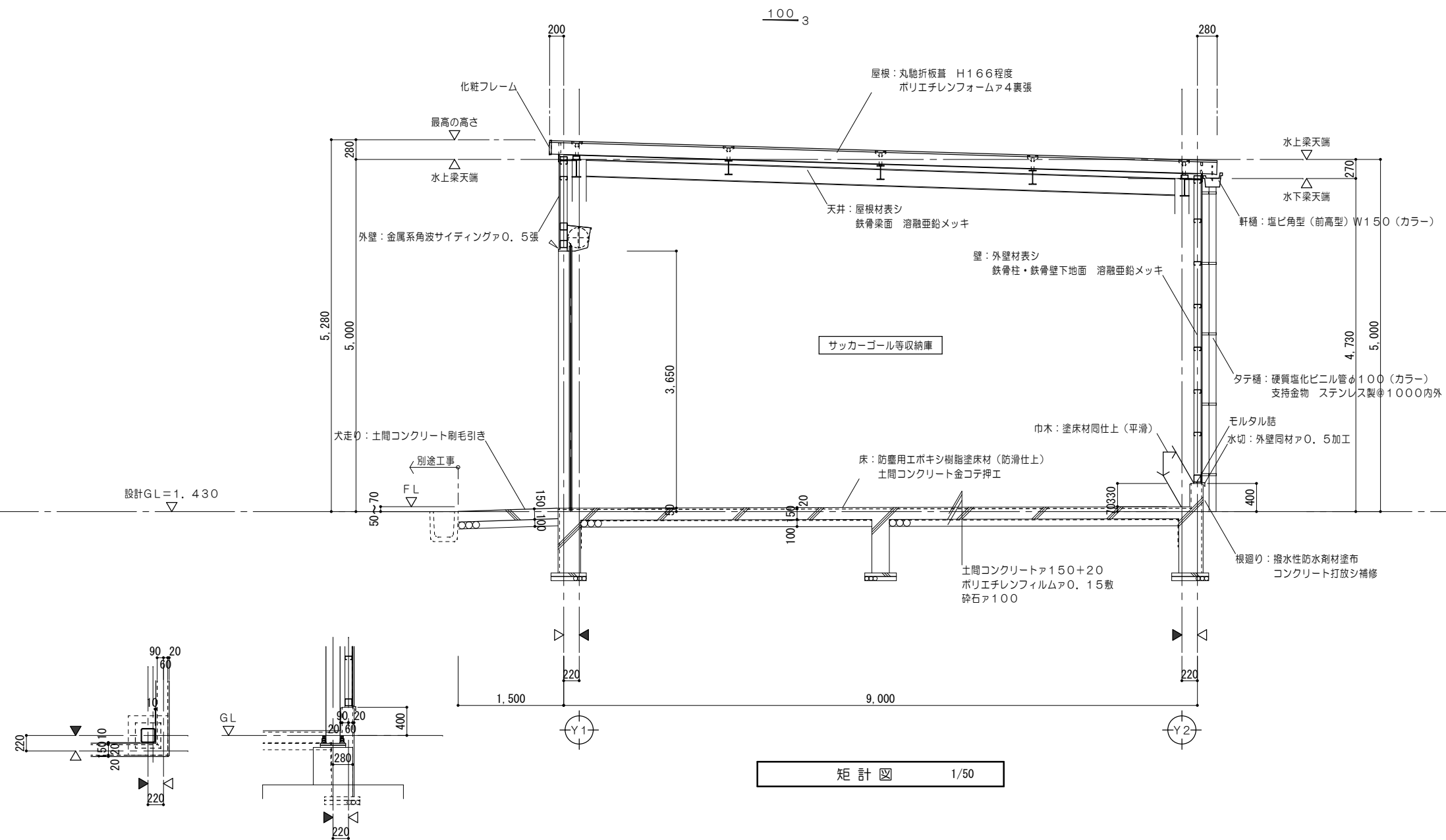




建 具 表 No. 1			1/50
符号名称数量	(31) AD	片開キアルミパネルドア	1
姿 図			
見 込 硝子	枠 扉	150 40	
仕 上	アルミ陽極酸化塗装皮膜		
金 物	丁番、ドアクローザー、戸当り、シリンダー錠（内部サムターン）、 レバーハンドル、アルミ額縁、付属金物一式		
符号名称数量	(31) SS	手動式軽量スチールシャッター	4
姿 図			
見 込 硝子			
仕 上	カラー鋼板 スラットα0.8（高耐食鋼板仕様）		
金 物	三方枠、耐風形ガイドレール（SUS）、SUS製座板、脱着式中柱（高耐風圧タイプ）、 シャッターケース（露出角形）、付属金物一式		

凡 例			
±0	一般FⅠからの床仕上高さを示す (特記なき限りはFⅠ±0とする)		新設建具を示す
消	消火器 (ABC粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。	消防 	消防無窓階の検討に使用する建具を示す
△	壁芯を示す		
▲	柱芯を示す		※建物内において火気使用なし。燃料の保管はなし。 建物内で危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱いなし。

特 記 事 項	※常駐従業員なし。利用者は物品の保管以外の作業をしないため、収容人員0人とする。			<div><div><div><div></div><div></div></div><div>株 会 社</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div></div> <div>代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div> <div>設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子</div> <div>設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃</div> <div>設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作</div> <div>設計担当</div> <div>法適合確認</div>	設計日	
	※消防開口に算入するシャッターは軽量シャッターである。				加藤 早妃 前田 祐作 工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	
					三橋 五百子 前野 将輝 図面名称 【③サッカーゴール等収納庫】 平面図、屋根伏図 縮 尺 A2: 1/100、50 A3: 1/141、71	
					建具表 図面番号 A062 (原図:A2)	

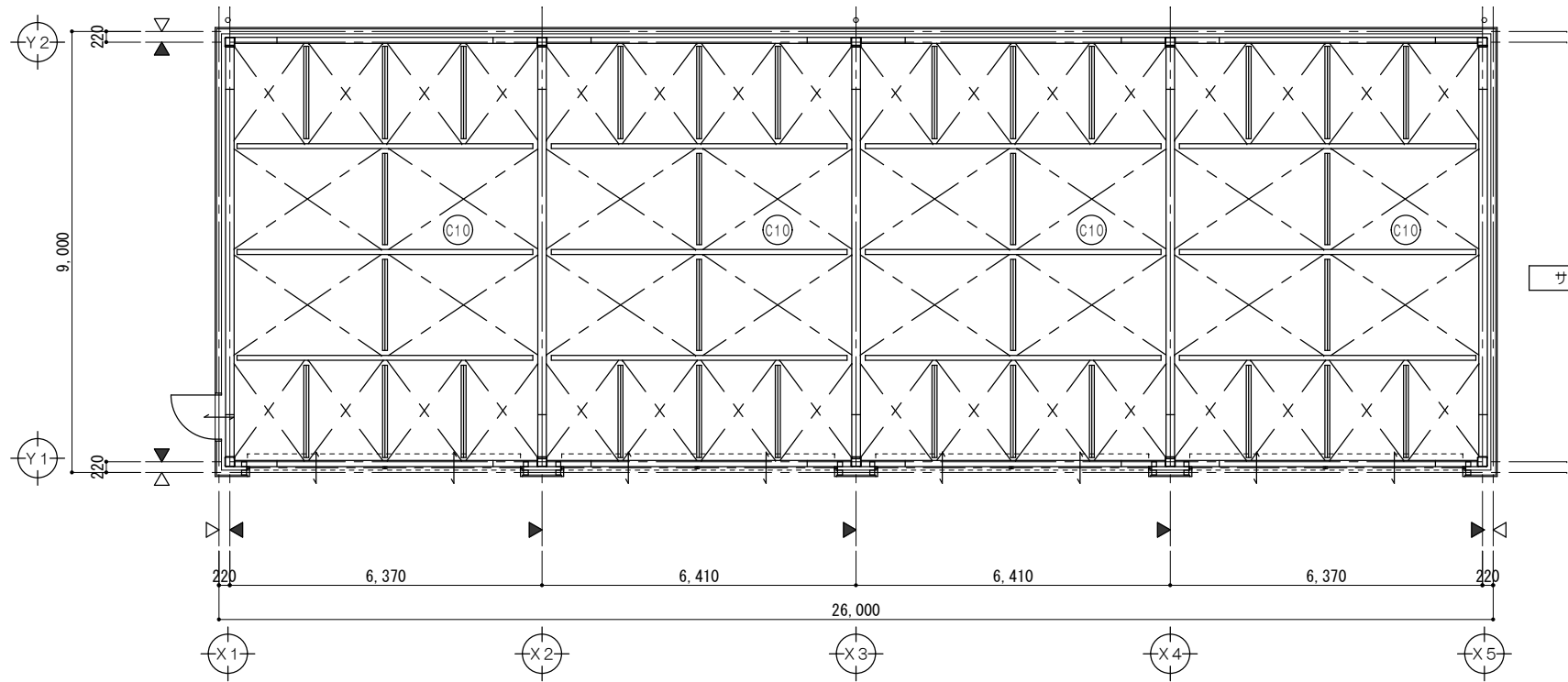


矩計図 1/50

立上り詳細図 1/50

凡 例	
∠	シーリングを示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

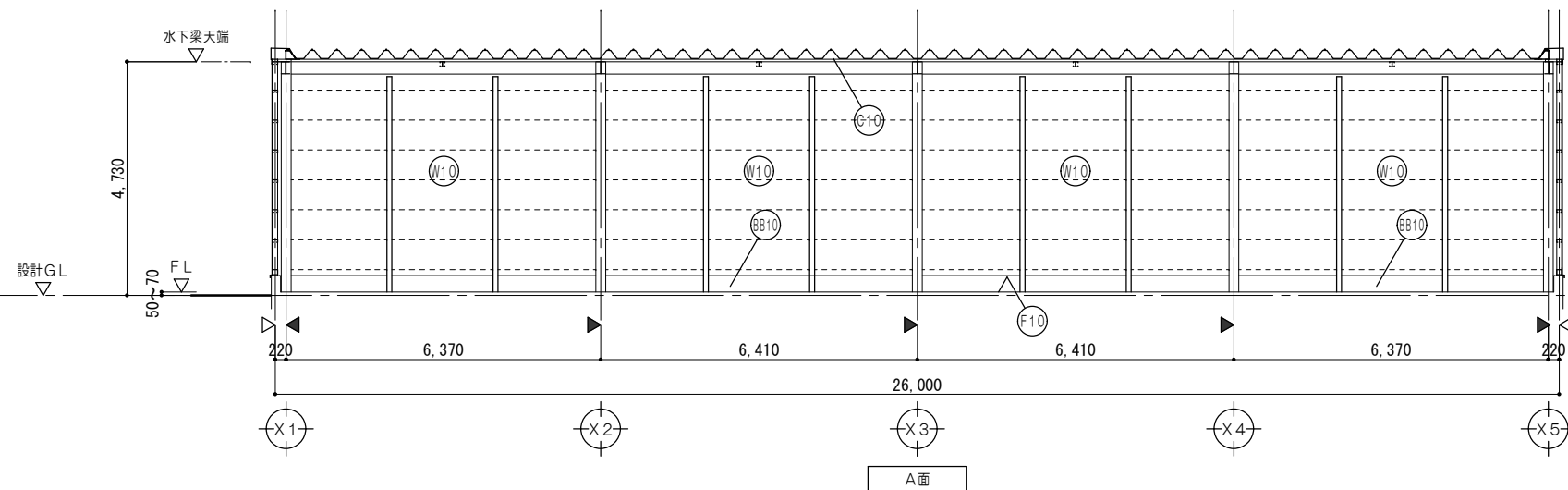
特 記 事 項	<div><div><div><div></div><div></div></div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div></div>				代表設計者 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	<div><div>作図 <div><div></div><div></div></div><div>校図 <div><div></div><div></div></div></div><div>工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事</div><div>図面名称 【③サッカーゴール等収納庫】矩計図</div><div>縮尺 A2:1/50 A3:1/71</div></div></div>		設計日 図面番号 A064 (原図:A2)



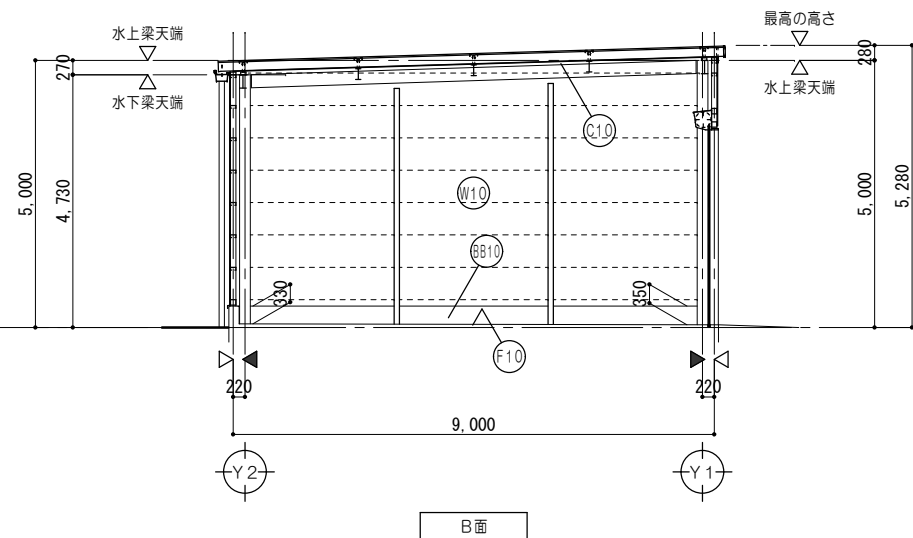
天井伏図 1/100

仕上凡例	
○C10	天井：屋根材表シ 鉄骨梁面 溶融亜鉛メッキ
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

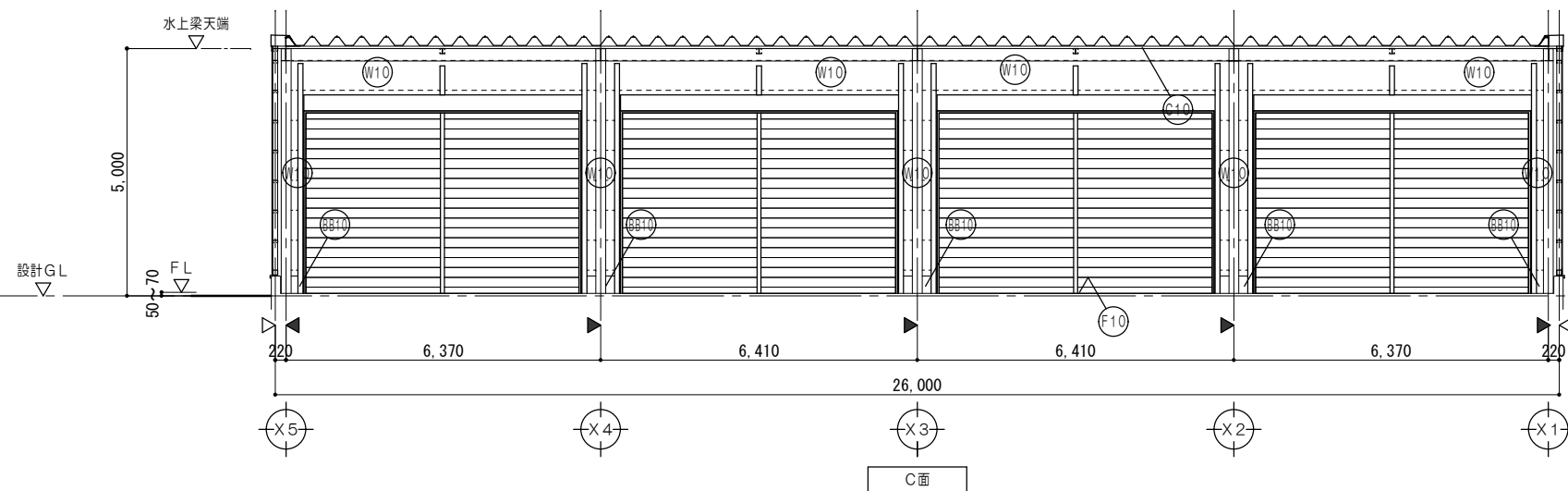
展開図 1/100



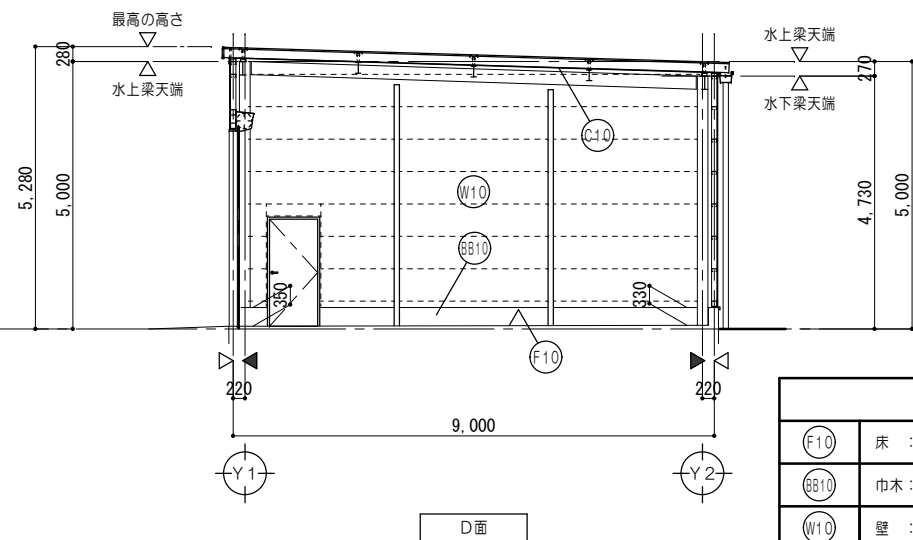
A面



B面




C面



D面

仕上凡例	
○F10	床：防塵用エポキシ樹脂塗床材（防滑仕上） 土間コンクリート金コテ押工
○BB10	巾木：塗床材同仕上（平滑）
○W10	壁：外壁材表シ 鉄骨柱・鉄骨壁下地面 溶融亜鉛メッキ
○C10	天井：屋根材表シ 鉄骨梁面 溶融亜鉛メッキ

特記事項	



株式会社
前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当
一級建築士
第3207846号
三橋 五百子

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早紀

設計担当
一級建築士
第360917号
前田 祐作

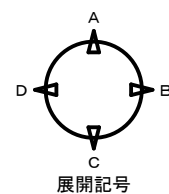
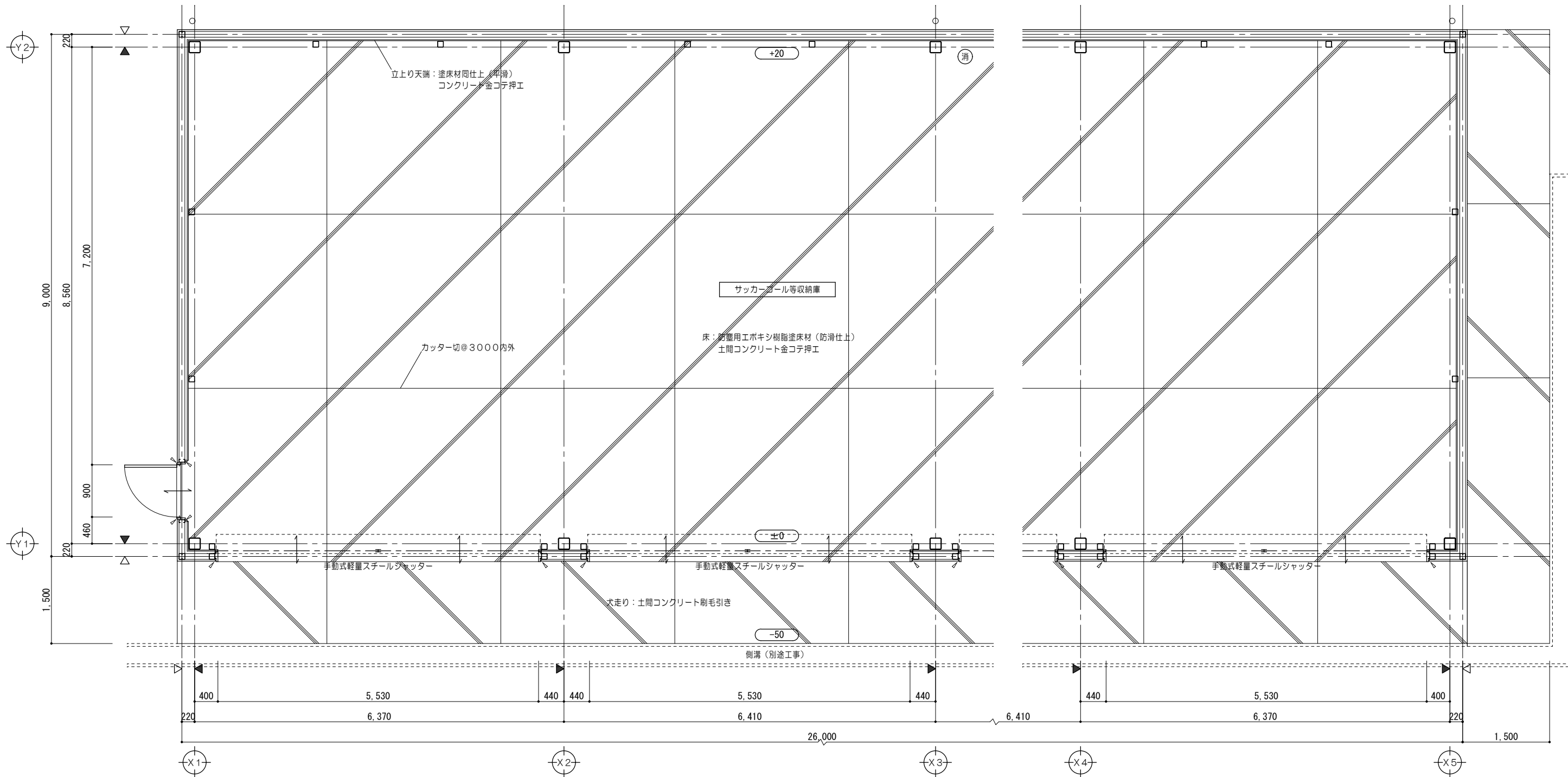
設計担当

法適合確認

作図
加藤 早紀
監図
三橋 五百子

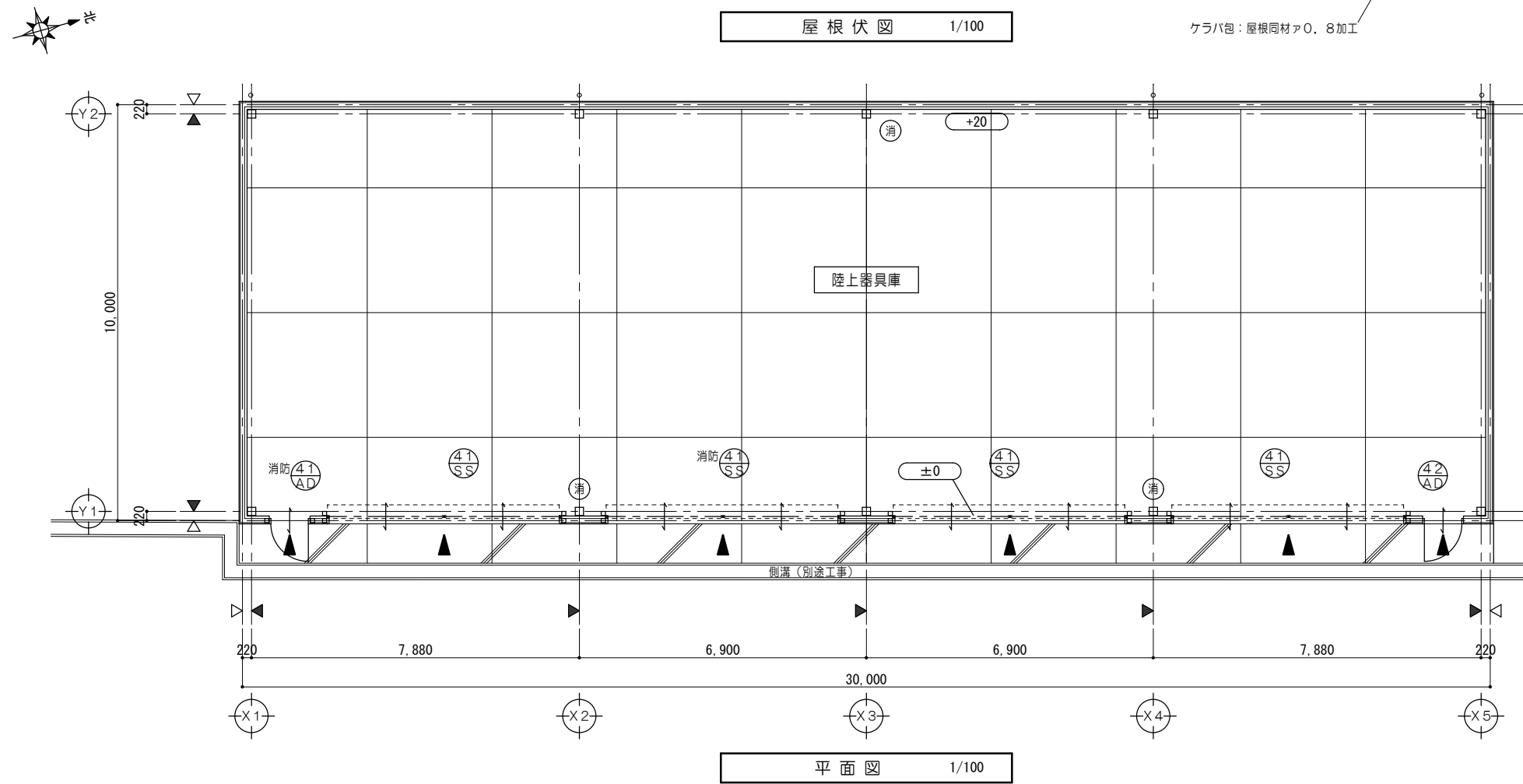
工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事
図面名称
【③サッカーゴール等収納庫】展開図、天井伏図
縮尺
A2:1/100
A3:1/141

設計日
図面番号
A065
(原図:A2)




凡 例	
±0	一般F Lからの高さを示す
Ⓐ	消火器（ABC粉末10型） ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
㇀	シーリングを示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

[illegible]

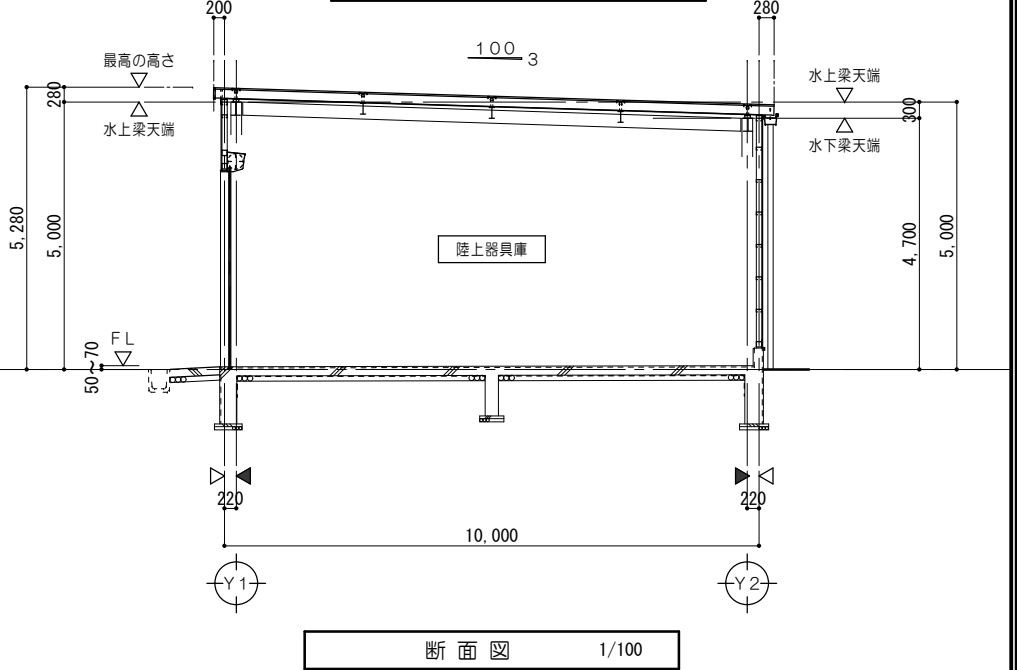
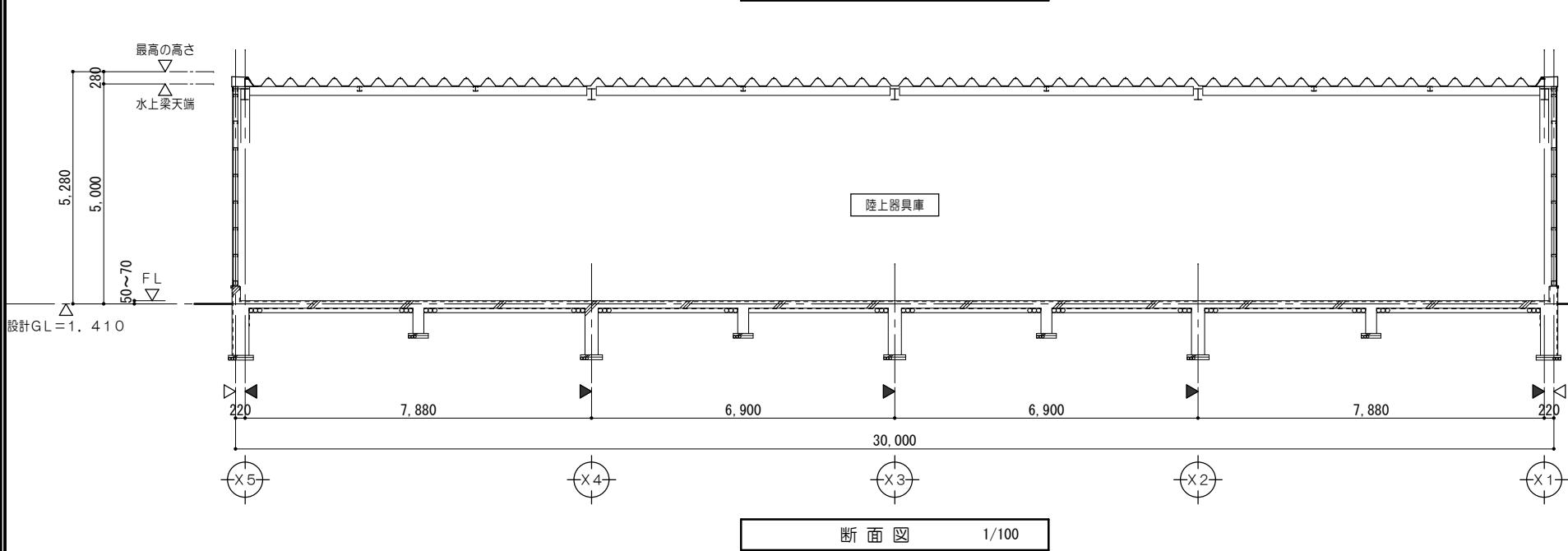
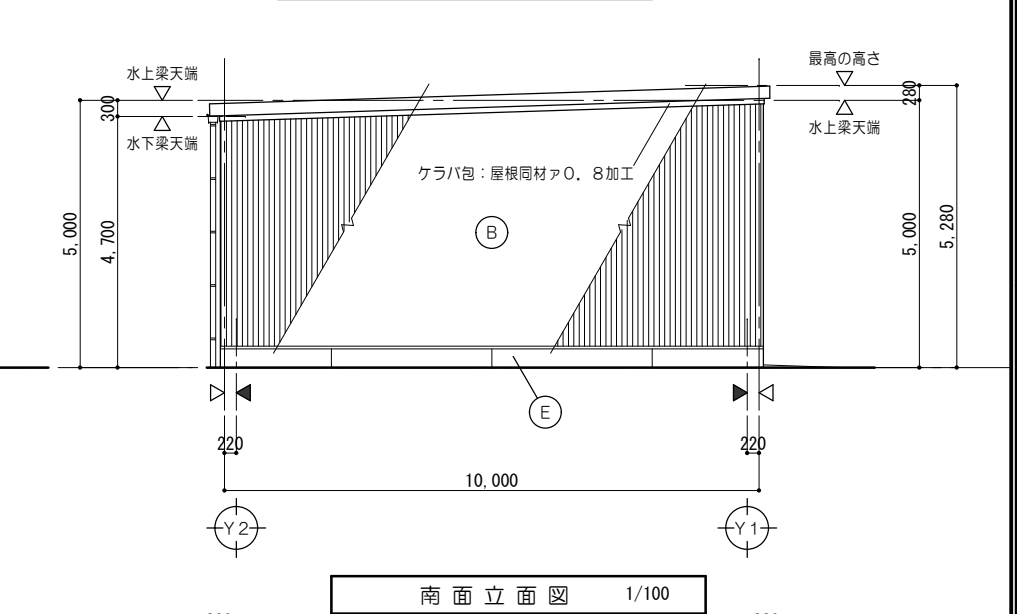
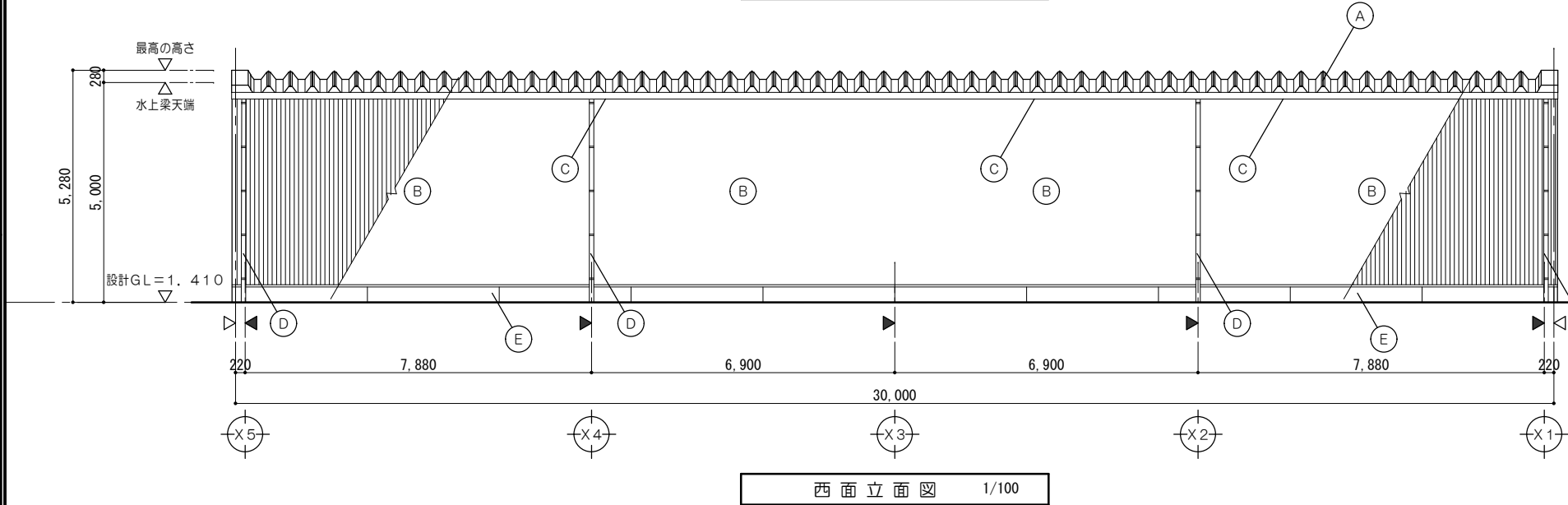
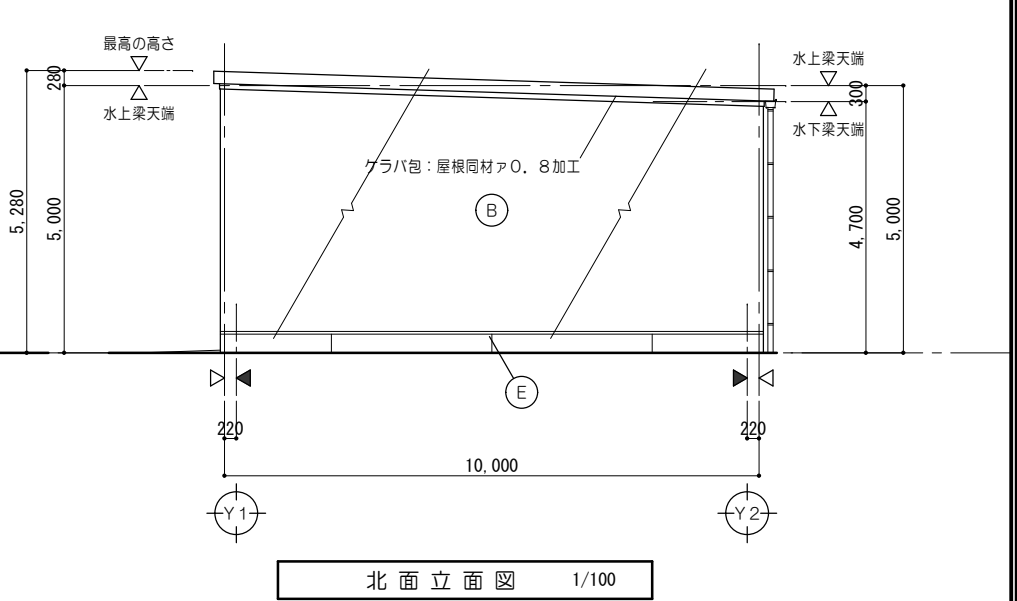
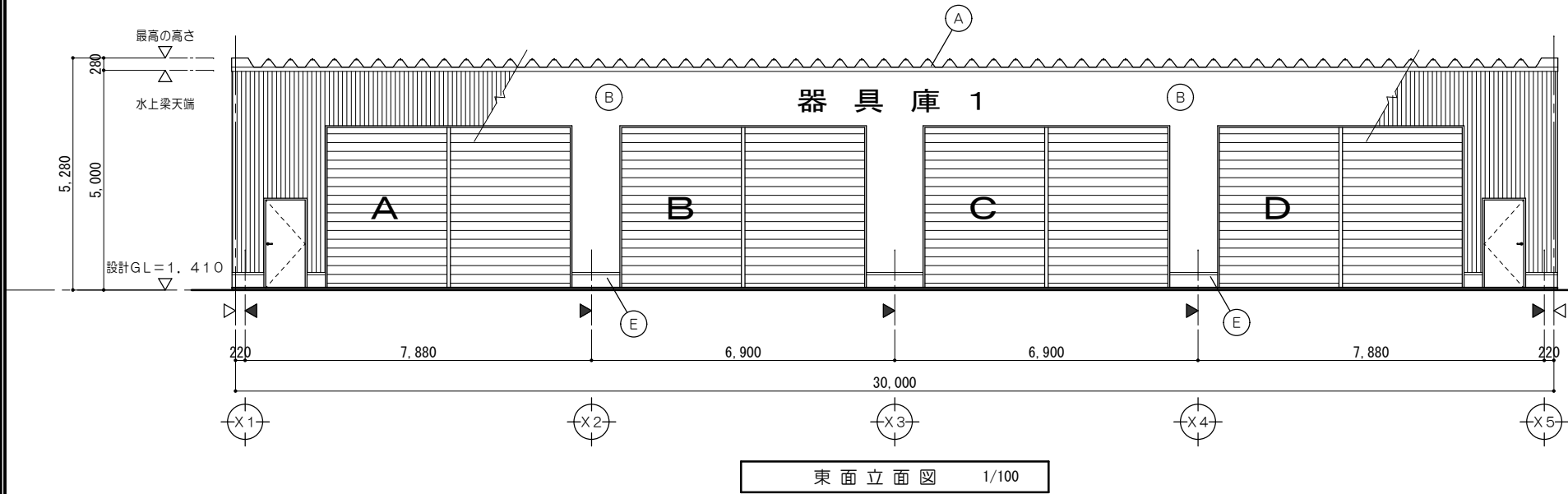


建 具 表 No. 1			1/50
符号名称数量	(41) AD	(42) AD 片開キアルミパネルドア	41 : 1 42 : 1
姿 図			
見 込	枠 扉	150 40	
仕 上	アルミ陽極酸化塗装皮膜		
金 物	丁番、ドアクローザー、戸当り、シリンダー錠（内部サムターン）、レバーハンドル、アルミ額縁、付属金物一式		
符号名称数量	(41) SS	手動式軽量スチールシャッター	4
姿 図			
見 込	枠		
仕 上	カラー鋼板 スラットφ0.8（高耐食鋼板仕様）		
金 物	三方枠、耐風形ガイドレール（SUS）、SUS製座板、脱着式中柱（高耐風圧タイプ）、シャッターケース（露出角形）、付属金物一式		

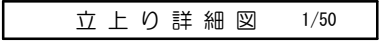
凡 例			
±0	一般F.Lからの床仕上高さを示す (特記なき限りはF.L.±0とする)		新設建具を示す
消	消火器 (A B C 粉末10型) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。	消防 	消防無窓際の検討に使用する建具を示す
△	壁芯を示す		
▲	柱芯を示す	※建物内において火気使用なし。燃料の保管はなし。 建物内で危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱いはなし。	

特 記 事 項	※常駐従業員なし。利用者は物品の保管以外の作業をしないため、収容人員0人とする。			<div><div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div><div><div><div></div><div></div></div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div></div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	<div>作図 加藤 早妃</div> <div>校閲 三橋 将輝</div>	工事名称	設計日	
	海浜公園内陸上競技場改修工事													
	図面名称	縮 尺	図面番号											
	【④陸上器具庫】平面図、屋根伏図	A2: 1/100、50 A3: 1/141、71	A067 (原図: A2)											

凡 例					
(A)	屋 根：丸聴折板葺 H166程度	(C)	軒 樋：塩ビ角型（前高型）W150（カラー） 落シロ（自在ドレン）	(E)	根廻り：撥水性防水材料塗布 コンクリート打放シ補修 誘発目地@3000
(B)	外 壁：金属系角波サイディングφ0.5張	(D)	タテ樋：硬質塩化ビニル管φ100（カラー） 支持金物 ステンレス製@1000内外		

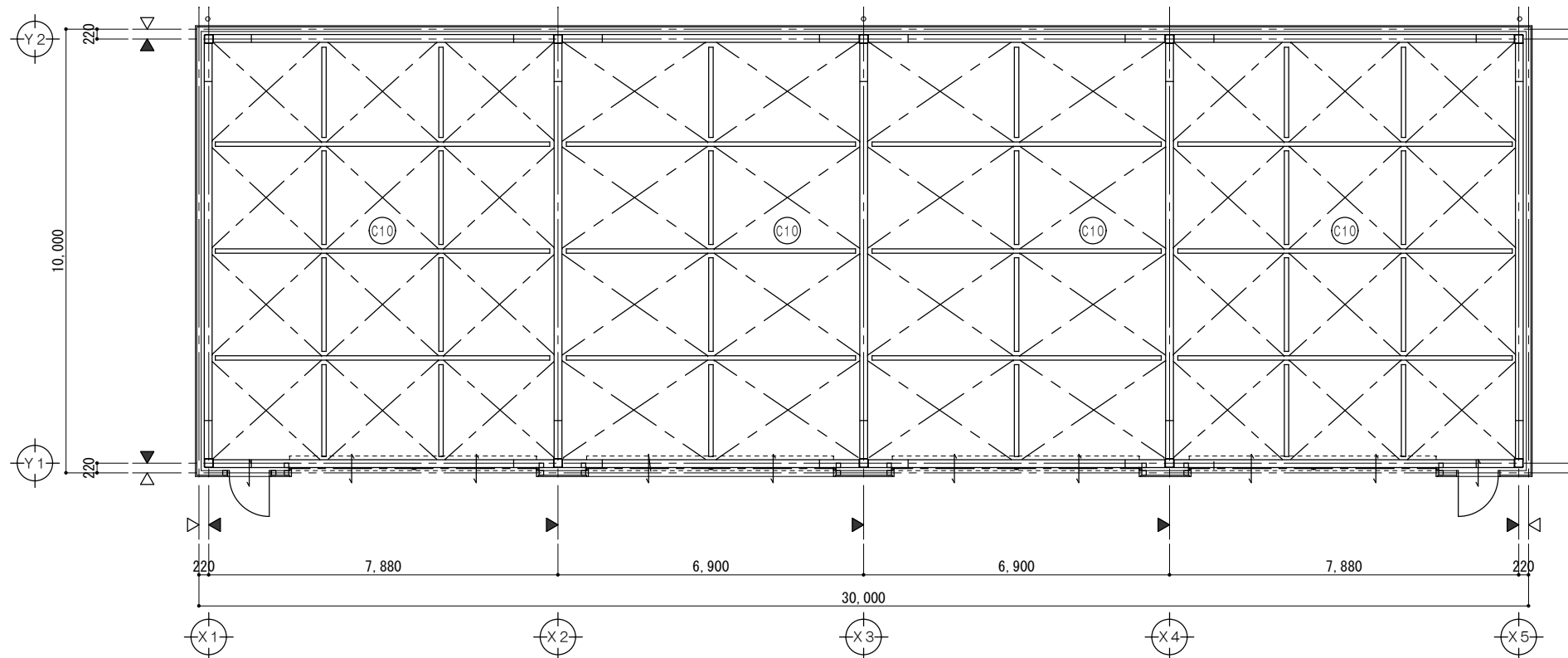


特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号				代表設計者		設計担当		設計担当		設計担当		設計担当		法適合確認		作図		工事名称		設計日			
	株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝				一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第360917号 前田 祐作		一級建築士 第360917号 前田 祐作		一級建築士 第360917号 前田 祐作		一級建築士 第360917号 前田 祐作		加藤 早紀		海浜公園内陸上競技場改修工事					
					一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		三橋 五百子		縮 尺		図面番号	
					一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		一級建築士 第320204号 前野 将輝		三橋 五百子		A2:1/100 A3:1/141		A068 (原図:A2)	



凡 例	
∕	シーリングを示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

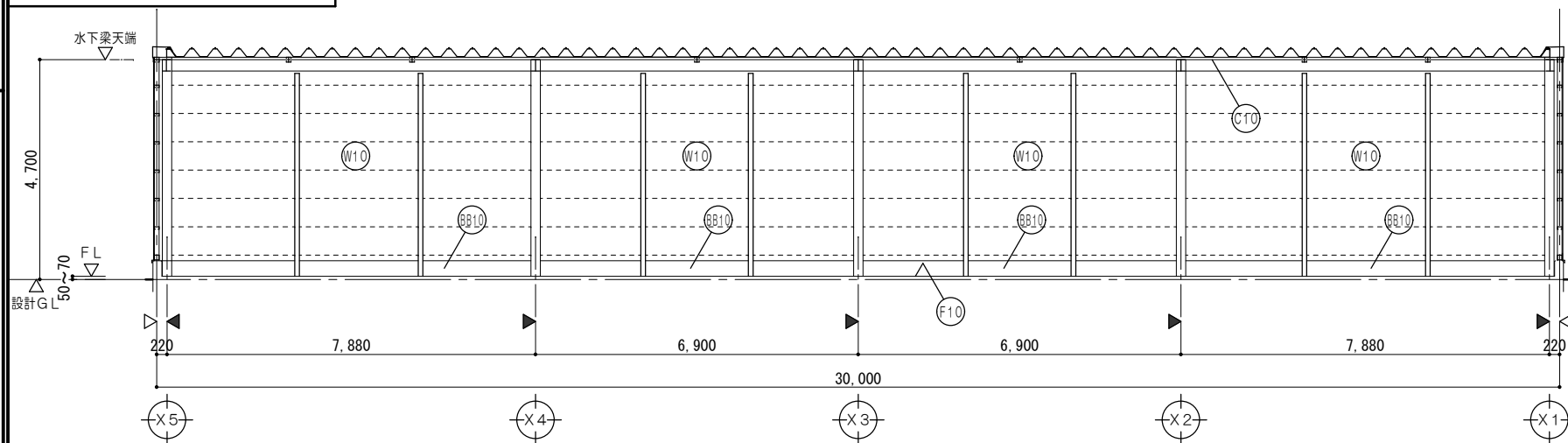
特 記 事 項		<div><div><div><div><div></div></div><div>MAENO</div></div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div></div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	<div>作図 <div><div></div><div></div></div><div>検図 <div><div></div><div></div></div></div></div>	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
				一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作				図面名称 【4陸上器具庫】矩計図 縮 尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A069 (原図:A2)



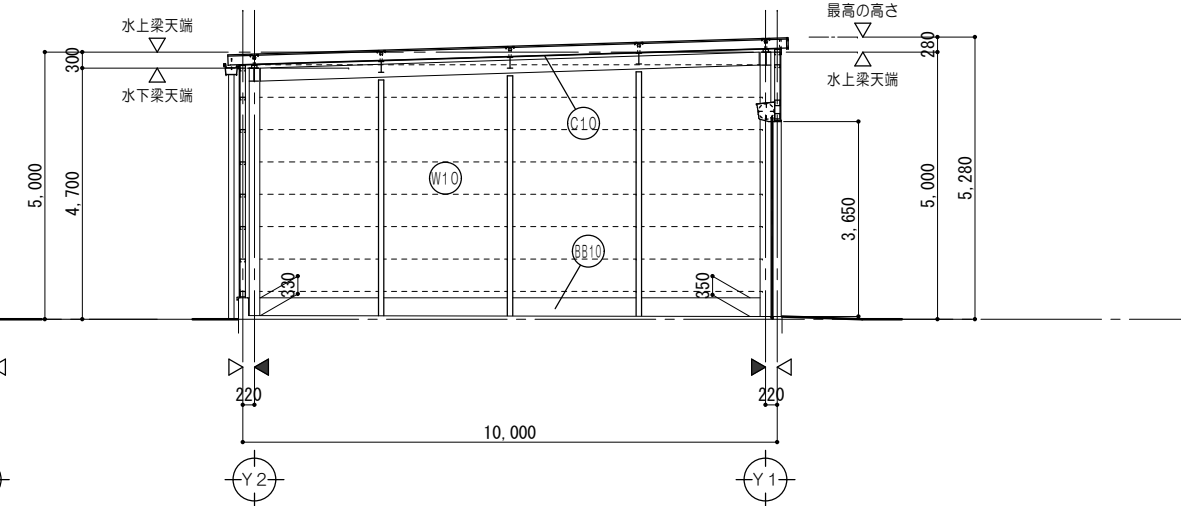
天井伏図 1/100

仕上凡例	
○C10	天井：屋根材表シ 鉄骨梁面 溶融亜鉛メッキ
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す

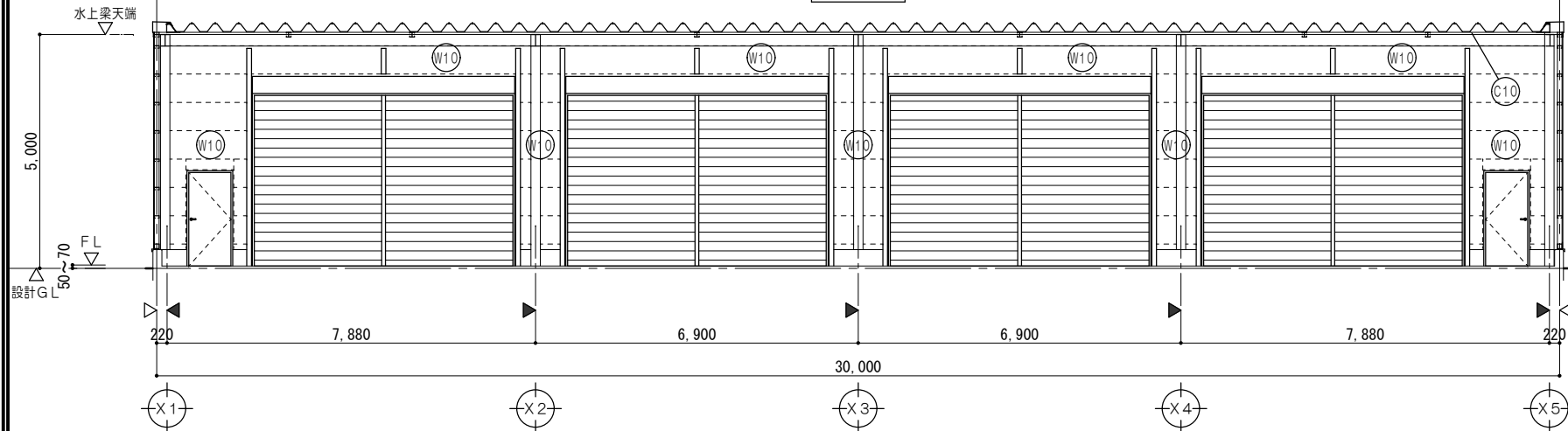
展開図 1/100



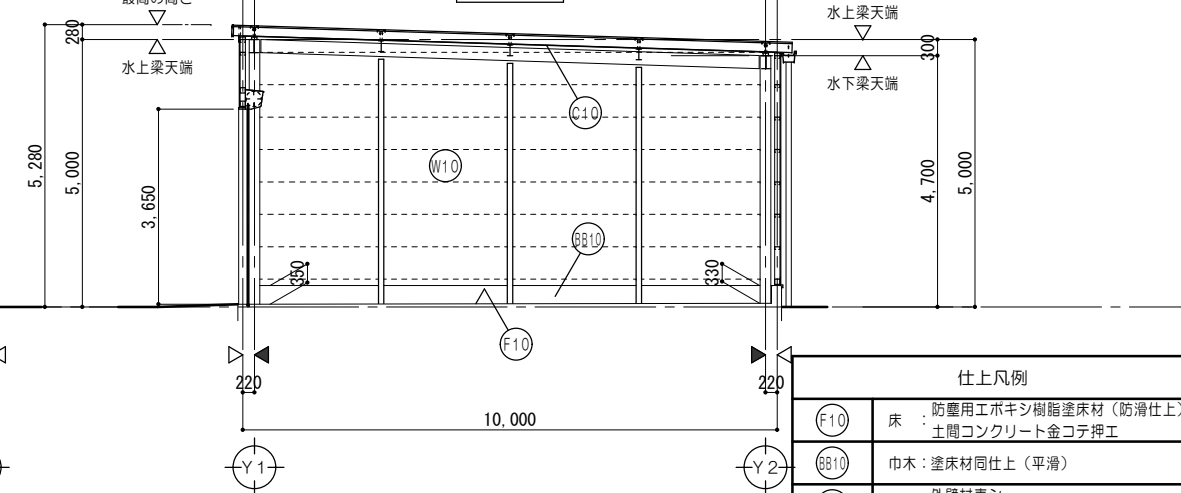
A面



B面



C面



D面

仕上凡例	
F10	床： 防塵用エポキシ樹脂塗床材（防滑仕上） 土間コンクリート金コテ押入
BB10	巾木： 塗床材同仕上（平滑）
W10	壁： 外壁材表シ 鉄骨柱・鉄骨壁下地面 溶融亜鉛メッキ
C10	天井： 屋根材表シ 鉄骨梁面 溶融亜鉛メッキ

特 記 事 項	



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株式会社 前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当
一級建築士
第307846号
三橋 五百子

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早妃

設計担当
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当

法適合確認

作図	加藤	濱田
検図	三橋	斎藤

工事名称
海浜公園
図面名称
【④陸上

【器具庫】天井

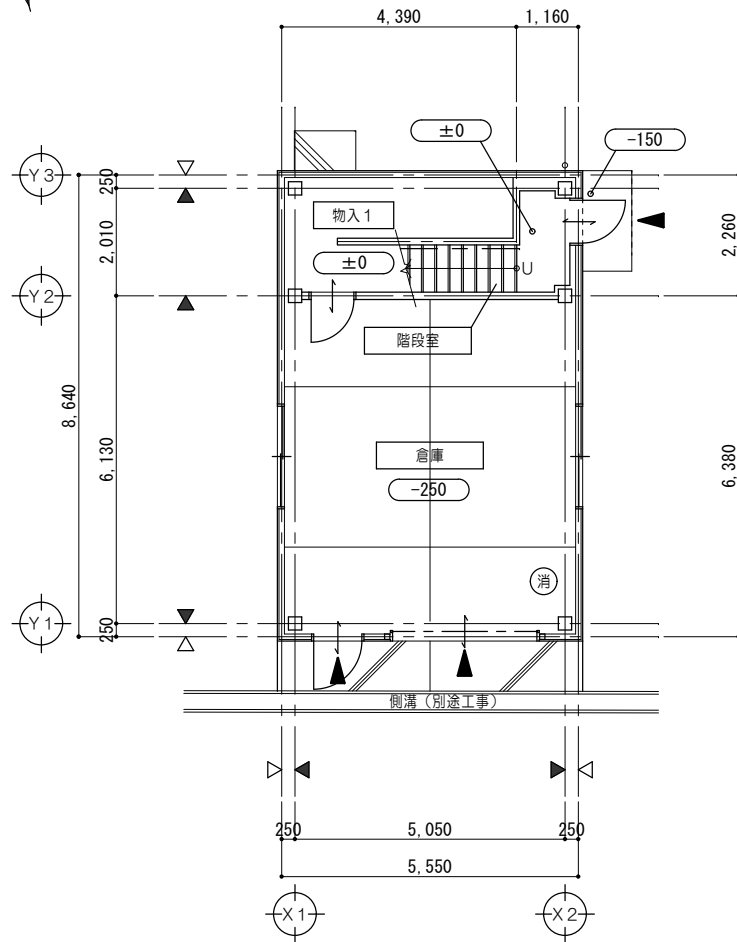
改修工事

伏図、展開図

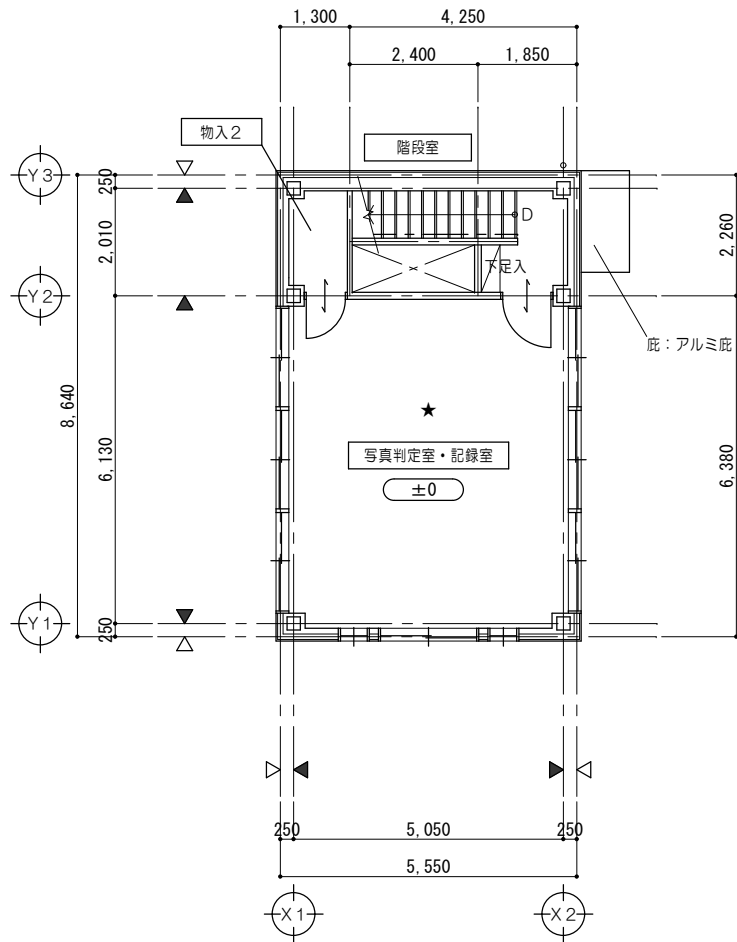
縮尺
A2: 1/50
A3: 1/100

	設計
00 41	図面 (原

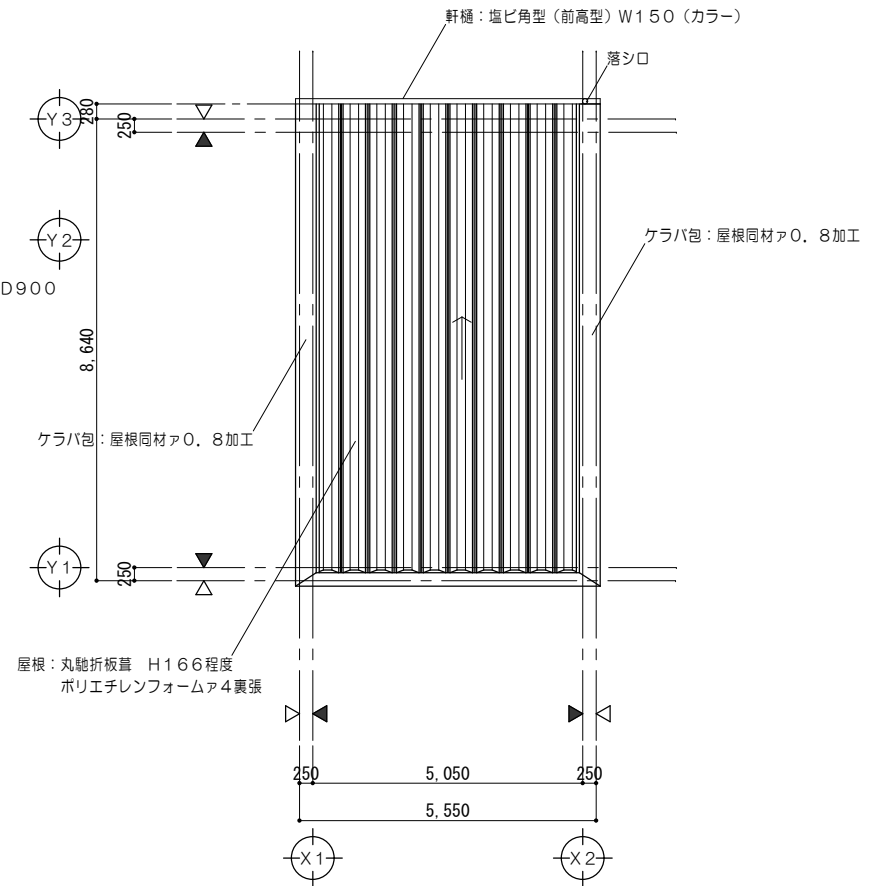
070
☒: A2)



1 階 平 面 図 1/100



2 階 平 面 図 1/100



屋 根 伏 図 1/100

凡 例	
±0	一般 F L からの床仕上高さを示す (特記なき限りは F L ±0 とする)
---	手すり (壁面より出 100 以下とする)
消	消火器 (A B C 粉末 10 型) ※ 消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
★	室内空気汚染物質測定箇所を示す
△	壁芯を示す
▲	柱芯を示す
※ 建物内において火気使用なし。 建物内で危険物・指定可燃物の貯蔵及び取扱いなし。 燃料の保管はなし。	
※ 「写真判定室・記録室」において、会議などは行わない。	

特	※ 消防開口に算入するシャッターは軽量シャッターである。
記	
事	
項	



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者
一級建築士 第320204号 前野 将輝

設計担当
一級建築士 第307846号 三橋 五百子

設計担当
一級建築士 第378328号 加藤 早妃

設計担当
一級建築士 第360917号 前田 祐作

設計担当

法適合確認

作図
校印
監印
三橋 五百子

工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事
図面名称
【5/写真判定棟】1階・2階平面図、屋根伏図

縮 尺
A2: 1/100
A3: 1/141

図面番号
A072
(原図: A2)